倉敷埋蔵文化財センター年報 12

ー平成 19・20 年度ー

倉敷埋蔵文化財センター

2010.3

序　文

本書は、平成19年度及び20年度の2か年にわたって当センターで実施いたしました発掘調査事業並びに教育普及事業につきまして、その概要をまとめたものです。

発掘調査事業部門につきましては、近年の長引く不況の影響により官民を問わず開発事業は減少傾向にあり、それらに伴う発掘調査事業も減少してきております。こうした状況は全国的な傾向となってきており、倉敷市においても南山21号墳や水江遺跡などの発掘調査もありましたが、ほとんどが小規模な開発に伴う確認調査及び立会調査となってきております。

そうした一方で、埋蔵文化財の普及教育事業部門における市民のニーズは、一層の高まりを見せてきております。当センターが主催いたしました古代体験講座や見学会、考古学講座などでは、毎回定員を上回る方々のご参加をいただいており、展示室への見学者を含めまして、平成19年度には1万8千人をこえる市民の皆様のご利用をいただきました。今後とも、市民の方々が気軽に参加できる各種の講座の開催や展示の充実に一層努めてまいりたいと存じます。

本書が埋蔵文化財の保護保存の一助として、また当センターの事業に対する理解を深めていただくために、いささかでもお役に立つことができれば幸甚に存じます。

最後になりましたが、埋蔵文化財センターの各事業の実施にあたりまして、ご指導ご協力を賜りました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月31日

倉敷埋蔵文化財センター
館長　福本　明

目　次

■平成19年度■

Ⅰ 組織 ……1
Ⅱ 事業の概要 ……1
Ⅲ 教育普及事業報告 ……4
Ⅳ 調査事業報告 ……6
前場遺跡確認調査報告 ……9
戸津田遺跡・戸津田南古墳群確認調査報告 ……10
上東遺跡確認調査報告 ……11
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……12

■平成20年度■

Ⅰ 組織 ……27
Ⅱ 事業の概要 ……27
Ⅲ 教育普及事業報告 ……30
Ⅳ 調査事業報告 ……32
上東遺跡確認調査報告 ……35
南山21号墳試掘調査概要 ……36
上東遺跡確認調査報告 ……38
真備町329遺跡確認調査報告 ……39
上東遺跡確認・立会調査報告 ……40
水江遺跡発掘調査報告 ……42
上東遺跡確認調査報告 ……45
Ⅴ 寄贈図書一覧 ……47

例　言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが平成19～20年度にかけて行った埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 本書の執筆は、福本明・小野雅明・藤原好二が分担し、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 調査地点位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の1の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図には、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものを使用した。
5. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。

平成19(2007)年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成19年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	課　長	浅野 弘文
埋蔵文化財センター	館　長	福本　明
〃	主　任	小野 雅明
〃	学芸員	綾野 早苗
〃	学芸員	藤原 好二
〃	派遣職員	梅木 明美
〃	〃	原　典子
〃	〃	赤澤 美佐子

（職名等は平成20年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1．調査事業

(1) 事前協議　Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は406件、開発指導要綱に基づく事前協議も199件といずれも前年度比で10％以上増加している。ただ、包蔵地照会の多くには、既存住宅地の不動産鑑定のみの問い合わせも多く含まれているため、これがただちに開発行為につながるものではない。

(2) 発掘調査　今年度は確認調査3件、立会調査15件を実施した。前年度と比較した場合、包蔵地照会・事前協議の増加に対して、むしろ減少すらしているのは、上記包蔵地照会の多くに既存開発地が含まれていることと無関係ではないであろう。確認調査では上東遺跡において中世のものと考えられる溝状遺構を確認している。立会調査は、公共事業に伴うものが8件、民間の開発に伴うものが7件である。

(3) 分布調査　船穂町内の57遺跡及び真備町内の小田川以南の160遺跡を踏査し、遺跡台帳を作成後パソコンに入力した。これによって旧船穂町内の遺跡分布調査は完了した。また、酒津地区を踏査し、新たに7基の古墳を確認している。

(4) 整理作業　来年度以降の報告書の作成に向けて、これまでに調査した岩倉遺跡等から出土した遺物についての整理・実測作業を行った。

2．教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、計10回の講座等を実施。延べ参加人数2,810人。

講座名	実施日	講座内容	参加人数
春の遺跡見学会⑫	5/13（日）	福山市北部の遺跡めぐり	39人
考古学体験講座	7/29（日）	古代のアクセサリー“勾玉”をつくろう①	39人
考古学体験講座	8/5（日）	古代のアクセサリー“勾玉”をつくろう②	27人
考古学体験講座	9/9（日）	古代のアクセサリー“勾玉”をつくろう③	19人
秋の考古学講座「縄文時代の吉備」	10/13（土）	縄文草創期を掘る	30人
〃	10/20（土）	貝塚を掘る	20人
〃	10/27（土）	中国地方の縄文社会	27人
ライフパークの集い	11/3（土）・4（日）	ドキドキ発掘体験ほか	2,032人
勝負砂古墳発掘調査記念講演会	1/19（土）	未盗掘古墳発見!!	48人
第29回倉敷市こどもまつり	2/24（日）	勾玉ストラップ作り	529人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛づくり等、計14回の派遣。延べ参加人数676人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/9（水）	倉敷芸術科学大学	56人
土器で赤米を炊こう	5/18（金）	倉敷市立東小学校	55人
古代の土笛づくり	5/24（木）	ふれあい教室	11人
古代の土笛づくり	6/12（火）	倉敷市立西阿知小学校	78人
古代の土笛づくり	6/13（水）	倉敷市立西阿知小学校	73人
出前講座「玉島の歴史・伝説」	6/20（水）	倉敷市立玉島小学校	35人
古代の土笛づくり	7/27（金）	川辺っ子児童クラブ	28人
古代の土笛づくり	8/1（水）	まびっ子センター	27人
古代の土笛づくり	8/22（水）	ぱんだクラブ	64人
楯築遺跡案内	10/10（水）	万葉を語る会	28人
出前講座「考古学・遺跡から探る真備の古代」	10/14（土）	真備図書館	21人
古代の土笛づくり	11/24（土）	倉敷児童館	35人
ふれあいウォーク　王墓の丘史跡公園	3/16（土）	庄学区地域活動促進協議会	140人
古代の土笛づくり	3/29（土）	真備町平山子供会	25人

(3) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報11
A４判　本文58Ｐ　600部　平成20年3月刊行

(4) 資料の貸出

	貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
1	7月12日～9月15日	寒田窯跡群4号出土須恵器 14点・写真3点	岡山県立博物館	平成19年度企画展
2	7月26日～9月8日	楯築遺跡 カラースライド1点	(株) 山川出版社	『日本史図録』に掲載
3	11月15日～3月31日	日畑廃寺出土軒丸瓦　1点	岡山県立 吉備路郷土館	常設展示
4	12月22日～1月31日	楯築遺跡 カラースライド1点	(株) トリアド工房	国営吉野ヶ里歴史公園 「北墳丘墓展示物」

3．寄贈資料

平成19年度には下記の考古資料の寄付を受けた。

寄贈日	寄贈者名	資料名	数量
平成19年5月15日	宗澤　弘	縄文土器等の考古資料	1,098点
平成20年1月31日	藤原徳治	玉島陶窯跡群の須恵器片・瓦片	コンテナ30箱分

4．利用者数

展示・講座等を含めた平成19年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は18,001人で、昨年度比23.8%の大幅増となった。

《平成19年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	464	484		948	25	38
5	523	443	161	1,127	24	47
6	455	534	186	1,175	26	45
7	561	602	67	1,230	25	49
8	943	1,038	118	2,099	27	78
9	532	485	19	1,036	24	43
10	530	628	127	1,285	24	53
11	1,533	1,853	35	3,421	25	137
12	318	388		706	22	32
1	543	553	48	1,144	22	52
2	954	1,385		2,339	24	97
3	615	711	165	1,491	25	60
合計	7,971人	9,104人	926人	18,001人	293日	61.4人

Ⅲ 教育普及事業報告

1．春の遺跡見学会⑫
～備後南部（福山市北部）の遺跡めぐり～

日　時　平成19年5月13日（日）
講　師　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　39人

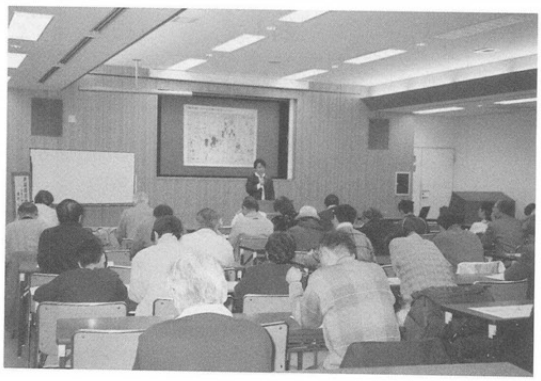
福山市北部の史跡をめぐり、備後地方の古代文化を学んだ。午前中は、備後国分寺跡、終末期の大坊古墳、前期の石鎚山古墳群を見学し、公園整備された栗塚古墳群を散策したあと昼食となった。午後からは横口式石槨をもつ猪の子１号古墳、ドーム状の横穴式石室で有名な山の神古墳を訪れた。そして、後期の前方後円墳、二子塚古墳では幸運にも横穴式石室内を見学することができた。最後に井原市文化財センターを見学して帰路についた。

2．考古学体験講座
～古代のアクセサリー“勾玉”をつくろう①～③～

日　時　平成19年7月29日・8月5日・9月9日（日）
会　場　倉敷埋蔵文化財センター
対　象　小学校高学年と保護者
参加者　85人

やわやかく加工のしやすい滑石を材料にして、古代の勾玉づくりを体験する講座。この講座は毎回好評で、19年度は申し込みが多数あったため、あわせて３回開催した。参加した小学生は保護者とともにそれぞれ一個ずつを作り、孔あけや切断などでは協力して作業を行う姿も見られた。最後は、自分の好きな色に染め、オリジナルの勾玉に仕上げた。

3．勝負砂古墳発掘調査記念講演会
未盗掘古墳発見!!～真備町勝負砂古墳の調査～



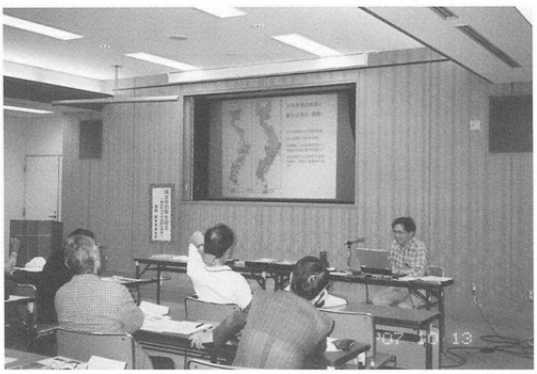
日　時　平成20年1月19日（土）
講　師　松木武彦（岡山大学大学院社会文化学研究科）
対　象　一般
参加者　48人

全国的にもまれな発見である未盗掘古墳の発掘成果について、実際に調査を行った松木武彦氏にお話しいただきました。スライドを交えた解説では、石室の蓋石を最初に取り外す際の期待と高揚感、鉄製のよろいや馬具、青銅の鏡などが見つかった時の感激が聴講者にそのまま伝わってくるかのようでした。

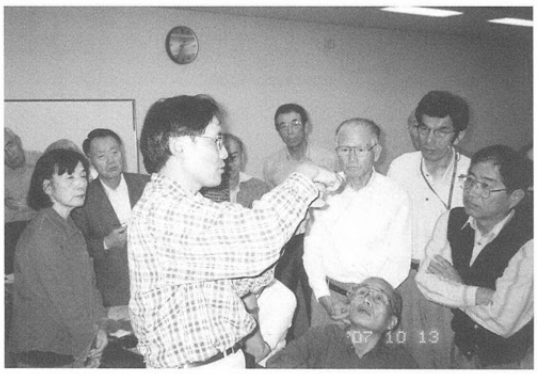
4．秋の考古学講座

縄文時代の吉備～最新の研究成果から～

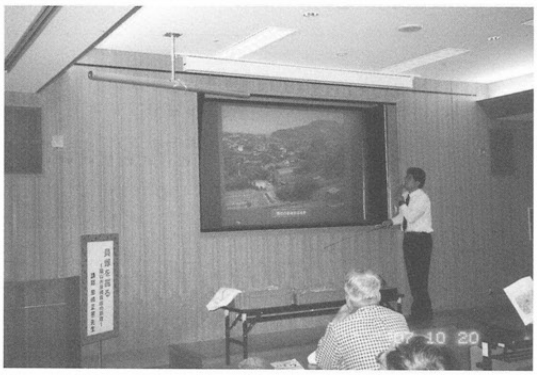
日　時　平成19年10月13・20・27日（土）
講　師　第１回　岡本泰典（岡山県古代吉備文化財センター）
「縄文草創期を掘る～勝央町大河内遺跡の調査」
第２回　田嶋正憲（岡山市教育委員会）
「貝塚を掘る～岡山市彦崎貝塚の調査」
第３回　松本直子（岡山大学大学院社会文化学研究科）
「中国地方の縄文文化」
会　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　象　一般
参加者　77人（延べ人数）



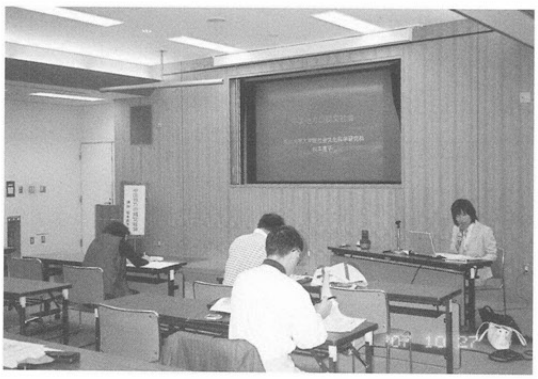
今回は、近年県内で発掘調査が相次いでいる縄文時代の遺跡についての講座を実施した。



第1回は岡本泰典氏による講演で、勝央町で発見された縄文時代草創期の遺跡についてスライドを交えて紹介された。大河内遺跡では、これまで県内では単独でしか見つかっていなかった草創期の遺物が初めて複数まとまって出土し、当時の人々の活動の一端が明らかとなったと説明された。また、出土した石やりや石斧なども持参され、実物を手に取ってみた参加者には好評を博した。



第2回は田嶋正憲氏による講演で、岡山市灘崎町の彦崎貝塚について解説された。児島湾の周辺は西日本有数の貝塚地帯で、その中でも彦崎貝塚は最大級の規模を持ち、発掘によって多くの成果が得られたと語られた。とくに埋葬人骨の姿勢に地域ごとに違いがあるとの結論や、貝類や動物遺体の分析から導き出された当時の食生活などに聴講者の関心が集まった。

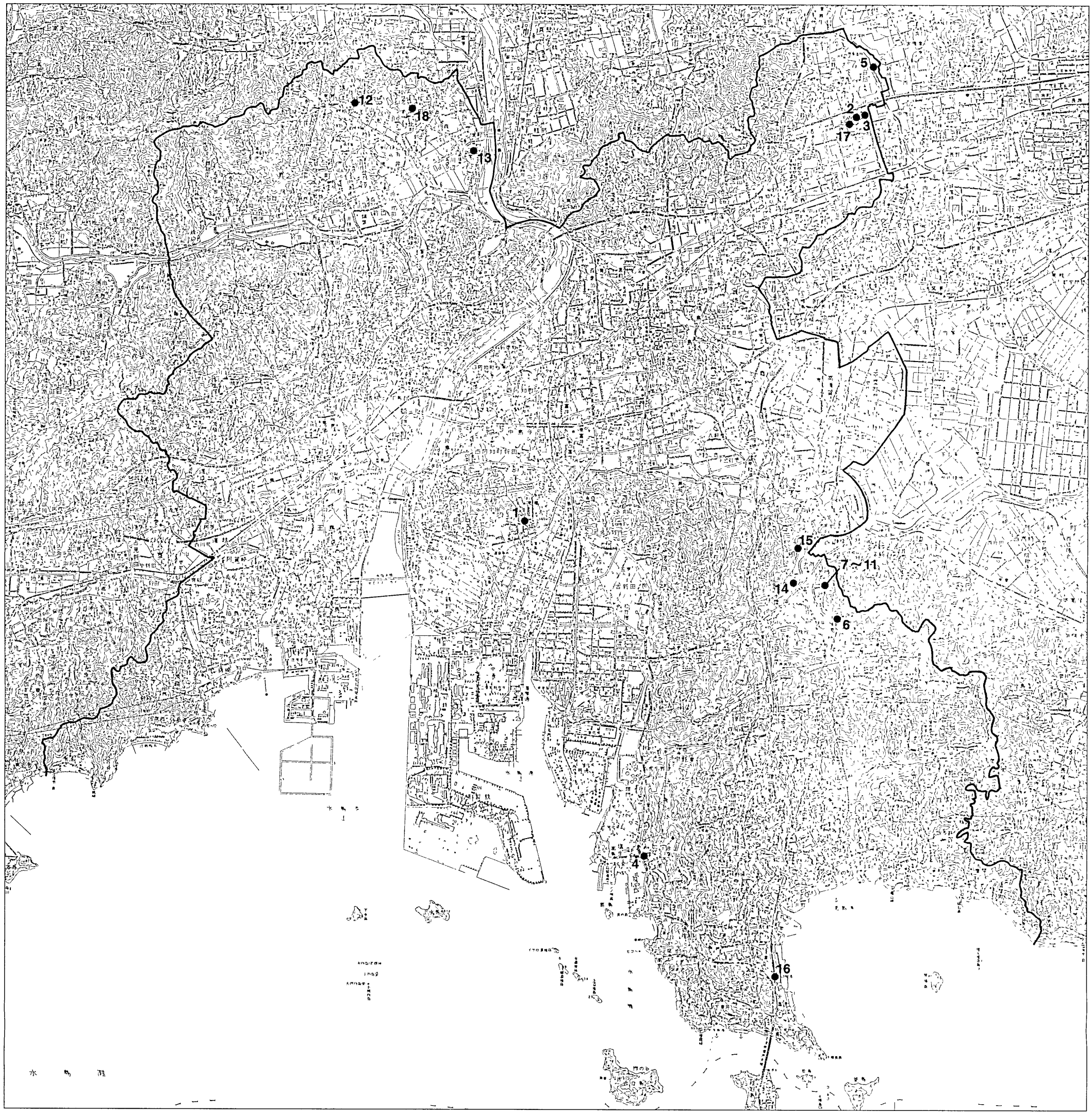


第3回は松本直子氏による講演で、中国地方の縄文社会全般についての、自身の発掘成果を交えて概説された。玉野市出崎長崎遺跡での調査では、海岸地形が現在と異なっていることが明らかになったという。また、長い縄文時代には遺跡の増える時期と減る時期があること、生活の集団単位は小さく、定住ではないこと、東日本のように大きな集落が営まれることはないことなど、西日本の縄文時代の特徴をわかりやすく解説された。

Ⅳ 調査事業報告

平成19年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	梅雲寺古墳	連島町連島	擁壁設置工事	立　会	07.04.10	須恵器片採集
2	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	07.06.05	遺物・遺構なし
3	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	07.06.08	〃
4	塩生遺跡	児島塩生	非常通報施設 スピーカー柱設置工事	〃	07.06.08	〃
5	藤ノ木遺跡	日畑	宅地造成工事	〃	07.08.01	〃
6	下木見遺跡	木見	水路改修工事	〃	07.09.04	〃
7	新熊野山遺跡	林	下水管埋設工事	〃	07.10.04	〃
8	新熊野山遺跡	林	トイレ建設工事	〃	07.10.04	〃
9	新熊野山遺跡	林	電柱設置工事	〃	07.10.10	〃
10	新熊野山遺跡	林	側溝改修設工事	〃	07.10.30	〃
11	新熊野山遺跡	林	水道管埋設工事	〃	07.10.30	〃
12	平山遺跡	真備町市場	水道管埋設工事	〃	07.11.08	〃
13	前場遺跡	真備町川辺	宅地造成工事	確　認	07.11.16	中世土器片
14	戸津田遺跡 戸津田南古墳群	串田	ドッグラン 建設工事	〃	07.11.20	遺物・遺構なし
15	柿ノ木遺跡	串田	下水道管埋設工事	立　会	07.11.22	〃
16	阿津走出遺跡	児島阿津	水道管埋設工事	〃	07.12.04	〃
17	上東遺跡	上東	長屋住宅建設工事	確　認	08.01.29	中世土器片・ 溝状遺構
18	岡田廃寺	真備町岡田	看板設置工事	立　会	08.03.17	遺物・遺構なし



調査地点位置図（S=1/100,000）

前場（まえば）遺跡確認調査報告（一覧表 No.13）

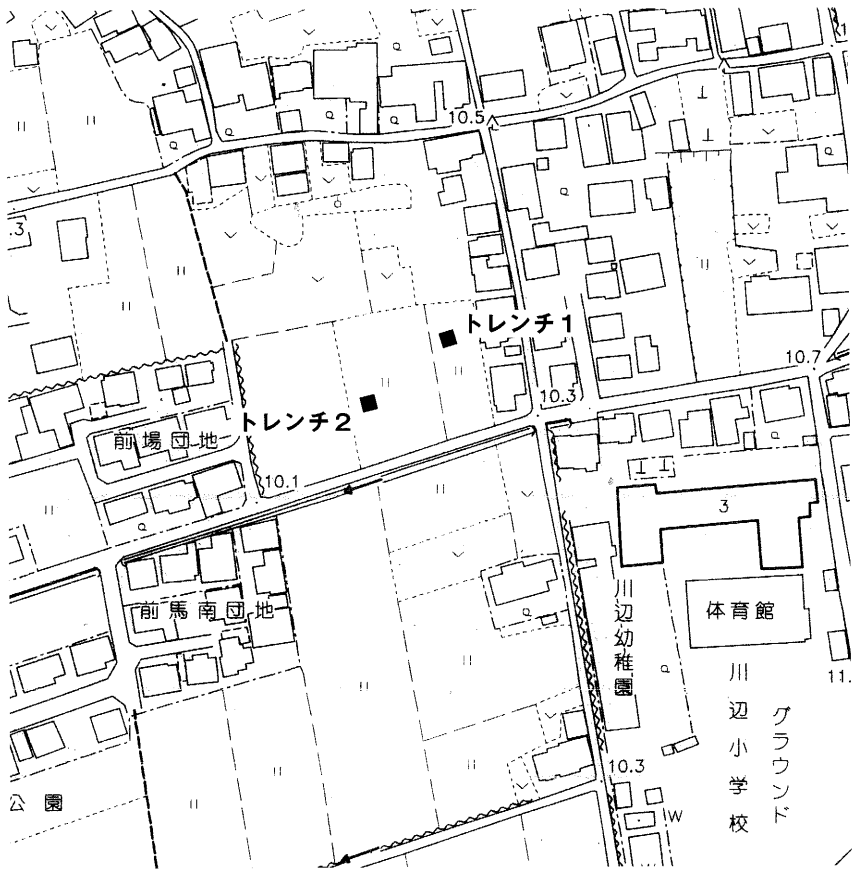
調査位置　真備町川辺662番１外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　８㎡
調査期間　07.11.16　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　本遺跡は『改訂岡山県調査遺跡地図《第五分冊倉敷地区》』の真備町の頁に遺跡番号360（遺跡名空白）の散布地として記載されているものである。今回の調査で少量ながら遺物を確認できたので、小字名から「前場遺跡」と呼ぶことにした。この付近は古代山陽道の川辺駅家に比定され、また近世には川辺宿として賑わった歴史ある地域である。しかし、高梁川とその支流である小田川の合流点に近く、たびたび洪水にみまわれてきた場所でもある。

調査の概要　確認調査は、開発区予定域内の北東部及び南西部に２×２ｍのトレンチをそれぞれ１カ所ずつ設定し、断面観察を中心に行った。開発区域の北東部にトレンチ１、南西部にトレンチ２を設定した。

トレンチ１では約５㎝の耕作土の下に、マンガン粒を含む灰黄褐色の床土が認められる。その下には、黒褐色土・灰黄褐色土が続く。これらはよくしまった粘質の土層で、中世と考えられる土師質土器の細片を含んでいる。特に灰黄褐色土層には比較的多く含まれている。さらにこの下にはにぶい黄橙色の砂質土層が続くが、遺物等は出土しておらず、自然堆積層と思われる。トレンチ２の基本的な層序はトレンチ１と同様であるが、トレンチ２では、黒褐色土の上面が波打っていることが確認され、耕作に伴う畝の痕跡を残している可能性が確認された。時期は不明であるが、下層から中世の土器が出ることから、近世以降のものと推定される。

調査の結果、水田床土の直下に、近世以降と推定される耕作面が存在することと、その下に中世の遺物を含む堆積層が存在することが確認された。しかし、出土した土器は全て細片であり、その量もそれほど多くないことから、洪水などによって流されたものが堆積した可能性が高い。付近に比定される川辺駅家や川辺宿に関係すると思われる遺構も確認できなかった。（藤原）



トレンチ位置図（S＝1/2,500）

戸津田遺跡・戸津田南古墳群確認調査報告（一覧表 No.14）

調査位置　倉敷市串田字猿引709番１
調査原因　ドッグラン用地造成工事　**調査面積**　４㎡
調査期間　07.11.20　**調査担当**　小野・藤原

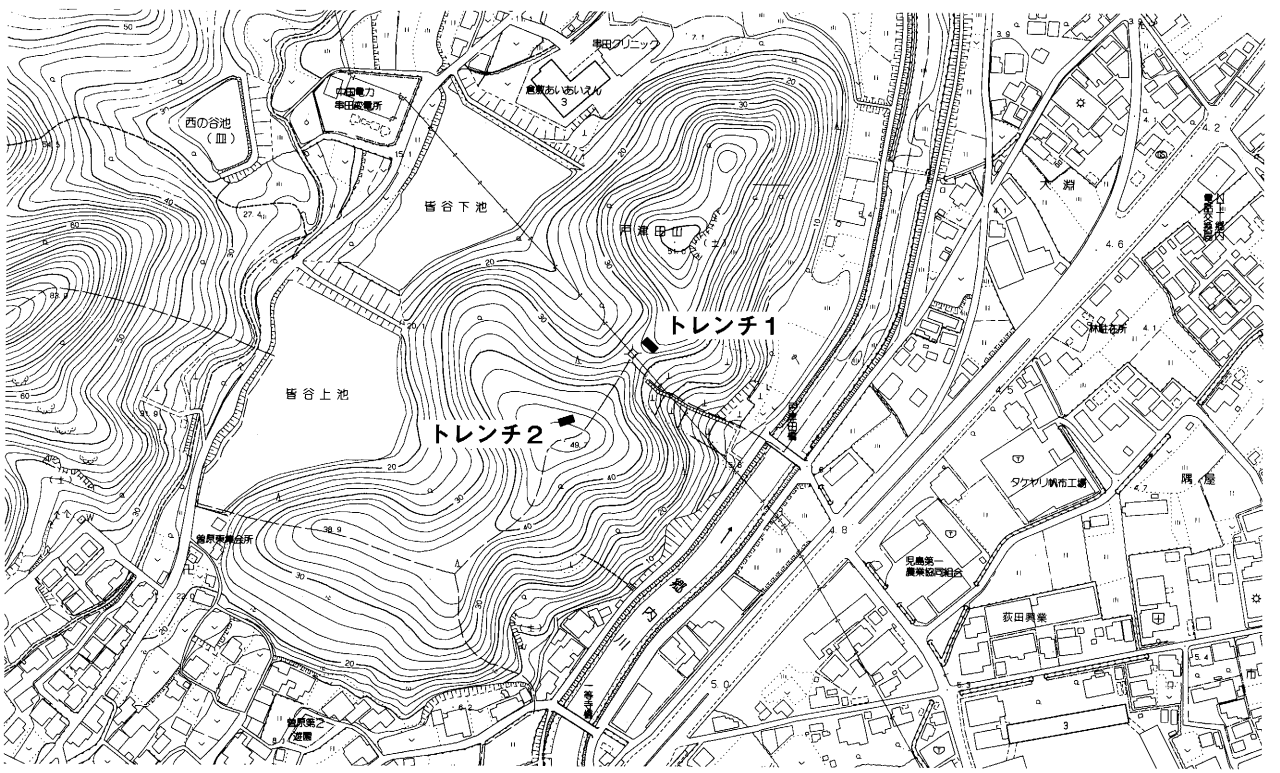
遺跡の概要　戸津田遺跡・戸津田南古墳群は、倉敷市串田にある戸津田山に所在する。戸津田山は、種松山山塊の東麓に位置する半独立丘陵で、東側を流れる郷内川を挟んで郷内平野と接する。標高51ｍの北側山頂を最高所とし、中央にも標高49.7ｍの頂部がある。戸津田遺跡は、尾根筋に分布する弥生時代の散布地で、角錐状石器の採集も伝えられる。戸津田南古墳群は、中央頂部から少し南に下った斜面にかけて分布する。地形の高まりなどから４基ほどの古墳が存在すると考えられている。

調査の概要　調査は開発予定地内の尾根筋と頂部に２ｍ×１ｍのトレンチをそれぞれ１カ所設定し、土層の断面観察を中心に調査を実施した。以下、それらの概要を記す。

トレンチ１（戸津田遺跡）　高圧線鉄塔の北側の丘陵鞍部に設定した。腐植土を除去すると灰黄色土、浅黄色土が堆積しており、地表下約40㎝で地山に達する。遺構、遺物は認められなかった。

トレンチ２（戸津田南古墳群）　開発予定地内で最も高い丘陵頂部に設定した。腐植土を除去すると浅黄色土が堆積しており、地表下約30㎝で地山に達する。遺構、遺物は認められなかった。

以上のように、開発予定地の尾根筋と頂部に設定したトレンチ１・２において遺構、遺物は確認されなかった。丘陵の高所では遺物が流失している可能性も否定できないが、弥生時代の遺跡範囲についてはもう少し絞り込んで捉える必要があると思われる。また、戸津田南古墳群については実態は不明であるが、今回の開発予定区域外と考えられる。（小野）



トレンチ位置図（Ｓ=1/5,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.17）

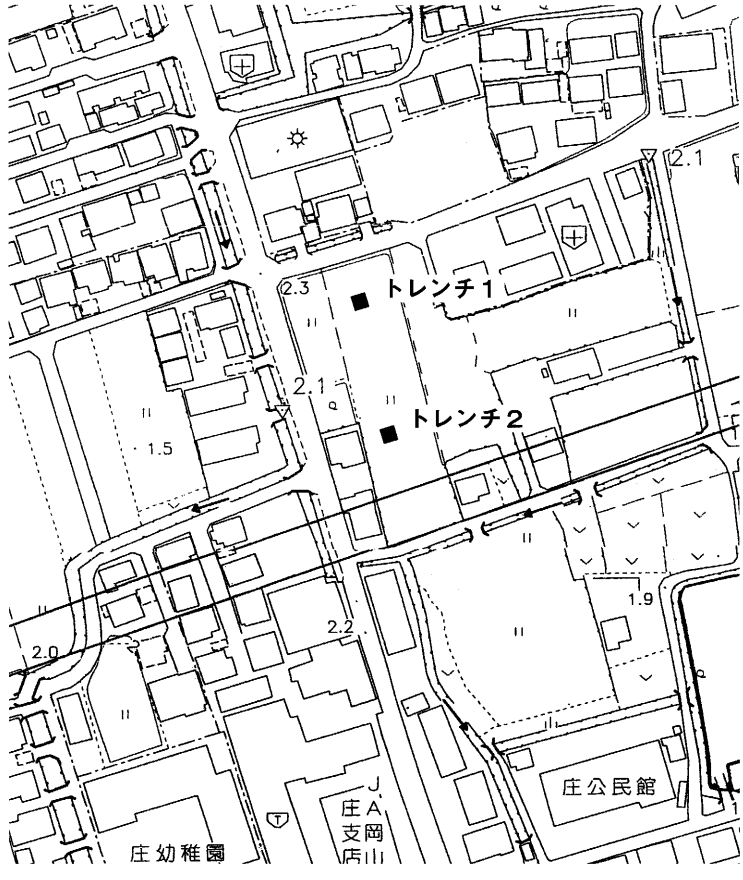
調査位置　倉敷市上東字神光寺645番1、649番1
調査原因　長屋住宅建設工事　　**調査面積**　4㎡
調査期間　08.01.29　　**調査担当**　福本・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は足守川の沖積地に広がる遺跡で、これまでの発掘調査により弥生時代後期を中心とした大規模な集落跡の存在が確認されている。当該地周辺でも宅地造成や道路改修等に伴って確認調査が行われており、それらの調査結果からみると、当該地点は遺跡の西端に位置するものと推測されている。調査地の現況は、道路と宅地に囲まれた水田で、標高は1.3m、北側の道路面との比高差は約80cmである。

調査の概要　遺跡確認調査は、該当地内に2m×2mのトレンチを2カ所掘開し、土層の断面観察を中心に行った。計画敷地の中央やや西寄り、北側の道路から約12m南に離れた地点に、トレンチ1を設定した。トレンチ1では、現水田耕土、床土の下ににぶい黄橙色の粘質土がみられ、その下の水田面から30cmほど下がったところで、わずかながら中世の土器片を含む灰黄褐色粘質土が検出された。この層の下には、上東遺跡の基盤とみられる明黄褐色の粘土層があり、トレンチの北東でこの層から切り込まれた小さな溝状の遺構が検出されている。溝は、幅約30cm、深さ20cmほどの小さなもので、北西から南東に向かって走っている。溝の中には少量の中世土器と思われる小片が含まれている。なお、基盤層と思われる明黄褐色の粘土層の下には、暗灰黄色の砂質土が続いているが、遺物等は含まれていない。

トレンチ2は、トレンチ1から南に40mほど離れた地点に設定した。ここでは、トレンチ1でみられたような、にぶい黄橙色の粘質土の下には、遺物を含む灰黄褐色粘質土は存在せず、比較的厚く堆積した灰黄褐色の粘土層と黄灰色粘土層が続いている。これらの層からは遺物等は検出されておらず、湿地の堆積土と推測された。

以上のように、当該地点においては、北半部を中心に明黄褐色の粘土層を基盤とする微高地が確認され、わずかながら溝状の遺構も確認された。しかしながら微高地は、トレンチ1と2の間で南に向かって下がっていくことが判明し、当該地の南半部は湿地状を呈していたものと推測される。（福本）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

V 寄贈図書一覧（2007.4.1～2008.3.31）

北海道	
（財）北海道埋蔵文化財センター	占冠原野1遺跡、祝梅川上田遺跡・梅川2遺跡、板小屋沢遺跡・日の出2遺跡、虎杖濱2遺跡(3)、矢不来8遺跡(2)・矢不来10遺跡、上茶道遺跡、対雁2遺跡(9)、前サンル1遺跡、白滝遺跡群Ⅶ、石倉1遺跡、濁川左岸遺跡（3）
札幌市埋蔵文化財センター	K 523遺跡、C43遺跡、C527遺跡、H519遺跡、K 518遺跡、C522遺跡
函館市教育委員会	著保内野遺跡、史跡大船遺跡、垣ノ島A遺跡
青森県	
青森県埋蔵文化財調査センター	福島城跡2、maibun-net. あおもり No.005～No.006
岩手県	
（財）岩手県文化振興事業団	紀要ＸＸⅥ、平成18年度発掘調査報告書、野里上Ⅱ遺跡・中屋敷上遺跡発掘調査報告書、野里上遺跡・野中遺跡発掘調査報告書、押切遺跡発掘調査報告書、飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書、宮沢原下遺跡発掘調査報告書、千足南遺跡発掘調査報告書、舘Ⅱ遺跡発掘調査報告書、新平遺跡・芦萱遺跡発掘調査報告書、里古屋遺跡発掘調査報告書、細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書、野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書、本宮熊堂遺跡第26・29次発掘調査報告書、向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書、向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書、年報平成18年度版
北上市立埋蔵文化財センター	横町遺跡（縄文時代遺構図版編）、五輪壇遺跡、北上市内試掘調査報告（2004年度）、江釣子古墳群・五条丸支群（第18次）、西川目遺跡、牡丹畑遺跡（2004年度）、滝ノ沢遺跡Ⅶ（2005年度）、八幡遺跡（2004年度）、黒沢尻西部土地区画整理事業地内遺跡（蒲谷地Ⅱ遺跡・常磐台遺跡）、北上市埋蔵文化財年報（2004年度）
宮城県	
多賀城市埋蔵文化財調査センター	多賀城市内の遺跡1、多賀城市内の遺跡2、高崎遺跡
大崎市教育委員会	名生館官衙遺跡26・新田柵跡推定地10、権現山遺跡
亘理町教育委員会	国史跡 三十三間堂官衙遺跡、堤の内遺跡
山形県	
（財）山形県埋蔵文化財センター	上敷免遺跡、檜原遺跡、中川原C遺跡、大塚遺跡・西中上遺跡、石畑遺跡、庚壇遺跡、梅野木前1遺跡、上野遺跡、上ノ山館跡、高瀬山遺跡、埋文やまがた第38号
山形県教育委員会	分布調査報告書(32)～(33)
米沢市教育委員会	遺跡詳細分布調査報告書第20集、花沢A遺跡発掘調査報告書、米沢市文化財年報No.19、よねざわ探訪 文化財散歩
東北芸術工科大学考古学研究室	高安窯跡群B地区第4次発掘調査報告書、高安窯跡群A地区第1次発掘調査報告書
福島県	
（財）いわき市教育文化事業団	玉山古墳 - 平成18年度範囲確認調査概報 -、水品遺跡、白土城跡、弘源寺貝塚
会津若松市教育委員会	若松城郭内武家屋敷跡・三ノ丸濠跡
福島大学	市野稲荷神社古墳1・上条古墳群2
茨城県	
（財）茨城県教育財団	新井南山遺跡・手代木田向西遺跡、栗島遺跡、大堀東遺跡、犬田神社前遺跡3、当向遺跡2・青木北原遺跡、向原遺跡・小組遺跡・上加賀田城跡、馬場坪遺跡、久保山遺跡、仁井谷遺跡・神岡上遺跡・古屋敷遺跡・叶南前A遺跡、沢田古墳群、ナギ山遺跡2、長砂渚遺跡、羽黒山遺跡・大戸富士山遺跡、島名熊の山遺跡、島名境松遺跡・島名前野東遺跡、下河原崎谷中台遺跡・島名ツバタ遺跡、島名八幡前遺跡、村松白根遺跡2、上野古屋敷遺跡1
ひたちなか市埋蔵文化財調査センター	平成18年度市内遺跡発掘調査報告書、ひたちなか埋文だより第25号～第26号
（財）ひたちなか市文化・スポーツ振興公社	向野遺跡群、武田原前遺跡、見てみよう聞いてみよう！その14、フィールドノート vol.18～vol.19

土浦市教育委員会	山川古墳群（第3次調査）
土浦市立博物館	土浦市立博物館年報第16号～第17号、土浦市立博物館年報第19号、霞ヶ浦に育まれた人々のくらし
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報第12号、上高津貝塚の歴史的環境
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学先史学・考古学研究第18号
筑波大世界遺産専攻	ニュースレター vol.5 ～ vol.6
栃木県	
佐野市教育委員会	佐野城跡（春日岡城）Ⅲ、クジラ山西遺跡、宮西遺跡Ⅱ・石橋遺跡
宇都宮市教育委員会	宇都宮市文化財年報第22号、新資料速報展2007、下原遺跡、砂田遺跡、西下谷遺跡、本村古墳群・本村遺跡、西刑部西原遺跡、砂田姥沼遺跡
足利市教育委員会	平成17年度文化財保護年報
群馬県	
（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団	今井見切塚遺跡－旧石器時代編－、細谷南遺跡・細谷八幡遺跡、上植木光仙房遺跡、福島飯塚遺跡(1)、吹屋遺跡、横壁中村遺跡（5）、上大塚南原遺跡・鮎川藤ノ木遺跡、中居町一丁目遺跡、三平Ⅰ・Ⅱ遺跡、下原遺跡Ⅱ、吹屋糀屋遺跡、萱野Ⅱ遺跡、下元屋敷遺跡・下田遺跡(1)、引間六石遺跡・引間松葉遺跡・塚田的場遺跡・塚田中原遺跡、東今泉鹿島遺跡、研究紀要25、荒砥北原Ⅱ遺跡、富田細田遺跡・富田宮下遺跡、遺跡に学ぶ第28号～第29号、吹屋三角遺跡、長野原一本松遺跡（2、総社閑泉明神北Ⅳ遺跡・元総社牛池川遺跡・元総社北川遺跡・元総社小見内Ⅴ遺跡、上郷岡原遺跡（1）、前道下遺跡（1）、福沢新田遺跡・細谷合ノ谷遺跡・細谷八幡遺跡、埋文群馬No.46、中郷田尻遺跡、向矢部遺跡、塚下遺跡（1）・上柳沢遺跡、下大久保遺跡、年報26、前橋城三の丸遺跡、南原間遺跡、堤沼上遺跡、亀和泉西久保Ⅱ遺跡・荻窪南田遺跡、中郷遺跡（1）-古墳時代以降編-、成塚向山古墳群
伊勢崎市教育委員会	越切遺跡Ⅱ・叺遺跡Ⅲ・三軒屋遺跡Ⅰ、洞山遺跡Ⅴ、洞山遺跡Ⅳ、川上遺跡Ⅵ、寺回遺跡Ⅷ、伊与久・久保田東遺跡Ⅱ、田中田遺跡Ⅱ、神沢川南遺跡Ⅱ・岡屋敷遺跡Ⅲ・西屋敷遺跡Ⅱ・中野面遺跡Ⅱ、上西根遺跡Ⅱ、大沼上遺跡Ⅱ、赤坂遺跡Ⅰ、釜ノ口遺跡Ⅳ、越切遺跡Ⅲ、大根谷戸遺跡Ⅰ
埼玉県	
（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団	埋文さいたま第49号～第51号
埼玉県立埋蔵文化財センター	埋文さいたま第44～46号、埼玉県立埋蔵文化財センター年報15
所沢市立埋蔵文化財調査センター	所沢市立埋蔵文化財調査センター年報No.12、市内遺跡調査報告13、西上遺跡-第1次調査・遺物編-、日向遺跡
鶴ヶ島市教育委員会	俗称旗塚古墳・泉橋遺跡第2次発掘調査報告書、北権現遺跡第3次発掘調査報告書
春日部市教育委員会	塚内14号墳、貝の内遺跡2.20.21.22.23.24次地点 小渕山下遺跡4次地点、原始・古代資料-考古-
さいたま川の博物館	かわはく No.28 ～ No.29
千葉県	
（財）印旛郡市文化財センター	フィールドブック vol.23 ～ vol.24、開園！印旛動物園、第10回遺跡発表会発表要旨、財団法人印旛郡市文化財センター年報22、印旛郡市文化財センター研究紀要5、印旛の原始･古代－縄文時代編－、西御門新堤遺跡、西御門明神台遺跡、臼井屋敷跡遺跡（第10次）、大竹井戸作遺跡、馬場No.1遺跡、前原Ⅰ遺跡、小野権現原遺跡、先崎城跡、鍋山西ノ切遺跡（第2次）、道作古墳群、東畑遺跡、笹目沢Ⅰ遺跡・笹目沢Ⅱ遺跡、台方下平Ⅰ遺跡、南作遺跡
（財）山武郡市文化財センター	長倉鍛冶屋台遺跡、長倉宮ノ前遺跡、財団法人山武郡市文化財センター年報No.17 ～ No.18、財団法人山武郡市文化財センター年報No.22、山田水呑遺跡（1030地点）、山田新田Ⅱ遺跡（1165-1地点）、折戸遺跡（203地点）、出戸遺跡、右京塚遺跡、半蔵遺跡、境遠谷津遺跡、森城跡、浅川山遺跡、四ツ塚遺跡・中島遺跡
（財）千葉市教育振興財団	千葉市芳賀輪遺跡、埋蔵文化財調査センター年報17-平成15年度-～埋蔵文化

	財調査センター年報 19- 平成 17 年度 -、千葉市高台向遺跡・猪鼻城跡、千葉市下泉町遺跡群、千葉市鎌取場台遺跡、千葉市花輪貝塚、千葉市園生新山遺跡、千葉市小中台 A 遺跡、千葉市新屋敷西遺跡・菱名台遺跡、千葉市居寒台遺跡
(財) 千葉県教育振興財団	房総の文化財 vol.41 ～ vol.42
船橋市教育委員会	印内遺跡群第 3 次、宮本台遺跡群第 3 次
野田市教育委員会	東大和田、北大和田Ⅲ、野田貝塚第 23 次・清水遺跡第 2 次、野田貝塚第 20・22 次・清水遺跡、野田貝塚 - 第 17・18 次調査 -、一ノ坪・花井新田野馬土堤、平成 17 年度野田市内遺跡発掘調査報告、平成 18 年度野田市内遺跡発掘調査報告
市原市教育委員会	発掘いちはらの遺跡 No.1、平成 18 年度市原市内遺跡発掘調査報告、市原市豊成百目木遺跡、市原市西広貝塚Ⅲ
芝山町教育委員会	平成 18 年度芝山町内遺跡発掘調査報告書
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 134 集～第 138 集、国立歴史民俗博物館年報 3
市立市川考古博物館	市立市川考古博物館館報第 34 号
(財) 千葉県史料研究財団	市原市南原遺跡縄文時代草創期石器資料調査報告書、千葉県古墳時代関係資料
東京都	
(財) 東京都生涯学習文化財団	鍛冶屋敷遺跡、要石遺跡、大橋遺跡、西台後藤田遺跡第 3 地点（第 2 次調査）、内藤町遺跡、たまのよこやま No.69、丹木遺跡群
(財) 東京都スポーツ文化事業団	草花遺跡・草花古墳群、橋場遺跡、山王上遺跡、下野谷遺跡第 18 次調査、日野市 No.16 遺跡、日野市 No.16 遺跡・神明上遺跡、日野市 No.51 遺跡、日野市神明上遺跡、和泉伯太藩・武蔵岡部藩上屋敷跡遺跡、若松町遺跡Ⅱ、尾張徳川家下屋敷跡Ⅴ、東京都埋蔵文化財センター研究論集ⅩⅩⅢ、たまのよこやま 70 ～ 72、東京都埋蔵文化財センター年報 27
宮内庁書陵部	書陵部紀要第 58 号
葛飾区教育委員会	平成 17 年度葛飾区埋蔵文化財調査年報、発掘！かつしかの遺跡
調布市郷土博物館	郷土博物館だより No.70、東京都調布市埋蔵文化財年報 - 平成 17 年度 -、深大寺城跡、調布市埋蔵文化財報告集刊 2
港区立港郷土資料館	近江山上藩稲垣家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅰ～Ⅱ
明治大学博物館	明治大学博物館年報 2005 年度・2006 年度
青山学院大学文学部史学研究室	青山史学第二十五号～第二十六号
早稲田大学図書館	古代 120 号
首都大学東京考古学研究室	人類誌情報 2005
神奈川県	
神奈川県教育委員会	神奈川県埋蔵文化財センター年報 19、市坂遺跡・中田谷遺跡・権太山遺跡、平成 17 年度神奈川県内埋蔵文化財発掘調査一覧
横須賀市教育委員会	神明社前遺跡発掘調査報告Ⅰほか、久留和遺跡 C 地点発掘調査報告ほか、猿島遺跡群 4
平塚市教育委員会	山王 A 遺跡 - 第 4 地点 -、天神前 / 塚越古墳 / 十二天、桜畑・赤坂遺跡、万田貝殻坂貝塚（万田遺跡第 9 地点）発掘調査報告書
(財) 茅ヶ崎市文化振興財団	西久保・大屋敷 B 遺跡
富山県	
(財) 富山県文化振興財団	任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅱ、岩坪岡田遺跡 手洗野赤浦遺跡 近世北陸道遺跡発掘調査報告、北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告（7）、能越自動車道関連埋蔵文化財包蔵地調査報告、富山考古学研究第 10 号、平成 18 年度埋蔵文化財年報、とやま発掘だより - 平成 18 年度発掘調査速報 -、板屋谷内 B・C 古墳群・堂前遺跡調査報告、任海宮田遺跡調査報告Ⅲ
富山県埋蔵文化財センター	埋文とやま第 98 号～第 100 号、富山県埋蔵文化財センター年報 - 平成 18 年度 -、水辺に暮らす - 北陸の低湿地遺跡 -、江上 A 遺跡、弥生時代のムラ 江上 A 遺跡
砺波市教育委員会	砺波市遺跡詳細分布調査報告Ⅰ～Ⅱ、久泉遺跡発掘調査報告Ⅲ
射水市教育委員会	赤田Ⅰ遺跡発掘調査概要（2）、本江畑田Ⅰ遺跡発掘調査報告（3）

石川県	
（財）石川県埋蔵文化財センター	いしかわの遺跡 No.24 ～ No.26、石川県埋蔵文化財情報第 16 号～第 17 号、年報 8、久江サザシミヤシキ遺跡、渡合遺跡、角間川遺跡、正院小路遺跡、小松城跡、正友じんとくじま遺跡、三室トリ A 遺跡・三室トリ C 遺跡、二ツ菜グミノキハラ遺跡、国分尼塚遺跡、花園上田遺跡、俵ニカヤマノヤマ丁遺跡、下町マッチャマ遺跡、えの目ゲンヤマ横穴墓群、三社町遺跡
金沢市埋蔵文化財センター	平成 18 年度金沢市埋蔵文化財調査年報、下堤・青草町遺跡、桜田・示野中遺跡Ⅱ、無量寺 C 遺跡・無量寺 D 遺跡、畝田・寺中遺跡、寺中 B 遺跡Ⅶ・畝田・寺中遺跡Ⅳ、広坂遺跡（1 丁目）Ⅳ、花園八幡遺跡、中屋サワ遺跡Ⅲ、兼六元町遺跡・彦三町一丁目遺跡
福井県	
福井県埋蔵文化財調査センター	岳ノ谷窯跡群、芳春寺山中世墓群、栗住波谷口遺跡、大塩向山遺跡（仮称王子保山城跡）・山腰遺跡、大日山 5 号墳、東古市縄手遺跡、藤巻館遺跡、石山城跡、南伊夜山銅鐸出土地、衣掛山古墳群、年報 20
あわら市教育委員会	南稲越遺跡
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告Ⅸ、一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2005 ～ 2006
山梨県	
山梨県埋蔵文化財センター	年報 22、山梨県分布調査報告書（平成 18 年 1 月～ 12 月）、埋文やまなし第 24 号～第 26 号、研究紀要 23、県指定史跡甲府城跡平成 18 年度調査・整備報告書、小井川遺跡Ⅱ、足原田遺跡Ⅱ、平田宮第 2 遺跡、鰍沢河岸跡Ⅴ
北杜市教育委員会	梅之木遺跡Ⅴ～Ⅵ、史跡谷戸城跡Ⅳ～Ⅵ、北杜市文化財年報 - 平成 17 年度 -
身延町教育委員会	身延町和田・お宮横遺跡
長野県	
（財）長野県埋蔵文化財センター	国道 153 号伊那・松島バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書 2、石子原遺跡・山本西平遺跡・辻原遺跡・赤羽原遺跡、県道諏訪茅野線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書、長野県埋蔵文化財センター年報 23
長野市埋蔵文化財センター	長野市埋蔵文化財センター所報 No.17 ～ No.18、西前山古墳、松原遺跡Ⅴ、小板屋遺跡、松代城下町跡（2）、吉田町東遺跡（2）、水内坐一元神社遺跡（4）、松代城下町跡（3）、善光寺門前町跡 - 竹風堂善光寺大門店地点 -、平林東沖遺跡、浅川扇状地遺跡群 二ツ宮遺跡（3）・浅川端遺跡（3）、篠ノ井遺跡群（5）、浅川扇状地遺跡群 吉田古屋敷遺跡（5）、篠ノ井遺跡群（6）、浅川扇状地遺跡群 吉田古屋敷遺跡（3）、浅川扇状地遺跡群 吉田古屋敷遺跡（3）・田牧居帰遺跡（2）
上田市教育委員会	平成 17 年度市内遺跡発掘調査報告書、法楽寺遺跡、市内遺跡、史跡信濃国分寺跡
佐久市教育委員会	岩村田遺跡群宮の前遺跡、仲田遺跡Ⅱ、枇杷坂遺跡群上直路遺跡Ⅱ～Ⅲ、市内遺跡発掘調査報告書 2005、須釜遺跡、石田遺跡、五庵遺跡、佐久市文化財年報 15
松本市立考古博物館	蟻ヶ崎遺跡、元原遺跡、松本城下町跡小池町、松本城三の丸跡土居尻第 1 次
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.50 ～ vol.52
岐阜県	
各務原市埋蔵文化財調査センター	かかみがはらの埋文第 15 号～第 16 号、広畑野口遺跡（A・B 地区）、広畑野口遺跡 A 地区発掘調査報告書、西洞山古墳群 B 地区発掘調査報告書、各務御坊山南遺跡群発掘調査報告書、熊田山北古墳群、御坊山南遺跡群、熊田山北古墳群発掘調査報告書
（財）岐阜市教育文化振興事業団	鷺山蝉・鷺山仙道遺跡、平成 17・18 年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書、船来山古墳群
（財）土岐市埋蔵文化財センター	窯ヶ根窯跡発掘調査報告書
（財）岐阜県教育文化財団	縄文人ってなかなすごい！！、平成 18 年度年報、きずな第 49 号～第 51 号、野内遺跡 D 地区、”小洞遺跡、小洞西 1 号古墳”、赤保木遺跡、櫨原村平遺跡、
静岡県	
（財）静岡県埋蔵文化財調査研究所	研究所報 No.117 ～ No.121、静岡県埋蔵文化財調査研究所年報 23、研究紀要第 14 号、入野東古墳群　入野高岸古窯、青木原遺跡、井通遺跡、佛ヶ尾遺跡、小

	瀬戸遺跡・栗ヶ沢遺跡、向田A遺跡、宮裏遺跡Ⅲ、藤ノ越遺跡、元野遺跡（第二東名No.19地点）、森町円田丘陵の古墳群、下ノ大窪遺跡、上ノ平遺跡、矢畑遺跡、井通遺跡Ⅱ
磐田市埋蔵文化財センター	特別史跡遠江国分寺跡、権現下発掘調査報告書、町内遺跡確認調査報告書2
袋井市教育委員会	平成17年度掛之上遺跡 - 写真図版編 -、平成18年度掛之上遺跡 - 写真図版編 -
伊東市教育委員会	市内遺跡試掘・確認調査報告書
浜松市埋蔵文化財調査事務所	上平遺跡、城山遺跡、郷ヶ平4号墳Ⅱ、梶子北遺跡Ⅲ、中田北遺跡
静岡市立登呂博物館	研究紀要7、静岡市立登呂博物館館報17
愛知県	
安城市埋蔵文化財センター	史跡二子古墳
一宮市博物館	浅井町内遺跡発掘調査報告書
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第25号
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館年報24、名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第9号、埋蔵文化財調査報告書55～56、高蔵遺跡第54次発掘調査報告書、瑞穂遺跡第9次発掘調査報告書、H-115窯跡発掘調査報告書、国史跡白鳥塚古墳、大久手池周辺古墳群、平手町遺跡第3次発掘調査報告書、平成18年度鳴海城跡発掘調査報告書、中丸町遺跡発掘調査報告書、名古屋城跡巾下門跡発掘調査報告書、朝日遺跡発掘調査報告書、平手町遺跡、竪三蔵通遺跡発掘調査報告書
豊田市郷土資料館	豊田市郷土資料館だよりNo.59～No.60、水汲遺跡の縄文土器 - 第二次発掘調査検出土器図集 -、平成17年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書、秋葉遺跡・酒呑ジュリンナ遺跡、明蓮1～4号窯跡･七曲1号窯跡、地下に埋もれた縄文の森、豊田市郷土資料館だよりNo.61～No.62
豊田市民芸館	- 猿投窯の発見者 - 本多静雄コレクション《猿投・古瀬戸》
名古屋大学考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集158
三重県	
三重県埋蔵文化財センター	平成17年度三重県埋蔵文化財年報、天童山古墳群発掘調査報告、里前遺跡（第3・4次）発掘調査報告、魚見里前遺跡発掘調査報告、大会遺跡発掘調査報告、勢武谷遺跡第1次発掘調査報告、一般国道42号松阪多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報10、松阪市中村川流域の考古資料1、みえNo.41、三石代遺跡発掘調査報告、琵琶垣内遺跡（第3次）発掘調査報告、中新田遺跡（第2次）発掘調査報告、山添遺跡（第4次）発掘調査報告、替田遺跡（第5次～第8次）発掘調査報告、荒木・西明寺地区遺跡群発掘調査報告、上後瀬遺跡発掘調査報告、小牧北遺跡発掘調査報告、岡田向遺跡・本田氏館跡発掘調査報告、上椎ノ木古墳群・谷山古墳・正知浦古墳群・正知浦遺跡、一般国道23号中勢道路（14工区）建設事業に伴う小津遺跡発掘調査報告、一般国道23号中勢道路（14工区）建設事業に伴う舞出北遺跡発掘調査報告、一般国道23号中勢道路　埋蔵文化財発掘調査概報18、一般国道42号松阪多気バイパス　埋蔵文化財発掘調査概報11、伊賀の考古資料1～2、研究紀要第16-1号
津市埋蔵文化財センター	まいぶん津創刊号～第2号、中山下経塚発掘調査報告、今徳城跡（第1次）発掘調査報告、多気北畠氏遺跡第28次発掘調査報告、山の脇遺跡発掘調査報告
松阪市教育委員会	2005年度松阪市埋蔵文化財発掘調査報告
伊賀市教育委員会	長良遺跡発掘調査報告、伊賀市文化財年報3
鈴鹿市考古博物館	伊勢国府跡9、竹野一丁目遺跡第1次発掘調査報告書、稲荷山古墳発掘調査報告書、境谷遺跡第1次発掘調査概要報告、鈴鹿市考古博物館年報第8号～第9号
滋賀県	
滋賀県埋蔵文化財センター	滋賀埋文ニュースNo.321号～No.335号、”近江の古墳時代、渡来文化と人々の暮らし”、”近江の飛鳥、白鳳時代、古代国家の誕生”
守山市立埋蔵文化財センター	川原田遺跡発掘調査報告書、古高遺跡・経田遺跡発掘調査概要報告書、古高遺跡・経田遺跡、伊勢遺跡発掘調査報告書、伊勢遺跡発掘調査報告書Ⅱ～Ⅴ、平成16年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書、平成17年度国庫補助対象遺跡発

	掘調査報告書、吉身北遺跡発掘調査概要報告書、吉身北遺跡第22次調査報告書、勝部西浦遺跡発掘調査報告書、古高城遺跡第12次発掘調査報告書、金森遺跡（第3次）発掘調査報告書、金森遺跡（第43次）発掘調査報告書、焔魔堂遺跡第5次発掘調査報告書、焔魔堂遺跡第9次発掘調査報告書、松塚遺跡第一次発掘調査報告書、中島遺跡発掘調査報告書第3次調査、下之郷遺跡確認調査報告書Ⅰ～Ⅱ、平成14年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書、平成15年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書、伊勢遺跡第28次発掘調査報告書、金森東遺跡（第30次）・金森遺跡（第2次）発掘調査概要報告書、焔魔堂遺跡第4次発掘調査報告書、塚之越遺跡発掘調査概要報告書、下長遺跡第21次発掘調査報告書、益須寺関連遺跡発掘調査報告書
（財）滋賀県文化財保護協会	醍醐遺跡 - 山麓の縄文遺跡 -、東海道石部宿～おかげまいりとええじゃないか～、朽木古屋の六斎念仏、国宝・彦根屏風を読み解く
（財）栗東市文化体育振興事業団	栗東市埋蔵文化財調査報告2005年度年報、はっくつ2006、弥生時代のムラ - 葉山川流域の弥生遺跡 -
東近江市埋蔵文化財センター	八日市蛭子神社遺跡・斗有遺跡（19次）、中沢遺跡（15次）、能登川石田遺跡（23次）・中沢遺跡（16次）・斗西遺跡（20次）
滋賀県教育委員会	総持寺遺跡、落川遺跡・高月北遺跡、長浜城遺跡・一丁田遺跡、了安寺遺跡・尊光寺遺跡、弘川佃遺跡・弘川宮ノ下遺跡、夕陽ケ丘北遺跡・大篠原西遺跡、霊仙寺遺跡、関津遺跡Ⅰ、平成18年度滋賀県埋蔵文化財調査年報、水の浄土琵琶湖、入江内湖遺跡Ⅱ、柳遺跡Ⅳ、岩尾山遺跡、長野遺跡Ⅲ、高野城遺跡、酒波寺遺跡、関津遺跡、弘前遺跡Ⅰ、弘前遺跡・赤野井遺跡、安養寺遺跡・辻野遺跡
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査年報 - 平成17（2005）年度 - ～ - 平成18（2006）年度 -
米原市教育委員会	佐加太第26号～第27号
野洲市教育委員会	西河原宮ノ内・比留田法田遺跡発掘調査報告書
竜王町教育委員会	竜王町内遺跡散策マップ（2）、竜王町遺跡リーフレット6～10、竜王町内遺跡発掘調査概要報告書平成16年度・平成17年度
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第59号～第62号
大津市歴史博物館	大津歴博だより No.68 ～ No.69
滋賀県立琵琶湖博物館	うみんど第43号～第46号、注文の多い湖魚の料理店
愛荘町立歴史文化博物館	愛荘町内遺跡発掘調査報告書1
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化第20号～22号
京都府	
（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第102号～第104号、OUTLINE概要
（財）京都市埋蔵文化財研究所	平安京右京七条一坊九町跡、平安京右京一条三坊三町跡、長岡京右京一条四坊十四・十五町跡、平安京右京三条二坊十一町跡、常磐仲之町遺跡・上ノ段町遺跡、平安宮正親司跡、平安京右京三条一坊六町跡、平安京左京八条四坊四・五町跡、平安京右京六条二坊三町跡、　“長岡京右京二条三坊八・九町跡、上里遺跡”、伏見城跡、史跡賀茂御祖神社境内、平安京右京三条二坊十四町跡、平安京左京六条四坊三町跡、平安京右京六条二坊六・十一町跡、平安京左京三条四坊十町跡、研究紀要第10号、平成15年度財団法人京都市埋蔵文化財調査年報、平成16年度財団法人京都市埋蔵文化財調査年報
（財）向日市埋蔵文化財センター	長岡京跡ほか、年報都城19
京都市文化芸術都市推進室	平成18年度京都市内遺跡発掘調査報告、平成18年度京都市内遺跡立会調査報告、平成18年度京都市内遺跡試掘調査報告、平成19年度京都市内遺跡発掘調査報告、平成19年度京都市内遺跡立会調査報告、平成19年度京都市内遺跡分布調査報告
南丹市教育委員会	園部旧城下町町屋調査報告書、園部城跡第3次発掘調査報告書、天神山城跡第1次発掘調査報告書、平成18年度南丹市内遺跡発掘調査報告書
南丹市立文化博物館	南丹市立文化博物館だより第1号～第2号、園部ゆかりの画家たち、南丹市の

	遺跡、電化製品がやってきた、なんたんの味～郷土・既設・行事の食～、麻田辨自
京都橘大学	法琳寺跡発掘調査報告
大阪府	
(財) 八尾市文化財調査研究会	(財) 八尾市文化財調査研究会報告 92・95・97～99・101・103・104・110、大竹西遺跡第1次発掘調査報告書、久宝寺遺跡第34次発掘調査報告書、田井中遺跡・財団法人八尾市文化財調査研究会報告100、太田遺跡第1次発掘調査報告書、田井中遺跡、平成18年度(財)八尾市文化財調査研究会事業報告、八尾南遺跡(第27次調査)、九頭神廃寺
高槻市立埋蔵文化財調査センター	闘鶏山古墳石槨画像・環境調査報告書、闘鶏山古墳石槨画像・環境調査報告書(デジタル版)、史跡・今城塚古墳 - 平成17年度・第9次規模確認調査 -、嶋上遺跡群31、史跡・安満遺跡保存管理計画書、古代の匠に挑戦！石棺復元体験への手引き - 竜山石編 -
堺市立埋蔵文化財センター	堺市文化財調査概要報告第102冊～第107冊、堺埋蔵文化財だより第17号～第18号、平成15年度国庫補助事業発掘調査報告書、平成16年度国庫補助事業発掘調査報告書
(財) 大阪府文化財センター	カルチュアはっとり No.10、OCCHNo.36～No.38、研究調査報告第5集～第6集、年報平成17年度～平成18年度、大阪文化財研究第31号～第32号、寝屋南遺跡・奥山遺跡、上の山遺跡Ⅱ～Ⅲ、讃良郡条理遺跡Ⅴ～Ⅵ、私部南遺跡Ⅰ、"大西遺跡、若宮遺跡"、上私部遺跡Ⅰ～Ⅱ、若宮遺跡、花屋敷遺跡Ⅰ～Ⅱ、有池遺跡Ⅰ、池島・福万寺遺跡3～4、久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅶ、出土木器が語る考古学 - 弥生時代・古墳時代の諸様相 -、弥生人現れる - 大地は実り人は祈る -、難波津から東アジアへ、植松遺跡、"津田遺跡、東倉治遺跡、茄子作遺跡他"、山賀遺跡、新上小阪遺跡Ⅱ、弥生人の住まいを探る、池島福万寺遺跡と周辺の文化財、倉治遺跡、埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳、湊遺跡他Ⅲ、巣本遺跡Ⅰ、住居に関する総合的研究(6)、土偶 - 近畿地方を中心に -、大阪の古墳時代を考える -(財) 大阪府文化財センター35年の発掘調査精華 -、八尾南遺跡
東大阪市立埋蔵文化財センター	まいぶん
堺市教育委員会	平成18年度国庫補助事業発掘調査報告書、平成17年度市内遺跡立会調査概要報告、大保遺跡発掘調査概要報告、太井遺跡発掘調査概要報告・黒山遺跡発掘調査概要報告、真福寺遺跡発掘調査概要報告、堺環濠都市遺跡(SKT945)発掘調査概要報告、史跡土塔 - 遺構編 -
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成18(2006)年度 -、文化財ニュース豊中 No.34
枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2006、史跡禁野車塚古墳、特別史跡百済寺跡、特別史跡百済寺跡平成19年度確認調査概要
東大阪市教育委員会	東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 - 平成18年度 -、瓜生堂遺跡第53次発掘調査報告、友井東遺跡第6次・コモ田遺跡第5次発掘調査概要、鬼塚遺跡第29次発掘調査概報、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 - 平成18年度 -、佐堂遺跡第1次発掘調査報告、河内寺廃寺跡発掘調査報告書
羽曳野市教育委員会	羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成14年度 -、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成15年度 -、古市遺跡群ＸＸⅦ～ＸＸⅧ
富田林市教育委員会	平成18年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書、新堂廃寺跡Ⅱ
貝塚市教育委員会	貝塚市遺跡群発掘調査概要29
泉佐野市教育委員会	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第51号～第55号、日根荘の文化的景観調査概要(平成18年度)、平成18年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要、大木遺跡05-1区の調査
泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸⅣ
交野市教育委員会	平成18年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要

池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2006 年度
吹田市教育委員会	平成 18 年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報、蔵人遺跡発掘調査報告書Ⅰ
茨木市教育委員会	平成 18 年度発掘調査概報
大阪府立弥生文化博物館	弥生倶楽部 vol.31 ～ vol.32、弥生文化博物館要覧 - 平成 18 年度 -、稲作とともに伝わった武器、計る・量る・測る - 度量衡の歴史展 -、日向・薩摩・大隅の原像 - 南九州の弥生文化 -、発掘された大阪 2007- 水都大阪の国際交流史 -
大阪府立近つ飛鳥博物館	アスカディア・古墳の森 vol.26 ～ vol.27、河内古代寺院巡礼、横穴式石室誕生、館報 11
吹田市立博物館	博物館だより No.29 ～ No.31、館報 7、吹田の景観を掘りおこす 2、吹田市文化財ニュース No.28、’07 EXPO’70
大阪府立狭山池博物館	大阪府立狭山池博物館研究報告 4、国土を拓いた金物たち
八尾市立歴史民俗資料館	研究紀要第 18 号、八尾市立歴史民俗資料館報（平成 17 年度）
大阪大学考古学研究室	大谷 3 号窯、須恵器生産における古代から中世への変質過程の研究
大阪大学埋蔵文化財調査室	待兼山遺跡Ⅳ
大阪大谷大学	志学台考古第 5 号～第 7 号
兵庫県	
兵庫県教育庁埋蔵文化財調査事務所	ひょうごの遺跡第 63 号
姫路市埋蔵文化財センター	城下町の考古学 - 地面の下の世界遺産 -、特別史跡姫路城跡
たつの市埋蔵文化財センター	再現播磨の中世城郭、西播磨の古代寺院と蓮華文帯鴟尾
妙見山麓遺跡調査会	神出Ⅳ、栄・木幡遺跡
神戸市教育委員会	平成 16 年度神戸市埋蔵文化財年報、西郷古酒蔵群／大石東遺跡第 4 次調査発掘調査報告書、生田遺跡第 4 次調査発掘調査概要、神戸市埋蔵文化財分布図、史跡西求女塚古墳
三田市教育委員会	三田文化財情報平成 17 年度
芦屋市教育委員会	平成 12 年度芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、打出小槌遺跡（第 41 地点）発掘調査報告書、月若遺跡発掘調査報告書第 83 地点、会下山から邪馬台国へ - 高地性集落の謎と激動の弥生社会 -
加西市教育委員会	糠塚古墳群、玉丘古墳群Ⅲ、殿垣内遺跡・長塚遺跡、岡田遺跡・上葉ノ木遺跡、播磨繁昌廃寺 - 寺跡と古窯跡 -、加西市史
赤穂市教育委員会	赤穂ことば
尼崎市教育委員会	尼崎市内遺跡発掘調査等、尼崎市埋蔵文化財調査年報平成 8 年度（2）・9 年度・10 年度（1）、遺跡分布地図及び手引き
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.16 ～ vol.17、特別史跡姫路城跡石垣修理工事報告書 (8)
加東市教育委員会	加東市埋蔵文化財試掘調査概要、文化財年報～ 2005 年度～
たつの市教育委員会	西播磨発掘物語 - 埋もれた歴史の扉を開く -
川西市教育委員会	平成 17 年度川西市発掘調査報告
太子町教育委員会	平成 17・18・19 年度埋蔵文化財調査年報
佐用町教育委員会	平成 17 年度埋蔵文化財調査年報、平成 3 年度埋蔵文化財調査年報
多可町教育委員会	安坂・城の堀遺跡Ⅳ・茂利・大将軍遺跡、田野口・箆町遺跡Ⅱ
兵庫県立考古博物館	平成 17 年度年報、平成 18 年度年報、加都遺跡Ⅱ、平松八幡神社窯跡群・平松古墳群･石才大池遺跡、小茅野後山遺跡、川戸遺跡、長見寺廃寺址、筒江浦石遺跡、南本町・北村遺跡、富島遺跡、坂元遺跡Ⅰ、溝之口遺跡、大中遺跡Ⅱ～Ⅲ・山之上遺跡、宮内堀脇遺跡Ⅱ、沢野遺跡、福中遺跡･芝崎遺跡、豆腐町遺跡Ⅰ、粟鹿遺跡、ひょうごの遺跡第 64 号～第 66 号、発掘・日本の原風景、”“おかえり”故郷へ 発掘された兵庫の遺宝”、播磨の中心を掘る－考古学からみた播磨の十字路－
神戸市立博物館	神戸市立博物館年報 No.22、研究紀要第 23 号
赤穂市立歴史博物館	南国土佐の忠臣蔵 - 絵金が描いた芝居絵屏風 -
播磨町郷土資料館	播磨町郷土資料館館報 18
兵庫陶芸美術館	兵庫陶芸美術館研究紀要第 1 号、丹波立杭の里ミュゼレター Vol.2

大手前大学史学研究所	弥生土器集成と編年 - 播磨編 -、定納古墳群、土器研究の新視点、兵庫県の美術・工芸の近代
奈良県	
桜井市立埋蔵文化財センター	平成 18 年度発掘調査速報展、桜井公園遺跡群、纒向遺跡発掘調査報告書、平成 17 年度国庫補助による発掘調査報告書、桜井市内埋蔵文化財 2000 年度発掘調査報告書 3、ヤマト王権はいかにして始まったか、三輪山を仰いで - 三輪山西麓の文化財 -、国史跡珠城山古墳
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.126 ～ No.129、動物考古学の手引き
橿原市教育委員会	平成 17 年度橿原市文化財調査年報、橿原市遺跡地図（第 2 版）
宇陀市教育委員会	宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2005 年度、室生寺奥の院発掘調査報告書
田原本町教育委員会	太安万侶のふるさと、田原本町文化財調査年報 15、田原本の埴輪、唐古・鍵考古学ミュージアムミュージアムコレクション Vol.1
広陵町教育委員会	まるこ山古墳 - 第 2 次発掘調査報告 -
（財）元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究 No.89
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告Ⅸ、天武・持統朝の寺院造営 - 西日本 -
奈良大学文学部考古学研究室	秋篠・山陵遺跡
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報第 23・24 集水野正好先生送別記念論集、文化財学報第 25 集
天理大学考古学研究室	古事第 11 冊
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第 20 号、桧野照武氏旧蒐資料目録 5
和歌山県	
（財）和歌山市都市整備公社	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 - 平成 16 年度（2004 年度）-、和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 - 平成 17 年度（2005 年度）-（財）和歌山県文化財センター
有田川町教育委員会	平成 18 年度有田川町埋蔵文化財調査年報、旧吉備中学校校庭遺跡第 3 次現地説明会資料
高野町教育委員会	金剛峯寺遺跡 KBT05-21
鳥取県	
（財）鳥取県教育文化財団	年報 -2006-、大殿下ノ原遺跡・坂長米子端ノ上遺跡・諏訪東土取場遺跡・坂長村上遺跡・坂長道端中遺跡、坂長下門前遺跡、大殿狐谷遺跡・長者原 16・18 号墳、年報 2007
（財）米子市教育文化事業団	埋蔵文化財調査室年報 8、小波泉原遺跡、目久美遺跡ⅩⅡ、泉上経上遺跡、喜多原第 5 遺跡
（財）鳥取市文化財団	大坪イカウ松遺跡、郷原石堂口遺跡・郷原古墳群、郷原地才工下平遺跡
鳥取県埋蔵文化財センター	笠見第 3 遺跡Ⅱ、箆津乳母ヶ谷第 2 遺跡Ⅱ、梅田萱峯遺跡Ⅱ～Ⅲ、門前上屋敷遺跡Ⅱ・門前鎮守山城跡、門前第 2 遺跡Ⅱ（菖蒲田地区）、弥生時代Ⅱ戦いと交流・墓とまつり、「楼観」再考－青谷上寺地のながい柱材をめぐって－、茶畑六反田遺跡Ⅲ（4・5 区）
鳥取市教育委員会	平成 18 年度鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書、大坪イカウ松遺跡
倉吉市教育委員会	クズマ遺跡第 4 次発掘調査報告書、中曽根遺跡・簗ヶ谷遺跡発掘調査報告書
鳥取県教育委員会	妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2006
米子市教育委員会　淀江分室	淀江町内遺跡Ⅸ
大山町教育委員会	坪田遺跡発掘調査報告書、大山町内遺跡発掘調査報告書
北条歴史民俗資料館	平成 17 年度町内遺跡発掘調査報告書、平成 18 年度町内遺跡発掘調査報告書
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	水海のほとり、ドキ土器まいぶん No.37 ～ No.40、山持遺跡Ⅱ・Ⅲ区（vol.2）、家の後Ⅱ遺跡 2・北原本郷遺跡 2、古代文化の郷出雲 No.7、山持遺跡・里方本郷遺跡の調査、オロチのいぶき、史跡山代郷北新造院跡 Vol.2、石見路の言伝、中祖遺跡範囲確認調査報告書、埋蔵文化財調査センター年報 15、山代郷北新造院跡、東前田遺跡・大谷口遺跡・中嶺遺跡・金クソ谷遺跡 1 区・2 区・3 区、山持遺跡 Vol.3、余小路遺跡・小畑遺跡、浜寄・地方遺跡、原田遺跡（3）
島根県古代文化センター	順庵原 1 号墓の研究、北光寺古墳発掘調査報告書、四隅突出型墳丘墓と弥生墓

	制の研究
安来市教育委員会	史跡荒島古墳群・仲仙寺古墳群 - 整備事業報告書 -、足子谷横穴墓、土居成遺跡発掘調査報告書、経塚鼻遺跡発掘調査報告書、経負坂古墳群Ⅱ、経負坂古墳群、史跡富田城跡発掘調査報告書（山中御殿平・花ノ壇地区）、史跡富田城跡発掘調査報告書（千畳平地区）、史跡富田城跡環境整備事業報告書、史跡富田城跡環境整備事業報告書Ⅱ、伯太町安田地区内試掘調査報告書、シアケ遺跡発掘調査報告書、尼子氏関係史料調査報告書
出雲市教育委員会	寿昌寺遺跡・築山遺跡発掘調査報告書、出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第 15 集、小山遺跡第 3 地点発掘調査報告書（第 5 次発掘調査）、浜井場古墳群発掘調査報告書
出雲市教育委員会	河下台場遺跡、築山遺跡Ⅱ、西谷横穴墓群第 2 支群発掘調査報告書、門前遺跡発掘調査報告書、出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第 17 集、港代遺跡 2、山根垣古墳・西西郷廃寺、木舟窯跡群
益田市教育委員会	広戸 A 遺跡調査報告書、広戸 B 遺跡調査報告書、平内田遺跡調査報告書、下都茂原遺跡、酒屋原遺跡、平田遺跡発掘調査報告書、森下遺跡
浜田市教育委員会	浜田市遺跡詳細分布調査 - 周布地区Ⅰ -、浜田城跡（庭園跡の調査 1）
津和野町教育委員会	津和野町内遺跡発掘調査報告書 2 ～ 3、陶晴賢本陣跡、御茶屋床上遺跡、津和野町遺跡地図
伯太町教育委員会	丹部落合遺跡発掘調査報告書
島根大学ミュージアム	SHIMANEDAI MUSE Vol.1、島根大学ミュージアム年報平成 18 年度、学舎の履歴書～島根大学（松江キャンパス）と周辺の歴史～、島根大学コレクション 2007
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第 42 号～第 43 号、中町 B 遺跡、下町陣屋跡、津島遺跡、鹿田遺跡、百間川兼基遺跡 4・百間川沢田遺跡 5、総社遺跡・金井戸遺跡・北溝手遺跡、鹿田遺跡、塩納森井先遺跡、津島遺跡 7
津山弥生の里文化財センター	津山城だより No.10 ～ No.11、津山弥生の里第 14 号、日上畝山古墳群Ⅱ、史跡津山城保存整備事業報告書Ⅰ、史跡美作国分寺跡保存整備基本構想（概要版）、史跡美作国分寺跡
岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財センター年報 6、彦崎貝塚 2、神宮寺山古墳･網浜茶臼山古墳、南方（済生会）遺跡 2、鹿田遺跡、東岡山遺跡
岡山県教育委員会	あなたの街の近代化遺産ガイドブック、岡山県埋蔵文化財報告 37
備前市教育委員会	備前と茶陶～ 16・17 世紀の変革～
真庭市教育委員会	篠向城跡、定 4・5 号墳確認調査報告
津山郷土博物館	津山松平藩町奉行日記十五、博物館だより No.54 ～ No.56、城下町と酒
倉敷市立自然史博物館	倉敷市立自然史博物館報 16､倉敷市立自然史博物館研究報告第 22 号､おもしろ！ふしぎ？な動物たち、平田信夫カミキリムシコレクション
岡山県立美術館	美術館ニュース No.76 ～ No.79
岡山大学文学部考古学研究室	出崎船越南遺跡発掘調査報告書
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第 36 号～第 37 号、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2005、鹿田遺跡 5- 第 7・8 次調査 -
岡山理科大学　人類学研究室	旭川を科学する Part3、旭川 - 流域を科学する Part4-
岡山理科大学　図書館	岡山理科大学紀要第 42 号 B 人文・社会科学、岡山理科大学紀要第 42 号 A 自然科学、自然科学研究所研究報告第 32 号
岡山理科大学「岡山学」研究会	旭川を科学する Part2、旭川 - 流域を科学する Part3-
岡山大学大学院社会文化科学研究科	先史時代における居住様式と動物相の歴史変遷に関する日仏比較研究、「備中国賀陽郡服部郷図」の再検討
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要 21
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 - 倉敷市史紀要 - 第 17 号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース第 29 号～第 30 号

高梁川流域連盟	高梁川 65
広島県	
(財) 東広島市教育文化振興事業団	阿岐のまほろば vol.35 ～ vol.36、西本 5 号遺跡発掘調査報告書、御土居遺跡発掘調査報告書Ⅱ、三永水源地窯跡郡詳細分布調査報告書、史跡安芸国分寺跡発掘調査報告書Ⅸ
(財) 広島市文化財団	ひろしまの遺跡第 99 号～第 101 号、研究連絡誌Ⅲ、広島城遺跡西白島地点、三谷遺跡、段之原山遺跡、広島城跡太田川河川事務所地点、南部山遺跡発掘調査報告書、布掛遺跡・大槙神遺跡、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (5) ～ (6)、近森遺跡
広島県教育委員会	平成 17 年広島県内遺跡発掘調査 (詳細分布調査) 報告書
福山市教育委員会	二子塚古墳発掘調査報告書、福山市内遺跡発掘調査概要Ⅰ
尾道市教育委員会	尾道市内遺跡 2005 年度、御調川流域の古墳
広島県立歴史博物館	広島県立歴史博物館ニュース第 71 号～第 74 号
広島県立歴史民俗資料館	研究紀要第 6 集、歴風第 43 号、年報第 26 号 - 平成 17 (2005) 年度 -、年報第 27 号 - 平成 18 (2006) 年度 -、たたら - 中国山地の鉄と人 -、最古の狩人を求めて - 中国山地と三次の旧石器文化 -
広島大学文学部考古学研究室	帝釈峡遺跡群発掘調査室年報ＸＸⅠ
広島大学環境保全委員会埋蔵文化財調査室	広島大学東広島キャンパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	陶けん第 20 号、長州藩銭座跡、田ノ浦遺跡、柳下遺跡・今市遺跡、下村遺跡、真尾猪の山遺跡
萩市建設部	史跡萩城跡 (外堀)
下関市立考古博物館	あやらぎ No.17 ～ No.18、研究紀要第 11 号、下関市立考古博物館年報 12、木の文化 - ハレとケの世界 -
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	わがまち . サイト～豊北の遺跡最前線！～
山口大学埋蔵文化財資料館	てらこや埋文 2006 年冬～ 2007 年春、平成 16 年度山口大学埋蔵文化財資料館年報、稲作到来～弥生人つくった とった たべた～
徳島県	
(財) 徳島県埋蔵文化財センター	徳島県埋蔵文化財センター年報 vol.17、一般国道 32 号線井川 IC 関連改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告、立江馬渕遺跡、観音寺遺跡Ⅱ
徳島市教育委員会	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要 17
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	いにしえの讃岐第 53 号～ No.57、平成 18 年度香川県埋蔵文化財センター年報、研究紀要Ⅲ、羽間遺跡、砂入遺跡、家の浦遺跡・川島本町山田遺跡、西末則遺跡Ⅱ、西原遺跡、住吉遺跡・渡池遺跡・北内遺跡・池下遺跡、尾崎西遺跡、今津中原遺跡、弘田川西岸遺跡、鹿伏・中所遺跡Ⅰ、俊正遺跡、室塚遺跡 行野原遺跡、稲木北遺跡 永井北遺跡 小塚遺跡、東坂元秋常遺跡Ⅰ、中東遺跡２・奥白方中落遺跡・奥白方南原遺跡、吉野下秀石遺跡
高松市教育委員会	奥の坊古墳群Ⅴ～Ⅵ、高松城跡 (寿町一丁目)、特別史跡讃岐国分寺跡 - 第 16 ～ 21・25 ～ 35 次調査 - ほか、高松市内遺跡発掘調査概報、諏訪神社遺跡・久米山遺跡群、白山神社古墳、高松城跡 (寿町二丁目地区)、日暮・松林遺跡、平石上 2 号墳・石舟池古墳群、屋島寺、史跡高松城跡整備報告書第 2 冊石垣基礎調査報告書
丸亀市教育委員会	丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書
さぬき市教育委員会	一つ山古墳・赤山古墳・蓑神塚古墳
香川県歴史博物館	香川県歴史博物館ニュース vol.30 ～ vol.34
愛媛県	
(財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター	高橋佐夜ノ谷Ⅱ遺跡 2 次、蓼原遺跡 1・2 次、熱田城跡・柿の木西法寺遺跡・長松寺城跡、角ヶ谷城跡 2 次、郷桜井堀遺跡、郷桜井堀遺跡 2 次、阿方頭王Ⅶ遺跡・阿方頭王Ⅷ遺跡・阿方頭王Ⅸ遺跡・阿方頭王Ｘ遺跡・阿方頭王ＸⅠ遺跡、別名

	端谷Ⅰ遺跡・別名端谷Ⅱ遺跡・別名成ルノ谷遺跡・別名寺谷Ⅰ遺跡・別名寺谷Ⅱ遺跡、愛比売 - 平成 18 年度年報 -、紀要愛比売第 7 号
（財）松山市生涯学習振興財団	松山大学構内遺跡Ⅳ -6 次調査地 -、鶴が峠遺跡Ⅰ、大峰ヶ台遺跡 -10 次調査 -、発掘へんろ、中村地区の遺跡、南梅本上方遺跡 1･2 次調査地･南梅本長広遺跡 1･2 次調査地、東野森ノ木遺跡 1・2・3・4 次調査地他
今治市教育委員会	史跡能島城跡－平成 13･14 年度保存整備事業報告書－、史跡能島城跡－平成 15・16 年度岩礁ピット調査報告書－、市内遺跡試掘確認調査報告書ＸＸⅢ～ＸＸⅣ、史跡能島城跡－平成 17 年度船だまり調査報告書－、高橋佐夜ノ谷Ⅱ遺跡
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2004 年度 -、愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2005 年度 -、文京遺跡Ⅴ
高知県	
（財）高知県文化財団	比江廃寺Ⅲ、加茂ハイタノクボ遺跡Ⅱ、高知県埋蔵文化財センター年報第 16 号
高知県教育委員会	埋文こうち第 20 号、高知県埋蔵文化財年報 4
香美市教育委員会	刈谷我野遺跡Ⅱ
高知市教育委員会	尾戸窯跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第 59 号～第 63 号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.16
高知大学人文学部考古学研究室	大元神社古墳発掘調査報告書
福岡県	
福岡市埋蔵文化財センター	福岡市埋蔵文化財センター年報第 26 号
小郡市埋蔵文化財調査センター	福童遺跡 2、三沢北中尾遺跡 10B 地点、花立山古墳調査概報、小郡博多道遺跡、吹上二ツ塚遺跡 2、三沢北中尾遺跡 5 地点、津古牟田遺跡 4、八坂末安遺跡、三沢北中尾遺跡 8・9、松崎宿北構口・南構口、三沢南崎遺跡、大保毎々遺跡、福童町遺跡 4・6・福童東内畑遺跡、井上小松山遺跡 3・4、干潟下鶴遺跡、三沢北中尾遺跡 11A 地点
久留米市埋蔵文化財センター	筑後国府通信 vol.4、まいぶん久留米第 6 号、筑後国府跡 - 第 210 次調査報告書 -、京隈侍屋敷遺跡 - 第 6 次調査 -、上青木北大門遺跡、櫛原侍屋敷遺跡第 7 次調査、篠田遺跡 - 第 3 次調査 -、水洗遺跡第 4 次調査、久留米市埋蔵文化財調査集報Ⅷ、十間屋敷遺跡第 2 次調査、二本木遺跡群Ⅳ、目渡遺跡群Ⅴ、久留米城外郭遺跡第 10 次調査、久留米市埋蔵文化財年報 vol.3、筑後国府跡・国分寺跡 - 平成 18 年度発掘調査報告･概要報告 -、筑後国三潴郡衙跡Ⅲ、南薫西遺跡 - 第 6 次調査 -、善導寺境内遺跡第 1・2 次調査概要報告書、九州新幹線「鹿児島ルート」鉄道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ、平成 18 年度　久留米市内遺跡群
（財）北九州市芸術文化振興財団	研究紀要 - 第 21 号 -、埋蔵文化財調査室年報 23、蜑住古立遺跡、蜑住稲国遺跡、小倉城三ノ丸跡第 3 地点、大門遺跡第 3 地点、黒崎城跡 2 ～ 5、緑遺跡 1 区･2 区、長野尾登遺跡第 4 地点、横代風呂屋遺跡、北方遺跡第 10・11 次調査、石田・岡屋敷遺跡、小倉城桜町口門跡･大門遺跡、長野尾登遺跡第 2 地点、大手町遺跡（小倉城外堀跡）、原町別院遺跡、中島遺跡 2、畠山遺跡（E 地点）、紅梅（A）遺跡 4
福岡県教育委員会	東蒲地大内曲り遺跡、矢加部町屋敷遺跡Ⅰ、菩提遺跡Ⅱ、小川柳ノ内遺跡Ⅰ、山門北池遺跡、坂井長永遺跡（1・2 次）ほか
北九州市教育委員会	高見遺跡（第 4 地点）、水町遺跡、荒神森古墳 2、室町遺跡第 9 地点･鍛冶町遺跡
大野城市教育委員会	大野城市の文化財第 39 集大野城市の遺跡⑩、牛頸小田浦窯跡群Ⅱ、牛頸梅頭遺跡群Ⅰ - 第 1 次調査 -、本島本間尺・唐土遺跡
筑紫野市教育委員会	永岡岸元遺跡、阿志岐城跡
春日市教育委員会	ウトグチ A 遺跡、川久保遺跡、柚ノ木 A 遺跡 2 次調査、春日市埋蔵文化財年報 14 平成 17 年度
前原市教育委員会	三雲・井原遺跡Ⅴ、池田井田遺跡、三雲・井原遺跡、潤地頭給遺跡Ⅰ～Ⅱ、怡土城跡、伊都国歴史博物館紀要創刊号～第 2 号、伊都国歴史博物館年報 - 平成 16 年度 -、伊都国歴史博物館年報 2- 平成 17 年度 -
豊前市教育委員会	鬼木四反田遺跡（遺構編）【河原田遺跡群Ⅳ】・鳥越今井野遺跡、鬼木四反田遺跡（遺構編）【河原田遺跡群Ⅴ】

飯塚市教育委員会	井尻遺跡・小久保・勧貫遺跡、猪ノ尻・高木遺跡・島奥遺跡、下村遺跡、中屋古墳群Ⅱ、忠隈古墳群、烏尾遺跡Ⅱ、狩場・一ツ家・古賀ノ下・東光・椎木浦遺跡
福津市教育委員会	渡唐舟遺跡、宮司大ヒタイ遺跡第4次調査
筑前町教育委員会	藤坂古墳群Ⅲ、坂井田遺跡Ⅱ、竹ノ子遺跡、三国手遺跡、当町遺跡・出口遺跡Ⅱ、夜須町歴史散歩、夜須町の考古学～弥生時代編～
遠賀町教育委員会	尾崎・天神遺跡Ⅴ 金丸遺跡Ⅱ
芦屋町教育委員会	筑前芦屋津・金屋遺跡Ⅱ
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告B類歴史第4号
九州歴史資料館	九州歴史資料館研究論集32、九歴だより No.24 ～ No.26、九州歴史資料館年報 - 平成18年度 -
芦屋町歴史民俗資料館	芦屋町歴史民俗資料館年報　第7号
粕屋町立歴史資料館	戸原掘ノ内遺跡第2地点、原町原遺跡
福岡大学人文学部考古学研究室	福岡大学考古資料集成1、豊前・トギバ窯跡の調査、百済集落の研究
佐賀県	
佐賀県教育委員会	中原遺跡Ⅰ、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2002 ～ 2004年度 -、佐賀藩海軍所跡 -2区の調査 -、西中野遺跡Ⅰ、藤木三本杉遺跡Ⅱ、西中野遺跡Ⅱ、大串遺跡、村徳永遺跡
唐津市教育委員会	唐津市内遺跡確認調査（23）、葉山尻支石墓群・葉山尻古墳2号墳・森田支石墓瀬戸口支石墓、汐入遺跡（2）、荒平遺跡、道納屋窯跡、平松窯跡、星賀城塞群Ⅱ、呼子町内遺跡発掘調査報告書（平成8年度～平成15年度分）
神埼市教育委員会	野田遺跡12区、八子六本黒木遺跡12区、八子六本黒木遺跡
長崎県	
佐世保市教育委員会	福井洞穴範囲確認調査報告書付録直谷岩陰試掘調査報告書
雲仙市教育委員会	龍王遺跡Ⅱ・真正寺条里跡
松浦市教育委員会	松浦市内遺跡確認調査（1）
熊本県	
宇土市教育委員会	宇土城跡（西岡台）Ⅸ
石棺文化研究会	大王の棺を運ぶ実験航海 - 研究編 -
大分県	
大分県教育庁埋蔵文化財センター	一般国道57号線中九州横断自動車道建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（1）～（2）、岡遺跡群、豊後府内6～7、北小枇杷遺跡・野田遺跡、古庄屋遺跡Ⅱ、市用遺跡、上辻遺跡発掘調査報告書、岩金遺跡、大分県内遺跡発掘調査概報10
日田市埋蔵文化財センター	祝原遺跡、大肥中村遺跡Ⅰ、大肥下河内遺跡、大肥祝原遺跡Ⅱ、高野遺跡、大肥遺跡Ⅱ～Ⅲ、一丁田遺跡、尾漕2号墳、徳瀬遺跡Ⅱ、中川原遺跡、長者原遺跡、大波羅遺跡4次、慈眼山遺跡、上土手遺跡、求来里平島遺跡Ⅱ、長者原遺跡Ⅱ、葛原遺跡Ⅲ、瀧ヶ本遺跡、祇園原遺跡Ⅱ、平成17年度日田市埋蔵文化財年報
大分市教育委員会	大友府内9～11、大分市市内遺跡確認調査概報 -2006年度 -、大分市埋蔵文化財調査年報 vol.17、玉沢地区条理跡第9次調査報告、玉沢地区条理跡第15次調査報告、玉沢地区条理跡第17・20次調査報告、玉沢地区条理跡第21次調査報告、下郡遺跡群Ⅴ、井ノ久保遺跡発掘調査報告書、城原・里遺跡、上松岡遺跡
中津市教育委員会	2006年度中津地区遺跡群発掘調査概報19
竹田市文化財管理センター	城下町遺跡（田代家武家屋敷跡）、国道502号改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書、南方家屋敷跡、市用遺跡・平原遺跡、竹田地区遺跡群岡本地区他、法地坊横穴墓群・古園浦久保遺跡
大分県立歴史博物館	おおいた歴博 No.23
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	尾小原遺跡（第一次調査）、永牟田第2遺跡、今井野第2遺跡・天下城山遺跡、野門遺跡、別府町遺跡、分蔵遺跡、東畦原第1遺跡（一次調査）、登り口第1遺跡・登り口第2遺跡、藤山第1遺跡、中ノ迫第1遺跡（一次・二次）、中ノ迫第

	3遺跡、赤木遺跡第3地点、朝草原遺跡・尾立第3遺跡、八幡第2遺跡、国光原遺跡、尾小原遺跡（第三次調査）、埋蔵文化財通信みやざき第8号、屋敷遺跡、山田遺跡、赤坂遺跡、湯牟田遺跡（二次調査）、勘大寺遺跡（二次調査）、吉牟田遺跡、吉野第2遺跡、野首第1遺跡Ⅱ、野首第2遺跡、小並第1遺跡、平田遺跡D地点・E地点、立野第5遺跡 立野第2遺跡、宮崎県埋蔵文化財センター年報第11号
宮崎市教育委員会	本野原遺跡三、内城跡、史跡生目古墳群
都城市教育委員会	梅北佐土原遺跡、今房遺跡、加治屋B遺跡（縄文時代・弥生時代編）、鶴喰遺跡（中世編）、後牟田遺跡、雀ヶ野第3遺跡（第3次調査）、雀ヶ野遺跡群、高取原地下式横穴墓、早馬遺跡、肱穴遺跡（2）、加治屋B遺跡（平安時代・近世編）、横市地区遺跡群平田遺跡A地点・B地点・C地点
新富町教育委員会	新富町の埋蔵文化財（改訂版）、祇園原遺跡・春日遺跡
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第44号～第46号
出水市教育委員会	大畠遺跡、市内遺跡（上場遺跡他）発掘調査等報告書、大久保遺跡・大久保B遺跡、野田畠遺跡
鹿児島大学埋蔵文化財調査室	鹿児島大学構内遺跡郡元団地Q-10区・郡元団地K・L-5・6区、鹿児島大学構内遺跡郡元団地H-9区
沖縄県	
宜野湾市教育委員会	基地内埋蔵文化財調査報告書Ⅲ、喜友名後原・勢頭原丘陵古墓群・喜友名前原第一古墓群
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第38号～第40号、設立20周年記念誌
全国埋蔵文化財法人連絡協議会	全国埋文協会報No.71～No.73
文化環境研究所	カルチベイトNo.30～No.32、文環研レポート第24号～第26号
埴輪研究会	埴輪研究会誌第11号
（株）山川出版社	詳説 日本史図録
加藤建設（株）	田端不動坂遺跡－田畑端一丁目19番19号地点－、”西ヶ原遺跡群－西ヶ原一丁目25番22、28号地点－”、飛鳥山遺跡Ⅲ
（株）テイケイトレード	神奈川県藤沢市大庭羽根沢遺跡
（株）日開調査設計コンサルタント	平安京左京八条二坊十五町、平安京右京三条三坊六町・西ノ京遺跡、平安京左京四条三坊四町・烏丸綾小路遺跡
松木武彦	列島創世記
新川登亀男	アジア地域文化学の発展、日本古代史を生きた人々
柳瀬昭彦	吉備の弥生集落
遠藤堅三	黒崎の郷土史

平成20（2008）年度

Ⅰ 組　織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。平成20年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。

倉敷市教育委員会 ― 生涯学習部 ― 文化財保護課 ― **埋蔵文化財センター**

文化財保護課	課　長	浅野 弘文
埋蔵文化財センター	館　長	福本　明
〃	主　任	小野 雅明
〃	学芸員	綾野 早苗
〃	学芸員	藤原 好二
〃	派遣職員	原　典子
〃	〃	赤澤 美佐子
〃	〃	宮原 裕子

（職名等は平成21年3月31日現在）

Ⅱ 事業の概要

1．調査事業

(1) 事前協議　Fax 等による埋蔵文化財包蔵地照会は、320件あり、開発指導要綱に基づく事前協議の件数は、41件であった。本年度より開発指導要綱に基づく事前協議は遺跡に係る事案のみ取り扱うこととなったため、昨年度と比べると大幅に減少している。

(2) 発掘調査　平成20年度は本発掘調査1件、試掘・確認調査6件、立会調査10件を実施した。特に上東遺跡周辺での宅地開発が目に付き、憂慮される。本発掘調査を行った水江遺跡では、古墳時代のものと考えられる溝状遺構が確認された。また土砂採取に伴って試掘を行った南山21号墳では箱式石棺内から鉄剣等が出土している。立会調査は、公共事業に伴うものが5件、民間の開発に伴うものが5件である。

(3) 分布調査　昨年度に引き続き真備地区の調査を実施した。真備町西部の妹地区の遺跡23か所踏査し、遺跡台帳を作成後パソコンに入力した。

(4) 整理作業　岩倉遺跡の遺物について、報告書編集にむけた実測・トレース等を行った。また、今後の報告書作成にむけて、過去に調査した鵜石鼻遺跡の遺物について、整理作業を開始した。

2．教育普及事業

(1) 主催講座等　春の遺跡見学会など、延べ10回の講座等を実施。延べ参加人数3,774人。

講座名	実施日	講座内容	参加人数
春の遺跡見学会⑬	5/11（土）	倉敷市真備町・総社市の遺跡めぐり	42人
考古学体験講座	7/27（日）	古代の勾玉をつくろう！①	41人
考古学体験講座	8/3（日）	古代の勾玉をつくろう！②	28人
ライフパークの集い	8/24（日）	ドキドキ発掘体験	2,083人
秋の考古学講座「江戸時代の職人たち」	10/26（土）	備前焼の生産と流通	28人
〃	11/2（土）	江戸時代の瓦師たち	29人
〃	11/9（土）	狛犬にみる石工たち	24人
第30回倉敷市こどもまつり	2/22（日）	古代のアクセサリーをつくろう	1,452人
冬の山城トレッキング①	3/7（土）	備中猿掛城を歩く	32人
行政連携講座（共催）	3/27（金）	集まれ！キッズ 環境を考えよう	15人

(2) 出前講座等講師派遣　古代の土笛づくり等、延べ11回の派遣。延べ参加人数543人。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/7（水）	倉敷芸術科学大学	54人
古代の勾玉づくり	5/27（火）	ふれあい教室	13人
古代の土笛づくり	6/24（火）	倉敷市立西阿知小学校	70人
古代の土笛づくり	6/25（水）	倉敷市立西阿知小学校	71人
歴史講座「備中の石造狛犬」	7/20（日）	岡山県立吉備路郷土館	43人
古代の土笛づくり	7/24（木）	薗小学校PTA教養部	106人
古代の土笛づくり	8/4（月）	元気ほいだっこクラブ	15人
真備図書館郷土史講座	10/5（日）	真備図書館	18人
楯築遺跡現地解説	10/16（木）	川西歴史研究会	72人
古代の土笛づくり	11/29（土）	水島児童館	34人
王墓の丘史跡公園案内	2/6（金）	倉敷市立庄小学校	47人

(3) 報告書等の刊行

倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第13集「岩倉遺跡」
A4判　本文47頁　図版8頁　600部　平成21年3月刊行

(4) 資料の貸出

	貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
1	4月1日～3月31日	日畑廃寺出土軒丸瓦　1点	岡山県立 吉備路郷土館	常設展示
2	8月8日～9月28日	寒田窯跡群 出土須恵器他　16点	井原市 文化財センター	平成20年度夏季企画展
3	9月12日～10月11日	日畑出土古銭写真　1点	(株) 帝国書院	高校社会科資料集に掲載
4	9月26日～10月25日	楯築弥生墳丘墓 カラースライド他　2点	(株) 郷土出版社	『図説 倉敷・総社の歴史』に掲載
5	10月5日～11月5日	楯築弥生墳丘墓 カラースライド　1点	(有) キックオフプラス	『日本の遺跡と遺産』に掲載
6	10月7日～11月21日	竜形土製品　1点	岡山県立博物館	平常展テーマ展示
7	1月5日～3月18日	竜形土製品・板谷コレクション弥生土器　各1点他	大阪府立 弥生文化博物館	平成20年度冬季特別展
8	1月15日～3月2日	上東遺跡出土土器 写真他　5点	(株) 郷土出版社	『図説 倉敷・総社の歴史』に掲載
9	3月10日～3月31日	箭田大塚古墳 カラースライド　3点	倉敷市食品衛生協会	『食協だより』に掲載

3．利用者数

展示・講座等を含めた平成20年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は17,873人で、昨年度と比較して0.7％の微減となった。この要因としては、昨年度と比較して出前講座等の利用が減少したためと考えられる。

《平成20年度月別利用者数》

月	大人	子ども	講座等	計	開館日数	1日平均利用者数
4	482	622		1,104	25	44
5	785	759	95	1,639	25	66
6	483	396	141	1,020	25	41
7	595	878	190	1,663	26	64
8	2,041	2,450	43	4,534	27	168
9	426	542		968	23	42
10	483	784	118	1,385	26	53
11	512	486	53	1,051	24	44
12	242	319	34	595	22	27
1	351	222		573	22	26
2	918	1,241	47	2,206	23	96
3	497	606	32	1,135	25	45
合計	7,815人	9,305人	753人	17,873人	293日	61人

4．譲与資料

平成20年度には、岡山県教育委員会より下記の出土資料の譲与を受けた。

譲　与　日	資　料　名	数量
平成21年3月3日	矢部奥田遺跡および矢部寺田遺跡出土資料	コンテナ約300箱

5．寄贈資料

平成20年度には下記の考古資料等の寄付を受けた。

寄　贈　日	寄贈者名	資　料　名	点数
平成20年4月1日	狐塚和江	狐塚省蔵氏所蔵考古資料・図書資料	10,724点

Ⅲ 教育普及事業報告

1．春の遺跡見学会⑬

～倉敷市真備町・総社市の遺跡めぐり～

日　時　平成20年5月11日（日）
講　師　小野雅明（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　42人

倉敷市真備町から総社市西部にかけての史跡を探訪した。午前中は天狗山古墳、宮山墳墓群、天望台古墳、三笠山古墳といった丘陵に立地する古墳などを散策して汗を流したあと、岡山県立吉備路郷土館に到着。２階の展示室で周辺地域の遺跡の解説や出土遺物を見学した。昼食の後は、波形石製の石棺を横穴式石室内に安置する金子石塔塚古墳、総社市久代の遺跡公園（製鉄遺跡の復元展示）、箭田大塚古墳、二万大塚古墳を順次めぐり全日程を終了した。

2．冬の山城トレッキング①

～備中猿掛城を歩く～

日　時　平成21年3月7日（土）
講　師　藤原好二（倉敷埋蔵文化財センター）
対　象　一般
参加者　32人

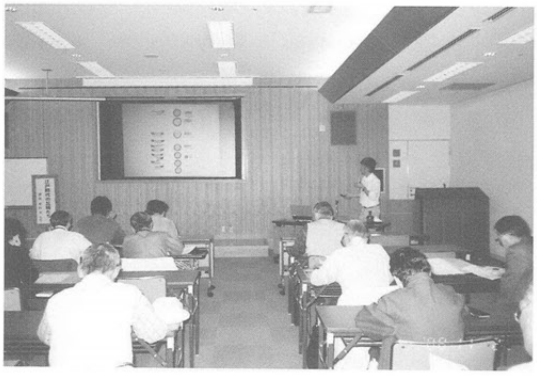
今年度からの新しい試みとして、市内周辺の山城を少人数で見学する講座を始めた。第一回目として真備町猿掛城跡を予定地として募集したところ、定員20名の倍以上の応募があったため、午前と午後の2回の実施となった。前日の雨もやみ、朝からさわやかな登山日和となった。急な山道を登ったにもかかわらず、参加者は猿掛城の歴史解説に熱心に聞き入り、城跡からの広い眺望に見入っていた。

3．秋の考古学講座

江戸時代の職人たち～陶工・瓦師・石工～

日　時　平成20年10月26日・11月2・9日（日）
講　師　第1回　石井啓（備前市教育委員会）
　　「備前焼の生産と流通」
　　第2回　乗岡実（岡山市教育委員会）
　　「江戸時代の瓦師たち」
　　第3回　藤原好二（倉敷埋蔵文化財センター）
　　「狛犬にみる石工たち」
会　場　ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」
対　象　一般
参加者　81人（延べ人数）

今回は比較的新しい江戸時代をテーマとして3回の講座を開催した。近世というと古文書が多く残っており、考古学の出番は少ないように思われがちであるが、近年は考古学的な面から研究も盛んである。



第1回は、備前市教育委員会の石井啓氏による備前焼についての講演をお聞きした。豊臣秀吉の遺体は備前焼の甕に入れられて埋葬されていたことから始まり、近世の巨大な窯跡の発掘調査の概要、明治期に備前焼が一時衰退したことなどを話された。細工物の土型や保命酒の徳利の実物なども回覧され、手に取った参加者は興味深そうに見ていた。

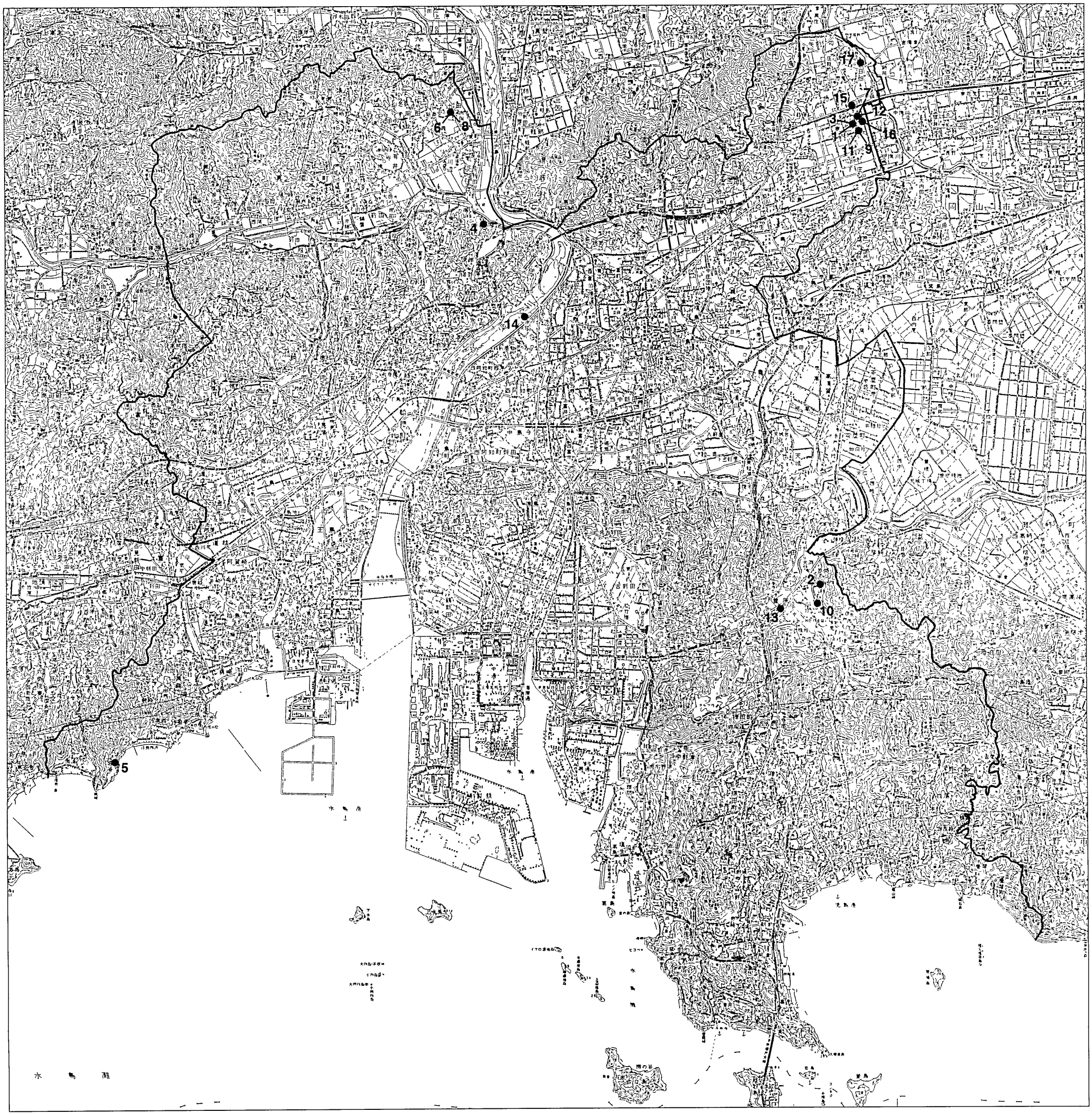
第2回は、岡山城の発掘調査を担当された乗岡実氏の講演である。瓦の軒先の模様は木型を用いて造られるため、同じ模様の瓦のある城郭や寺院などの相互の関係を読み取ることができると説いた。最後はどこかに出かけた時に、ふと見上げた屋根にある瓦を見てどこで造られた瓦かを考えてみるのもおもしろいのではないかと締めくくった。

第3回は、当センター職員による石工に関する講座である。県内の狛犬を詳細に調査し、北部には構形の狛犬、南西部には玉乗形の狛犬が多く分布することを明らかにした。そしてこれは北部には山陰の狛犬、南西部には尾道の狛犬が流通してきた結果であることを、石工銘から説明した。また、尾道の石工は玉乗り形の独特な狛犬を創造し、岡山県南西部の石工はその影響を大きく受けていることを紹介した。

Ⅳ 調査事業報告

平成20年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	08.04.08	土師質土器片
2	新熊野山遺跡	林	下水管埋設工事	立　会	08.04.11	遺物・遺構なし
3	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	08.05.20	弥生土器片
4	南山21号墳	真備町川辺	土砂採取	試　掘	08.06.05～08.08.05	箱式石棺・鉄剣他
5	山王遺跡	玉島黒崎	携帯電話基地局建設工事	立　会	08.06.12	遺物・遺構なし
6	真備町329遺跡	真備町辻田	水道管埋設工事	〃	08.0624	〃
7	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	08.08.07	弥生土器片
8	真備町329遺跡	真備町辻田	宅地造成工事	〃	08.08.08	中世土器片
9	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	08.09.11	弥生土器片
10	北村大下遺跡	林	下水管埋設工事	立　会	08.09.24	石積井戸
11	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	08.10.08	土壙・弥生土器
12	上東遺跡	上東	宅地造成工事	〃	08.10.14	遺物・遺構なし
13	曽原遺跡	曽原	下水管埋設工事	〃	08.11.22	〃
14	水江遺跡	水江	高梁川架橋工事	全　面	08.11.26～08.12.25	溝・弥生土器・須恵器
15	上東遺跡	上東	農道改修工事	立　会	09.02.04	遺物・遺構なし
16	上東遺跡	上東	宅地造成工事	確　認	09.03.10	土壙・弥生土器
17	藤ノ木遺跡	日畑	道路改修工事	立　会	09.03.10	遺物・遺構なし



調査地点位置図（S=1/100,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.1）

調査位置　上東字一本木668番１
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　12㎡
調査期間　08.04.08　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は市北東部の庄地区に位置し、足守川が形成した沖積地に立地する。これまでにも山陽新幹線建設や主要地方道建設工事に伴って発掘調査が行われており、弥生時代後期を中心とする大規模な集落跡であることが確認されている。調査地は標高1.3ｍ程の水田で、近年における周辺の宅地化は著しい。

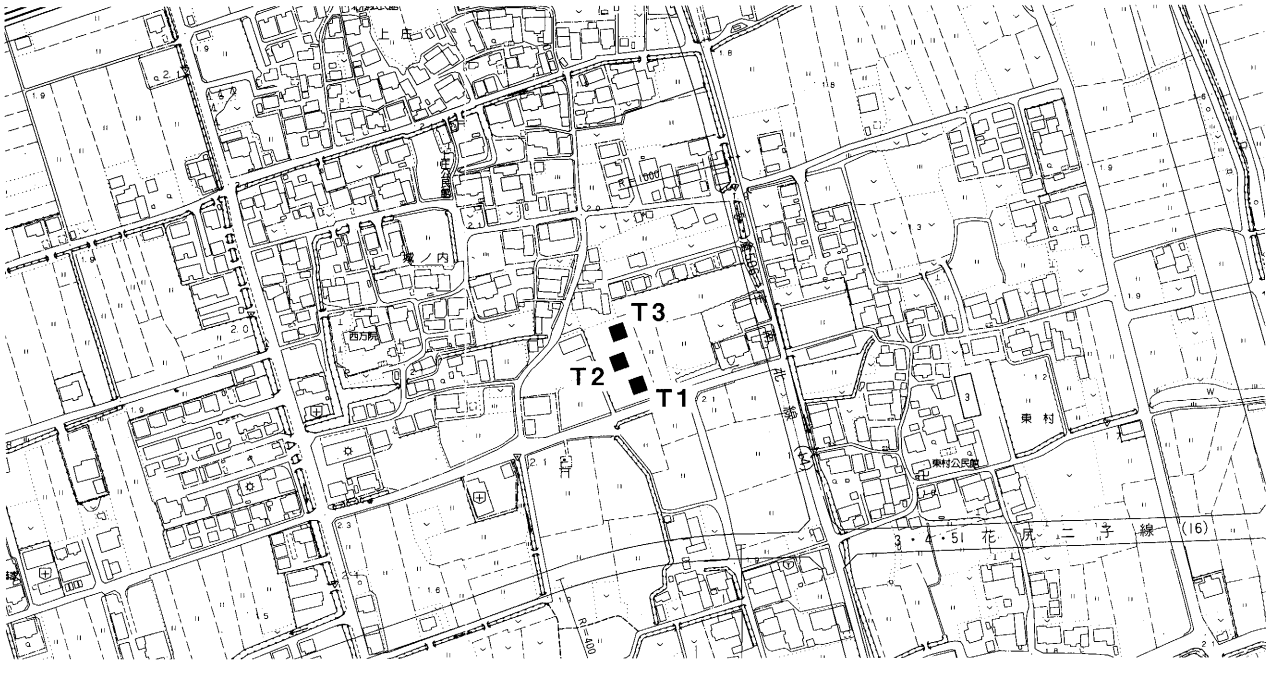
調査の概要　調査は、宅地造成予定地に２×２ｍのトレンチを３カ所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ１は計画区域南端の道路との境界から約９ｍ北に離れた地点に設定した。現在の水田耕作土の下にはにぶい黄褐色土がみられ、少量の土師質土器細片が含まれていた。その下には灰黄褐色土、褐灰色粘質土が続いているが、遺物・遺構は認められなかった。

トレンチ２は計画敷地のほぼ中央に設定した。水田耕作土の下にはにぶい黄褐色土がみられ、少量の土師質土器細片が含まれていた。その下には褐灰色粘質土であるが、遺物・遺構は認められなかった。

トレンチ３は計画敷地の北部、南端の道路から約48ｍ北に離れた地点に設定した。水田耕作土の下には他と同様に、少量の土師質土器細片を含むにぶい黄褐色土がみられた。その下は褐灰色粘質土、暗灰色砂層となり、少量の植物遺存体が含まれる。遺物包含層・遺構は認められなかった。

以上のように、今回の調査では時期を特定できるような遺物や明確な遺構等は確認されていない。耕作土直下のにぶい黄褐色土は固く締まった粘質土層で、これまでの周囲における調査で認められている弥生時代の基盤層と同質と思われるが、後世に撹乱を受けているようである。　（小野）



トレンチ位置図（S=1/5,000）

南山（みなみやま）21号墳試掘調査概要（一覧表No.4）

調査位置　真備町川辺2871番1
調査原因　土砂採取　　**調査面積**　10㎡
調査期間　08.06.05～08.08.05　　**調査担当**　福本・小野・藤原

遺跡の概要　平成17年に吉備郡真備町および浅口郡船穂町が倉敷市に編入合併されたことを受けて、平成18年度から真備町・船穂町内の遺跡分布調査を実施しているが、その一環として真備町川辺地区内を踏査中に、土砂採取によって崖上に露出した状態の箱式石棺１基を発見した。土砂採取自体はかなり以前に行われたもので、今後は進行する予定のないものであったが、放置すれば古墳が崩落消滅する危険もあったことから、地権者の承諾を得て試掘調査を実施した。このときの分布調査では、他にも同じ尾根筋に多数の古墳を確認しており、本古墳はその一連のものとして南山21号墳と呼ぶこととした。

南山21号墳は、岡山大学考古学研究室の近年の調査によって多くの成果があげられた天狗山古墳のすぐ東の尾根上に立地している。高梁川と小田川の合流点を見下ろす北向きの尾根で、21号墳のある地点の標高は70ｍ程である。同じ尾根上には、21号墳より南上方に５基の古墳が存在し、北下方にも土砂採取などで破壊されたものも含めると５基以上の古墳が存在した可能性が考えられる。また、さらに尾根を南に登った山頂部にも10基以上の小古墳が群集している。これらの古墳群は天狗山古墳の被葬者像を考える上で重要な位置づけを持つものと考えられる。

調査の概要　古墳は東側からの土砂採取によって墳丘のほぼ半分が削り落とされ、箱式石棺は蓋石４枚を露出していた。尾根の西側も開墾によって畑となっていた時期があったらしく、古墳の北から西側にかけては古墳の高まりを利用したと考えられる段差が続いている。

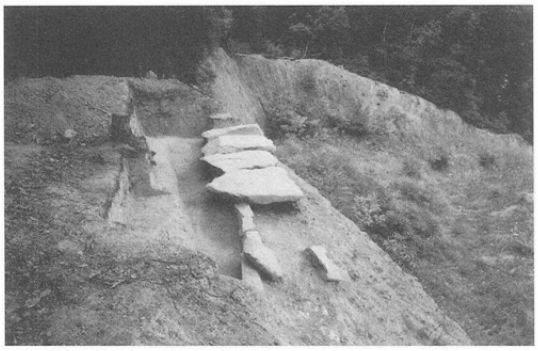
調査は、石棺の墓壙堀りかたを検出することから始めた。現地表面から古い耕作土と考えられる層を30㎝程取り除くと、検出面で長さ3.55ｍ、幅約1.8ｍ(推定)の墓壙堀りかたが確認された。堀りかたが切り込んでいる土が盛土なのか自然堆積層なのかは判然としなかったが、山側では地山である岩盤を掘り込んでいる。

箱式石棺は、尾根と平行にほぼ南北に主軸をおいている。天井石と東側壁の南半分と南小口壁を失っているが、全長約3.4ｍ、全幅約0.75ｍで石材は花崗岩である。完存する西側壁は５枚の石材が並べられている。南から２枚目は土砂採取時に少し動かされたようで、３個に割れて内側に傾斜している。その他は元位置を保っているようである。一方、東側壁は北の２枚を残して完全に失われている。また、天井石も北側の４枚は残存しているが、南側は失われており、本来の枚数は不明である。南小口の抜き取り痕などから推定した内法は長さ約2.6ｍ、幅約0.45ｍである。床には0.5～5㎝大の礫が敷かれており、深さは0.2ｍ前後と考えられる。石材の内面には赤色顔料が塗られていた痕跡が残っており、床に敷かれた礫の中にも赤色顔料の付着したものが認められる。

副葬品としては、棺南半の西側壁に沿った位置で鉄器５点が出土している。内訳は剣１点、ヤリガンナ１点、鑿２点、錐１点と考えられる。鉄剣は長さ約65㎝、幅約3.3㎝で切っ先を北にして副葬されていた。鉄剣の柄に近い南小口付近には、花崗岩の平石が２個置かれており、枕石だった可能性

もある。

墳形の確認のために石棺の山側に３カ所のトレンチを入れるとともに、土取面の確認もおこなった。その結果、トレンチ１・３では明確な墳端を確認できなかったが、土取の崖面とトレンチ２で周溝を確認できた。周溝はトレンチ２では幅約 1.2 m、土取面では幅約 1.5 mで、石棺を中心に弧を描くように巡っている。このことから南山 21 号墳は径 10 m程度の円墳と推定される。

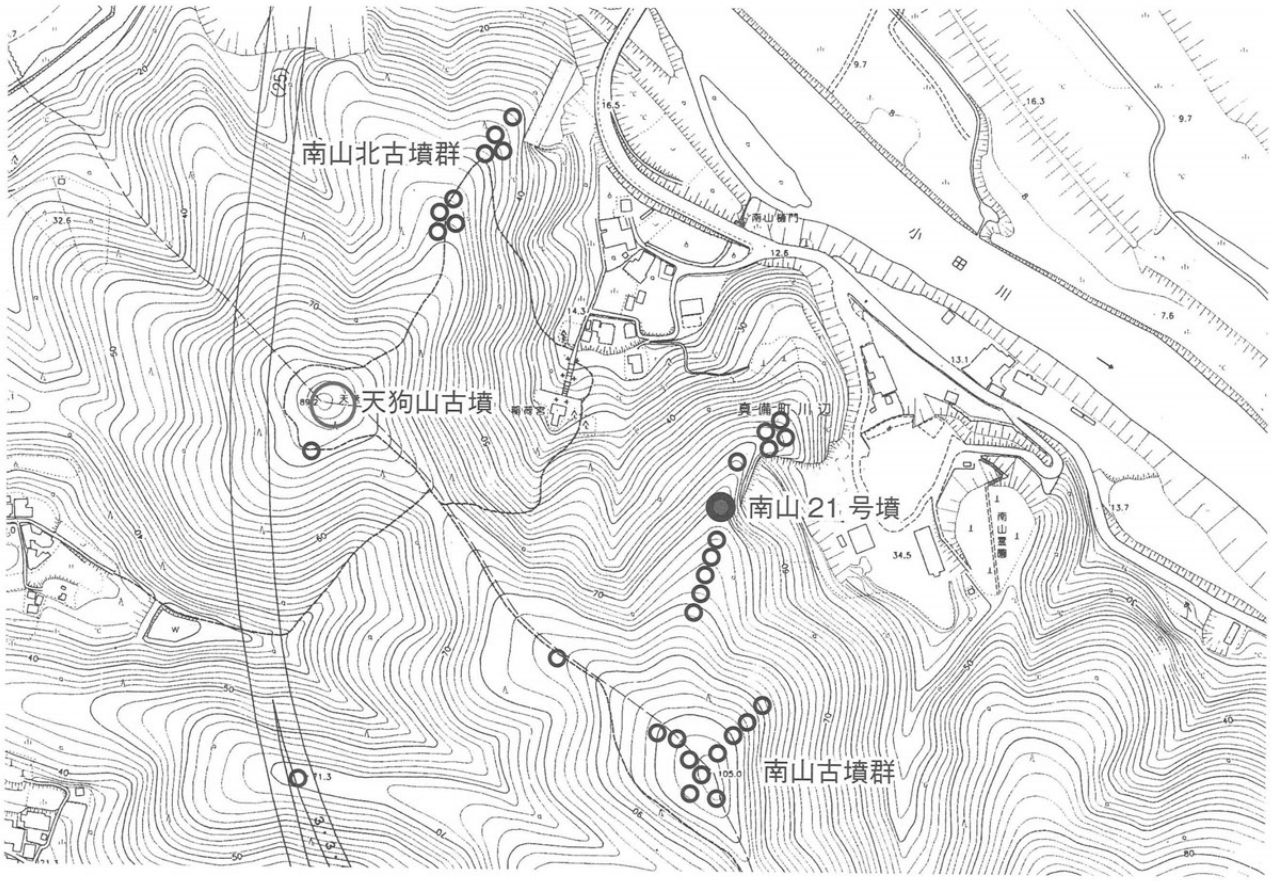


石棺検出状況

鉄刀出土状況

まとめ　南山 21 号墳は天狗山古墳の東から南の尾根にかけて群集する小古墳のひとつで、小田川と高梁川の合流点を望む位置に立地している。墳丘は、山側にあたる南側を周溝で区画した径 10 m程度の円墳である。内部主体は箱式石棺であるが。内法で長さ約 2.6 mと石棺が細長いことから、２体の埋葬が行われた可能性も否定できない。地山は花崗岩ではなく、石材は他で採取されたものが持ち込まれている。副葬品としては鉄剣１点と鑿２点、ヤリガンナ１点、鉄錐１点で、玉類などは確認できない。

（藤原）



南山21号墳位置図（S＝1/5,000）

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.7）

調査位置　上東字龍王347番１外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　８㎡
調査期間　08.08.07　　**調査担当**　藤原

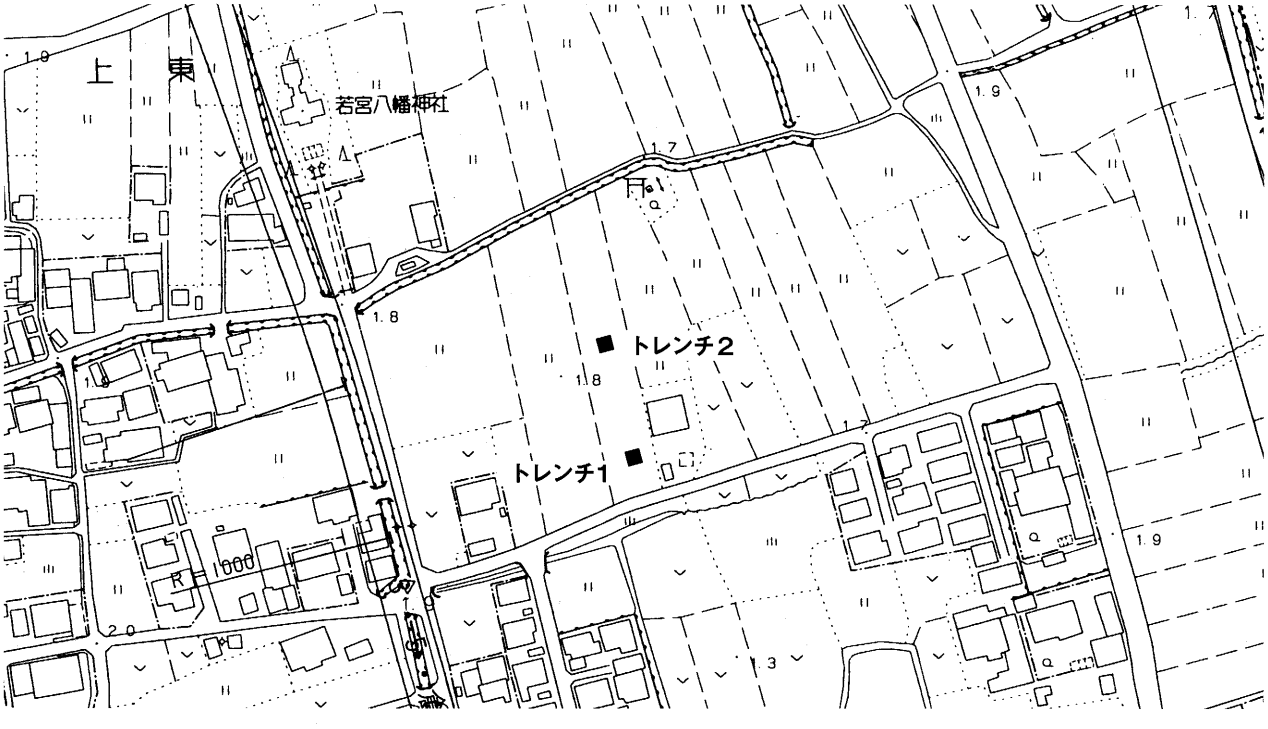
遺跡の概要　上東遺跡は市北東部の庄地区に位置し、足守川が形成した沖積地に立地する。これまでにも山陽新幹線建設や主要地方道建設工事に伴って発掘調査が行われており、弥生時代後期を中心とする大規模な集落跡であることが確認されている。2000年度には、今回の調査地のすぐ北の農道が調査され、微高地とその周囲の低湿地が確認されている。また、2003年度には道路を挟んで南側で、宅地造成に伴う確認調査が行われ、湿地状の地形であったことが確認されている。

調査の概要　調査地は標高1.4ｍ程の水田である。調査は、宅地造成予定地に２×２ｍのトレンチを２カ所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ１は計画敷地の南端の道路から約10ｍ北に離れた地点に設定した。現在の水田耕作土の下には灰色の粘質土が三層みられ、少量の弥生土器細片が含まれていた。その下にはにぶい黄褐色土が続いており、これが周辺部の調査で確認されている弥生時代の基盤層と考えられる。この層の下には青灰色粘質土・紫灰色シルト層と無遺物層が続く。遺構は認められなかった。

トレンチ２は計画敷地のほぼ中央に設定した。土層の観察結果もトレンチ１とほぼ同じものであり、やはり遺構などは認められなかった。

以上のように、今回の調査では弥生土器片が少量出土しているが、細片ばかりで、また明確な遺構等も確認されていない。ただ、耕作土の下のにぶい黄褐色土は固く締まった粘質土層で、周囲におけるこれまでの調査で認められている弥生時代の基盤層と同じものと考えられる。（藤原）



トレンチ位置図（S=1/2,500）

真備町329遺跡確認調査報告（一覧表No.8）

調査位置　児真備町辻田字古屋敷936番１の一部外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　４㎡
調査期間　08.08.08　　**調査担当**　小野・藤原

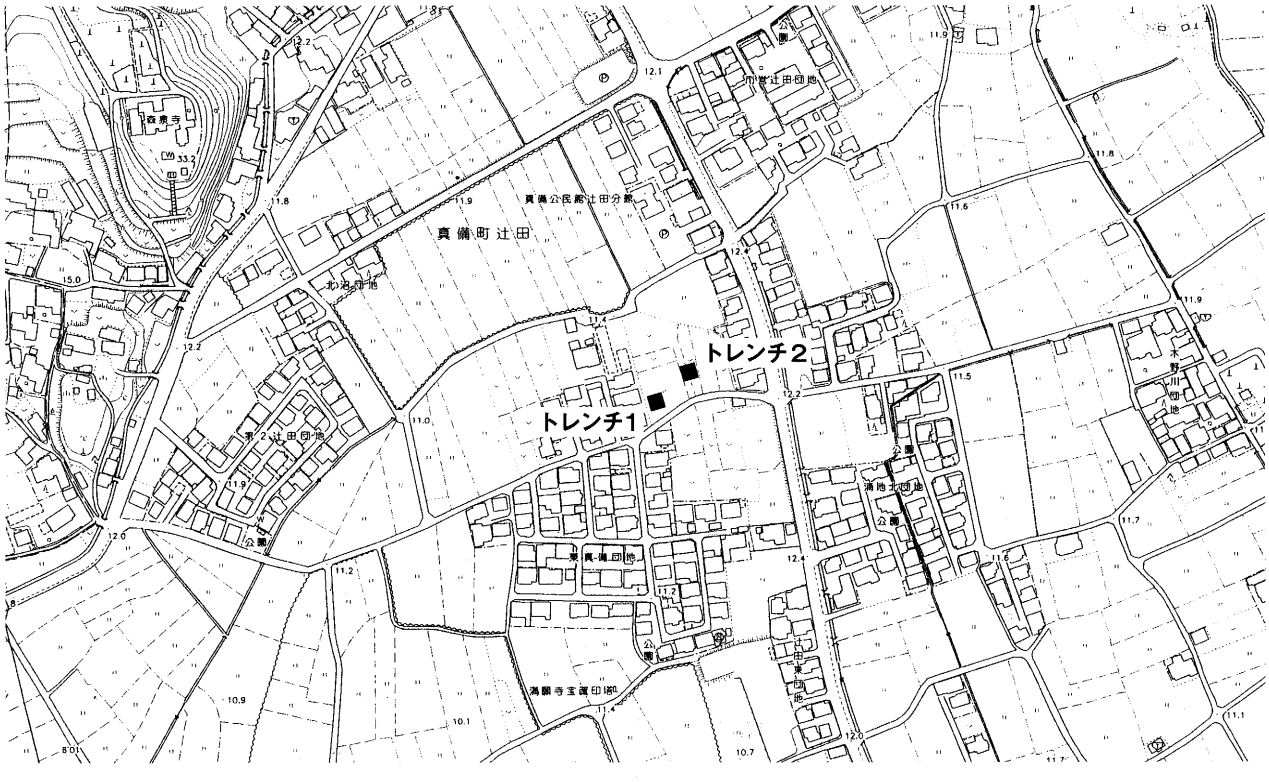
遺跡の概要　遺跡は、高梁川西岸の水田地帯に位置する。南流する高梁川と東流する小田川との合流点のすぐ北にあたり、古来からたびたび洪水にみまわれてきた場所である。調査地の現状は、東側・西側ともに住宅地に接する畑地である。周辺では、幹線道路およびその支線添いに宅地化が進んでおり、それに伴い、道路改修、水道管埋設工事といった開発も増加傾向にある。

調査の概要　調査は、開発予定区域の２カ所に２×２ｍのトレンチを設定し、断面観察を中心に行った。

トレンチ１　開発区域の南西部に設定した。土層観察によると、耕作土直下には円礫を含むにぶい黄色土層・暗灰黄色土層がみられ、中世土器の細片が出土した。それより下は、河川敷での掘削断面で見られるような砂礫層で、洪水時に形成された堆積層と考えられる。

トレンチ２　開発区域の北東部に設定した。土層観察によると、耕作土の下は硬く締まった円礫まじりの暗灰黄色土層で、その下には円礫を多く含む砂質土が続き、徐々に拳大の川原石が主体の礫層となる。いずれの層からも遺物は出土していない。

以上のように、開発予定区域では、遺構・遺物包含層は確認できなかった。この付近は、洪水時に堆積した砂・礫層に広く覆われていると考えられる。また、トレンチ１で出土した中世土器はローリングをうけており、洪水時に砂礫とともに運ばれてきたものと思われる。（小野）



トレンチ位置図（S＝1/5,000）

上東（じょうとう）遺跡確認・立会調査報告（一覧表 No.9・11）

調査位置　上東字左馬之助251番外
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　8㎡
調査期間　08.09.11・09.10.08　　**調査担当**　小野・藤原

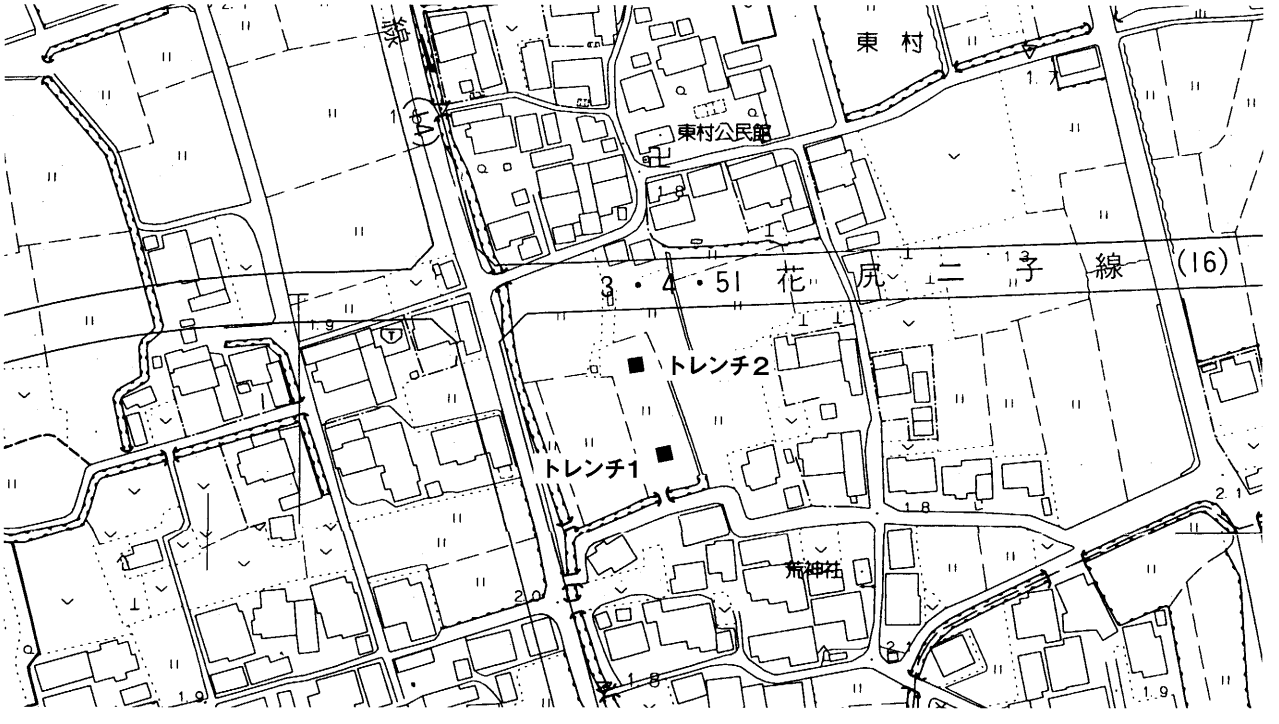
遺跡の概要　今回の調査地周辺では、1995年に南側に接する道路の改良工事が行われ、やや東方で弥生土器の薄い包含層が検出されている。また、東へ50ｍほどの地点でアパートの建築が行われた際の確認調査では、時期不明の溝状遺構を確認している。

調査の概要　調査地は東側と南側を用水路に接した標高1.5ｍ程の水田である。調査は２×２ｍのトレンチを２か所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ１は計画敷地の南端の道路から約15ｍ北に離れた地点に設定した。現在の水田耕作土の下には鉄分を多く含む層があり、水田床土と考えられる。水田床土の下はよくしまった粘質土層で、少量の弥生土器片が含まれていた。この下は褐灰色土をブロック状に含む層二枚、褐灰色粘質土層・暗青灰色砂層と、無遺物層が続く。遺構は確認されなかった。

トレンチ２は計画敷地のほぼ中央、トレンチ１から約30ｍ北に設定した。現在の水田耕作土の下にはやはり鉄分を多く含む層があり、水田床土と考えられる。その下はよくしまった粘質土で、トレンチ１の遺物が検出された層と対応すると考えられるが、ここでは遺物を確認できなかった。この下はやはり褐灰色土をブロック状に含む無遺物層二枚、そして細かい砂の湧水層と続く。湧水層の上面には植物遺体が集積していた。遺構などは確認されなかった。

また、後日擁壁を設置する際に実施した立会調査において、土器を伴った遺構１基を確認した。この遺構は東側の水路に沿った擁壁の掘削によって検出されたもので、南側の水路から北へ約7.5ｍ、



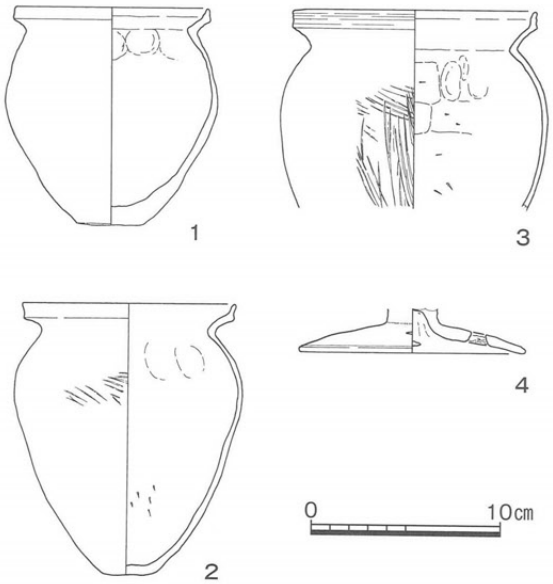
トレンチ位置図（S＝1/2,500）

東側の水路から西へ約2.7 mの地点に位置している。断面の観察から、遺構は褐灰色粘質土に掘り込まれており、堀りかたの幅約65 cm、深さは湧水に阻まれて判然としなかったが、35 cm以上であり、おそらく上部を削平された土壙と考えられる。内部からは弥生時代後期の甕・壷・高坏・鋸歯文を施した壷の口縁部片などが出土した。

トレンチ1北壁

トレンチ2全景

出土遺物　1～4は遺構から出土した土器である。いずれも弥生時代後期に属すると考えられる。1～3は小形の甕である。1は口径10.4 cm、直径11.2 cm、高さ11.6 cmで、頸部はくの字に屈曲し、口縁部を上につまみ上げている。頸部の内側に指圧痕が残る他は、ナデ調整が施されている。2は口径11.3 cm、直径12.1 cm、高さ14.5 cmで、頸部はくの字に屈曲し、口縁部はやや外側に開くようにつまみ上げている。やはり頸部の内側に指圧痕が残るが、内側はケズリ後ナデ、外面はカキメの後にナデ調整が施されている。3は口径13.0 cm、直径14.1 cmで、頸部はくの字に屈曲し、上方につまみ上げた口縁部の外側には二条の浅い凹線が巡っている。体部内面はケズリ調整で、頸部付近に指圧痕が残る。体部外面はカキメ調整が施され。口縁部付近は内外面ともにナデ調整が施されている。4は高坏の脚部である。椀部は失われているが、脚径12.0 cm、頸部径2.8 cmである。脚部端には浅い凹線が一条巡り、透かし穴は径7 mmほどで4個あったと考えられる。



遺物実測図（S＝1／4）

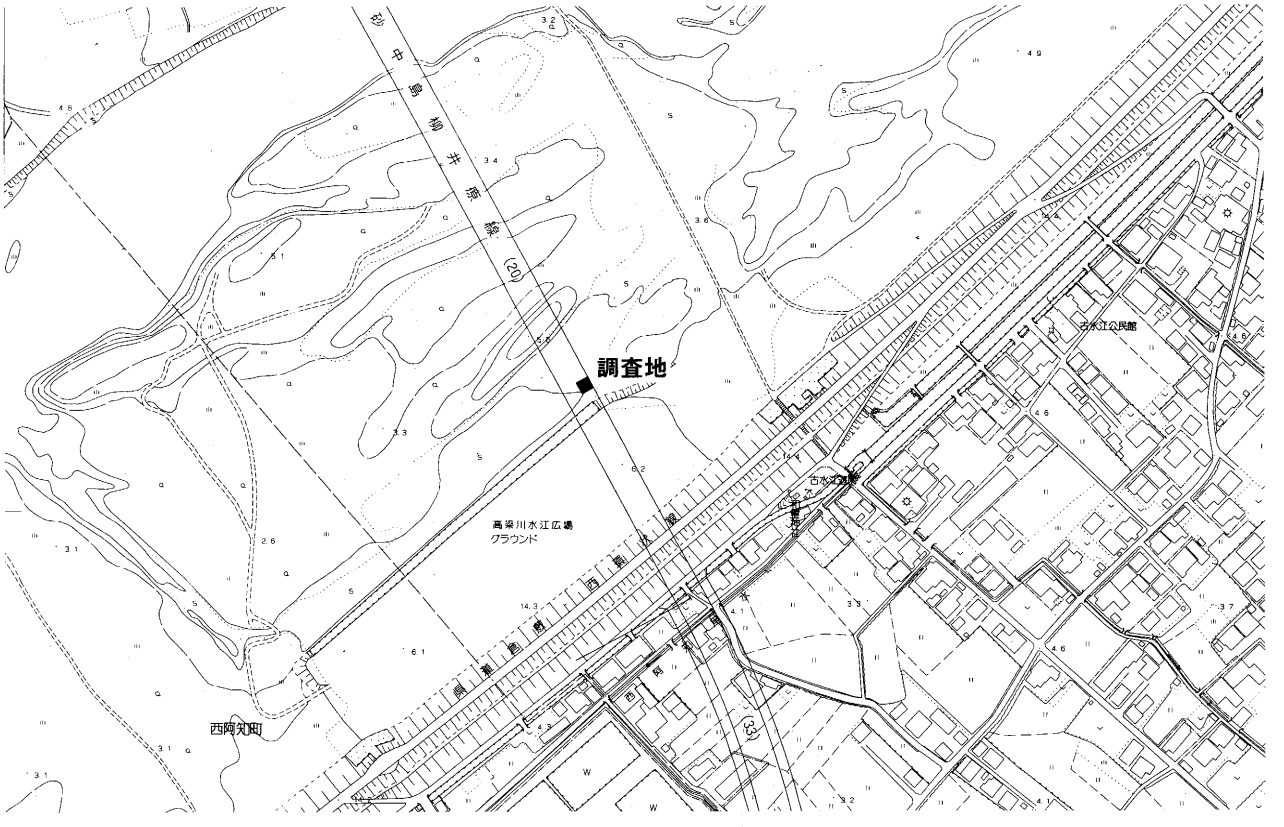
まとめ　以上のように、今回の確認調査では明確な遺構等は確認されなかったが、立会調査において土壙と考えられる遺構1基を確認した。また、両トレンチで確認された黄褐色土はよく締まった粘質土層で、周囲におけるこれまでの調査で認められている弥生時代の基盤層と同じものと考えられる。この付近には弥生時代の遺跡が存在したが、一部を除き削平されてしまっていると考えられる。（藤原）

水江（みずえ）遺跡発掘調査報告（一覧表 No.14）

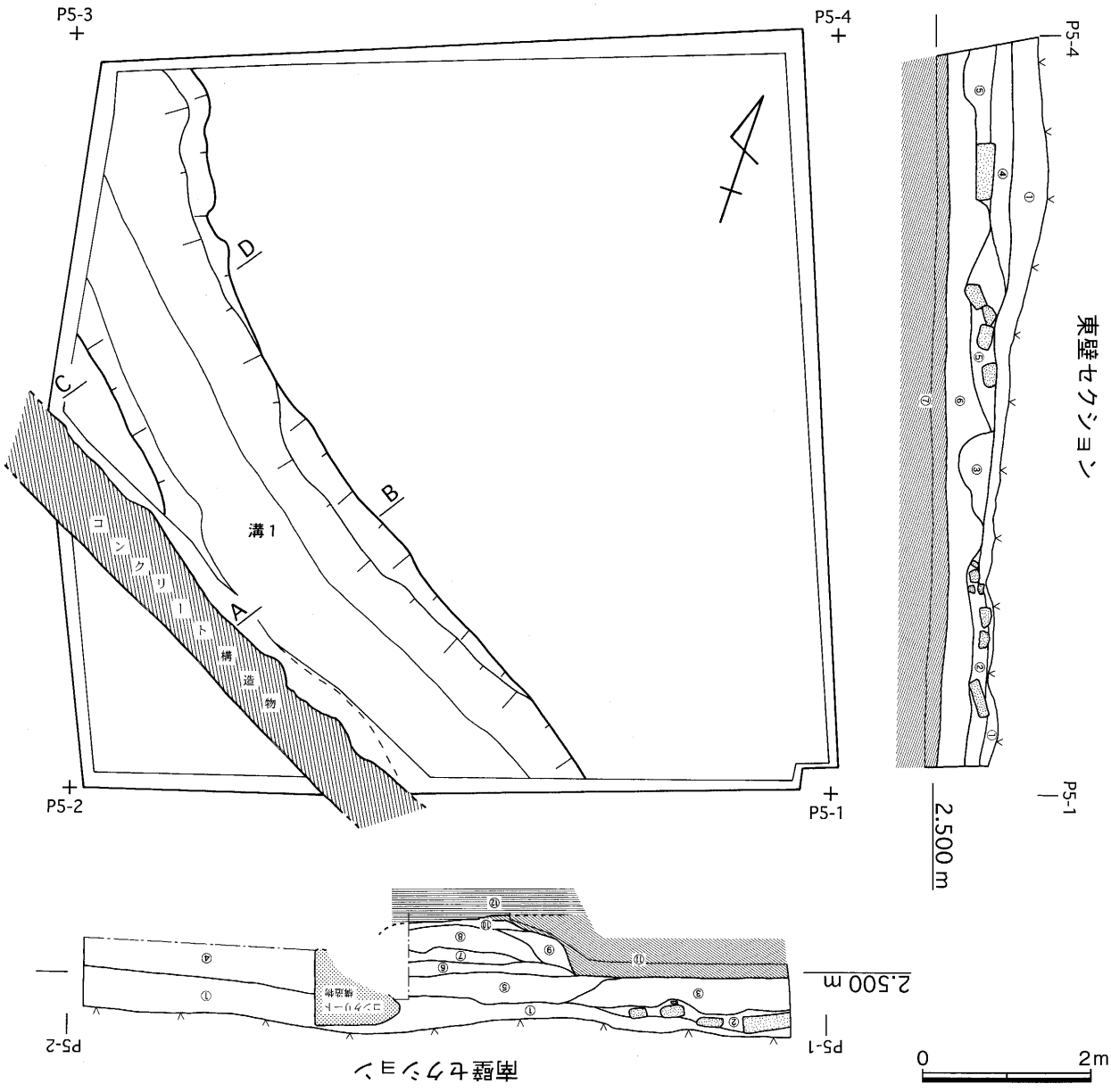
調査位置　水江地内（高梁川河川敷）
調査原因　高梁川架橋工事　　**調査面積**　81㎡
調査期間　08.11.26～12.25　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　水江遺跡は、高梁川東岸の沖積地に立地する弥生時代から中世にかけての集落遺跡である。昭和59年（1984）から61年（1986）にかけて倉敷市教育委員会による遺跡範囲確認調査が今回の調査地周辺において実施されており、おおまかではあるが弥生時代の微高地の存在状況が把握されている。平成19年（2007）には本件に伴う確認調査の際、橋脚予定地の３つの地点でトレンチ調査を行ったところ、１地点において遺構が確認された。その調査果結を踏まえて今回の発掘が実施されることとなった。

調査の概要　調査地は、高梁川左岸、古水江渡しの下流約100ｍの河川敷である。発掘調査は、Ｐ５橋脚の基礎（ケーソン）工事が計画されている位置に９ｍ×９ｍの調査区を設定して行った。表土を除去すると調査区の南西隅に東西方向に延びる鉄筋コンクリート製の構造物が現れたため重機による破壊、撤去を試みたが、使用した小型バックホーでは果たせなかった。また、この構造物を支える地層を掘り除いていけば崩落させる可能性が高いため、調査区南西隅を掘り残すことにした。なお、このコンクリートの構造物は、30ｍ以上にわたって東西に延びており、南側が垂直壁となるように型枠整形されていることから、舗装道路の路肩部分と思われる。路面はかなり破壊されているようで、その破砕物と思われるコンクリート塊が堆積層の上層部分に含まれている。



調査地位置図（S=1/5,000）



《 調査区東壁断面 》

① 褐灰色砂質土（表土）
② 灰黄褐色砂質土
③ 暗灰黄色砂礫
④ 黄灰色砂礫
⑤ 暗灰黄色砂質土
⑥ 暗緑灰色硬質土
⑦ 黄褐色粘質土（基盤層）
※②、③、⑤層はコンクリート塊を含む。

《 調査区南壁断面 》

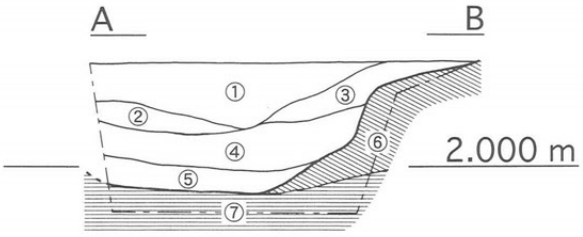
① 褐灰色砂質土（表土）
② 灰黄褐色砂質土
③ 暗緑灰色硬質土
④ にぶい黄褐色砂礫
⑤ 褐灰色粘質土
⑥ 灰黄褐色粘質土
⑦ 黒褐色粘質土
⑧ 灰黄褐色砂混じり粘質土
⑨ にぶい黄褐色粘質土
⑩ 灰色砂質土
⑪ 黄褐色粘質土（基盤層）
⑫ 灰色砂礫
※⑥～⑩は溝１内堆積土。
②層はコンクリート塊を含む。

調査区平面・断面図（S＝1/80）

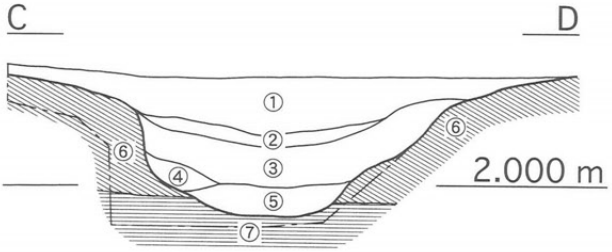
基本層序　調査区で観察された土層については、上図の示すとおりであるが、基本的な層序は、Ⅰ表土層、Ⅱコンクリート塊を含む砂質土層、Ⅲ暗緑灰色硬質土層、Ⅳ黄褐色粘質土層（基盤層）、Ⅴ灰色砂礫層である。Ⅲ層は粘質土が硬くしまった層で、地盤改良のため硬化剤が注入された可能性もあると考えていたが、分布が広範囲にわたることが予想され、近現代の遺物を含んでいないことか

ら堆積層が自然の撹乱を繰り返し受け、浸水によりグライ化したものと判断された。上面はコンクリート構造物の構築から取り壊しまでの過程で破壊を受けている（Ⅱ層）。また、Ⅳ層（基盤層）との境界の凹凸は洪水による浸食の影響と考えられる。Ⅲ層からは弥生土器、古墳時代の須恵器等が少量出土した。Ⅳ層は弥生時代～古墳時代の生活の跡が刻まれる層（基盤層）である。検出面の標高は2.6ｍくらいであるが、洪水による破壊を受けていることから、生活面の上層は既に削られており、溝のような深く掘り込まれた遺構だけが残っている状況と思われた。Ⅴ層は小さい円礫を多く含む砂礫層で湧水が見られた。

遺構・遺物　検出された遺構としては、溝１がある。この溝は、平成19年３月に行った確認調査のトレンチ１で検出されている。北西－南東方向に延びており、調査区の北東に中心をもつようなゆるい弧を描く。仮に、環状にめぐるものだとするとその直径は300ｍぐらいと推定される。コンクリート構造物があるため、溝の南西肩などの詳細を把握できなかったが、幅は1.8ｍ～2.0ｍと推定される。Ⅳ層（基盤層）を掘り抜いて、底はⅤ層（砂礫層）の上面まで達しており、検出面からの深さは約50㎝を測る。溝内の堆積層中には弥生時代後期土器、古墳時代土師器、須恵器がわずかに含まれるが、全体的に出土遺物は少ない。溝の機能した時期は出土遺物から推定して、弥生時代後期から古墳時代前半ぐらいと考えられる。この他にも遺構が存在した可能性があるが、先述のとおり洪水による侵食を受けているため、小規模で浅い遺構は失われたのであろう。



① 灰黄褐色粘質土
② 黒褐色粘質土
③ にぶい黄褐色粘質土
④ 灰黄褐色砂混じり粘質土
（弥生土器出土。⑥層の土混入）
⑤ 黄灰色砂質土（⑥層の土混入）
⑥ 黄褐色粘質土（基盤層）
⑦ 灰色砂礫



① 灰黄褐色粘質土
② 黒褐色粘質土
③ 灰黄褐色砂混じり粘質土
（弥生土器、須恵器出土。⑥層の土混入）
④ 黄灰色砂混じり粘質土
⑤ 灰色砂質土（⑥層の土混入）
⑥ 黄褐色粘質土（基盤層）
⑦ 灰色砂礫

溝１断面図（S＝1/50）

まとめ　今回の発掘調査において検出された溝１は、ゆるい弧状に延びており環濠を想起させるが、この地方における弥生時代後期の環濠集落は調査例が少ないため、遺構の性格については今後の課題である。溝内の堆積層を含めて、調査区からの出土遺物は非常に少なく、集落の中心地から離れた部分にあたると考えられる。

（小野）

溝１の検出状況

上東（じょうとう）遺跡確認調査報告（一覧表 No.16）

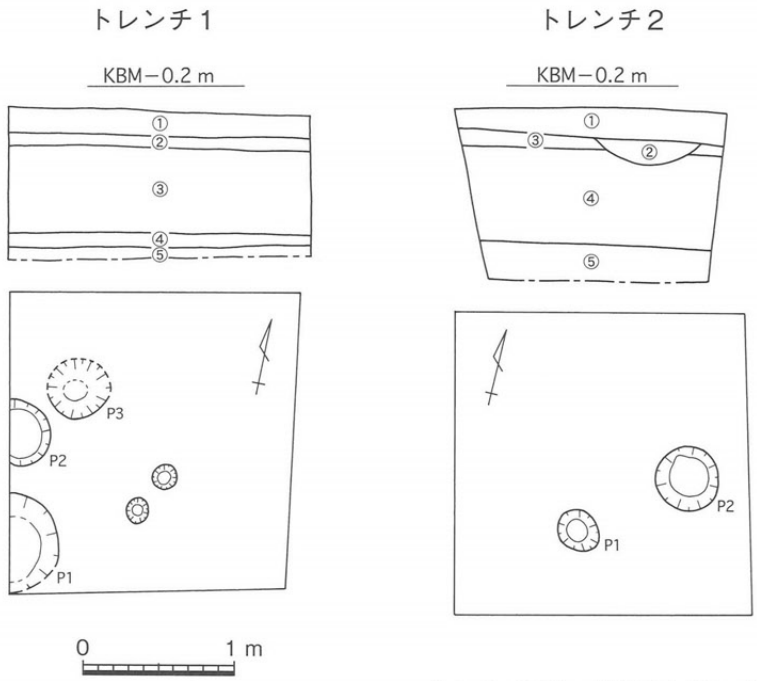
調査位置　上東字龍王357番１の一部
調査原因　宅地造成工事　　**調査面積**　８㎡
調査期間　09.03.10　　**調査担当**　小野・藤原

遺跡の概要　上東遺跡は市北東部の庄地区に位置し、足守川が形成した沖積地に立地する。これまでにも山陽新幹線建設や主要地方道建設工事に伴って発掘調査が行われており、弥生時代後期を中心とする大規模な集落跡であることが確認されている。2000年度には、今回の調査地のすぐ北の農道が調査され、微高地とその周囲の低湿地が確認されている。また、2003年度には道路を挟んで西南側で、宅地造成に伴う確認調査が行われ、湿地状の地形であったことが確認されている。

調査の概要　調査地は標高1.3ｍ程の水田である。調査は、宅地造成予定地に２×２ｍのトレンチを２カ所設定し、地層の断面観察を中心に行った。

トレンチ１は計画区域内の東よりに設定した。水田耕作土直下の暗灰黄色粘質土（②層）に続き、にぶい黄褐色粘質土（③層）が厚く堆積し、さらに黄褐色粘質土（④層）が続く。③層には土器の細片がわずかに含まれており、しまりもやや弱い。④層はかたくしまっており、周辺部の調査で確認されている弥生時代の基盤層と同様の色・質である。その下は灰色粘質土（⑤層）である。遺構としては③層を掘りこんだピット群が検出された。Ｐ１は直径約65㎝、深さ約20㎝で、弥生時代後期の長頸壷１点が完形に近い状態で出土した。Ｐ２、Ｐ３からはいずれも遺物は出土していないが、埋土はＰ１と同じ暗茶褐色土であった。

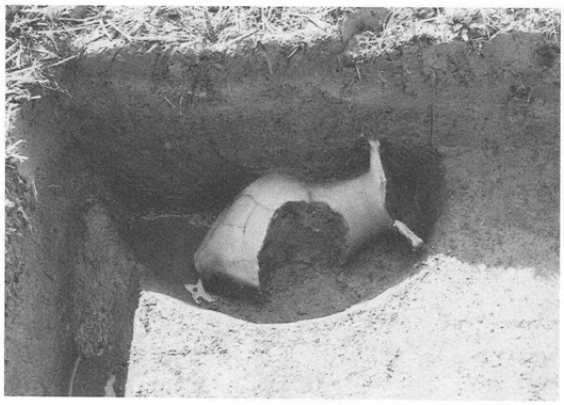
トレンチ位置図（Ｓ=1/5,000）



《トレンチ1北壁セクション》
① 黒褐色土（耕作土）
② 暗灰黄色粘質土（弥生土器出土）
③ にぶい黄褐色粘質土
（弥生土器の細片含む）
④ 黄褐色粘質土
⑤ 灰色粘質土

《トレンチ2北壁セクション》
① 黒褐色土（耕作土）
② 黄灰色粘質土（現代土壙埋土）
③ 暗灰黄色粘質土
（弥生・中世土器出土）
④ 黄褐色粘質土
（中世の遺構検出）
⑤ 灰色粘質土

トレンチ平・断面図（S=1/50）

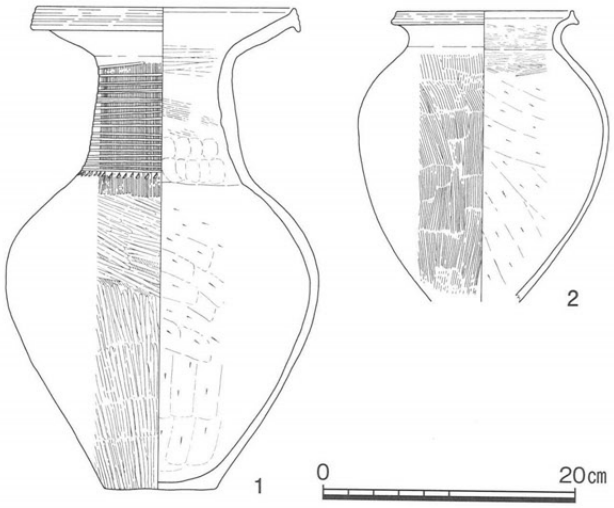


トレンチ1ピット1遺物出土状況

トレンチ2は計画区域内の西よりに設定した。水田耕作土直下の暗灰黄色粘質土（③層）に続き、黄褐色粘質土（④層）が厚く堆積し、その下は灰色粘質土（⑤層）である。トレンチ1の④層に相当する層は確認されなかった。トレンチ2の④層はトレンチ1の③層と同様に土器の細片がわずかに含まれており、しまりがやや弱い。④層上面から掘りこまれた2基のピットを検出した。P1からは中世の土師質土器片が出土している。

周辺におけるこれまでの調査等では遺構、遺物が検出されておらず、付近は微高地縁辺部の低湿地もしくは河道であろうと推定されていたが、今回の調査では各トレンチからピット群が検出され、この地点に弥生時代後期以降の活動痕跡が存在することがわかった。ただ、遺構が刻まれたトレンチ1の③層及びトレンチ2の④層については、しまりが弱く、細片ながら土器片が含まれるので、弥生時代に二次堆積した層かあるいは盛土整地した層と考えざるを得ない。このような、新たに生まれた地盤に立地した遺構の性格について、今後の調査等に際して注意する必要がある。

（小野）



1：トレンチ1ピット1出土
2：調査後、施工中に出土

出土遺物（S=1/6）

V 寄贈図書一覧（2008.4.1～2009.3.31）

青森県	
青森県教育委員会	山本遺跡、福島城跡 3
山形県	
（財）山形県埋蔵文化財センター	埋文やまがた第 42 号
米沢市教育委員会	米沢市文化財年報 No.20、上谷地 B 遺跡、街道西下遺跡、遺跡詳細分布調査報告書第 21 集
山形県教育委員会	分布調査報告書（34）、最上川関連遺跡確認調査報告書（1）、わたしたちの最上川を未来に伝えよう、最上川の文化的景観
茨城県	
（財）茨城県教育財団	埋蔵文化財部年報 27
ひたちなか市埋蔵文化財調査センター	平成 19 年度市内遺跡発掘調査報告書、ひたちなか埋文だより第 28 号
土浦市立博物館	土浦市立博物館年報第 20 号、土浦市立博物館紀要第 18 号
筑波大学　歴史・人類学専攻	先史学・考古学研究第 19 号
筑波大学　世界遺産専攻	ニュースレター vol.7
栃木県	
宇都宮市教育委員会	宇都宮市文化財年報第 23 号、辻ノ内遺跡、砂田姥沼遺跡（C 区）、中島笹塚遺跡（A 区）、砂田姥沼遺跡（B 区）、砂田姥沼遺跡（D 区）、宇都宮城跡、史跡飛山城跡保存整備報告書
埼玉県	
（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団	埋文さいたま第 52 号
春日部市教育委員会	犬塚遺跡 6 次地点・中野吉岡遺跡 1・2 次地点・小渕山下遺跡 5 次地点・小渕山下北遺跡 9・10、小渕山下遺跡 6 次地点、神明貝塚 4 次地点、塚崎遺跡 7・8 次地点
千葉県	
市川市教育委員会	曽谷南遺跡、下総国分寺遺跡、平成 12～15 年度市川市内遺跡発掘調査報告
野田市教育委員会	平成 19 年度野田市内遺跡発掘調査報告、南大和田、山崎宿里
国立歴史民俗博物館	直良信夫コレクション目録、国立歴史民俗博物館研究報告第 139 集～第 144 集、国立歴史民俗博物館年報 4
市立市川考古博物館	市立市川考古博物館館報第 35 号
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	新版船橋のあゆみ、とびのだい vol.25、飛ノ台史跡公園博物館紀要第 4 号～第 5 号
（財）千葉県史料研究財団	瓦等資料調査報告書、富里市東内野遺跡旧石器時代石器資料調査報告書
東京都	
（財）東京都スポーツ文化事業団	七社神社前遺跡、林ノ上遺跡 - 第十一次調査 -、南谷遺跡、大塚遺跡、余田遺跡、柏木淀橋町遺跡
宮内庁書陵部	書陵部紀要第 59 号
荒川区立荒川ふるさと文化館	町屋四丁目実揚遺跡 B 地点発掘調査報告書、町屋四丁目実揚遺跡 C 地点、日暮里延命院貝塚、町屋四丁目実揚遺跡 D 地点発掘調査報告書
明治大学博物館	明治大学博物館年報 2007 年度
早稲田大学図書館	古代 121 号
神奈川県	
藤沢市教育委員会	藤沢市文化財調査報告書第 41 集～第 43 集、獺郷大向遺跡
神奈川県教育委員会	神奈川県埋蔵文化財センター年報 20、平成 18 年度神奈川県内埋蔵文化財発掘調査一覧、菊名宮谷貝塚
新潟県	
新潟市埋蔵文化財センター	諏訪畑遺跡第 3 次調査、下大口遺跡第 2 次調査、結七島遺跡㈱第 13・15・17 次調査
富山県	
（財）富山県文化振興財団	とやま発掘だより - 平成 19 年度発掘調査速報 -、平成 19 年度埋蔵文化財年報、

	富山考古学研究第 11 号、北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告（8）、中尾茅戸遺跡・中尾新保谷内遺跡・神明北遺跡・大野江淵遺跡調査報告、竹ノ内Ⅱ遺跡・柳田遺跡・下山新東遺跡・下山新遺跡調査報告
富山県埋蔵文化財センター	埋文とやま vol.102 ～ vol.105、富山県埋蔵文化財センター年報 - 平成 19 年度 -、飛越交流～飛騨の考古学～
魚津市教育委員会	天神山遺跡発掘調査報告、市内遺跡試掘調査報告
小矢部市教育委員会	平成 18 年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成 19 年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報、平成 20 年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報
砺波市教育委員会	増山城跡総合調査報告書
射水市教育委員会	射水市内遺跡発掘調査報告Ⅰ、射水市内遺跡発掘調査一覧 - 平成 17・18 年度 -、北高木遺跡発掘調査報告（2）、太閤山温泉遺跡発掘調査報告、高島 A 遺跡発掘調査報告、作道遺跡発掘調査報告、日宮城跡発掘調査概要
石川県	
（財）石川県埋蔵文化財センター	瀬戸町遺跡、和田山堡跡、観法寺谷遺跡、観法寺古墳群、浄水寺跡、中川・太田遺跡群、的場農業倉庫前遺跡、松本 C 遺跡、森ガッコウ遺跡・鉢伏浄水場遺跡、鉢伏カクチ遺跡、石川県埋蔵文化財情報第 18 号～第 19 号、年報 9、粟津小学校遺跡、飯田町遺跡、小島西遺跡、米浜遺跡
金沢市埋蔵文化財センター	堅田 C 遺跡、桂町南遺跡Ⅱ・畝田・寺中遺跡Ⅴ、市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ、長坂用水の調査研究報告書
金沢大学文学部考古学研究室	金沢大学考古学紀要第 29 号
福井県	
福井県埋蔵文化財調査センター	年報 21 ～ 22、福井城跡、中角遺跡 1、藤巻多珍坊遺跡、上安田向田遺跡
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡 38、一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2007
山梨県	
山梨県埋蔵文化財センター	埋文やまなし第 29 号～第 32 号、年報 24、研究紀要 25、国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳、鰍沢河岸跡Ⅵ、県指定史跡甲府城跡平成 20 年度調査・整備報告書、青柳河岸跡、山梨県内分布調査報告書（平成 20 年 1 月～ 12 月）、山梨県内中世寺院分布調査報告書
長野県	
（財）長野県埋蔵文化財センター	東高遠若宮武家屋敷遺跡、構井・阿弥陀堂遺跡、中原遺跡群・野火附遺跡・野火附城跡、長野県埋蔵文化財センター年報 24
長野市埋蔵文化財センター	長野遺跡群元善町遺跡・善光寺門前町跡（2）、塩崎遺跡群（8）・石川条理遺跡（9）長野市埋蔵文化財センター所報 No.19
上田市教育委員会	平成 19 年度市内遺跡発掘調査報告書
佐久市教育委員会	市道遺跡Ⅲ・辻遺跡・儘田遺跡Ⅱ・西裏遺跡、反田遺跡、戸坂遺跡群戸坂遺跡Ⅳ・戸坂城跡、東五里田遺跡Ⅲ、市内遺跡発掘調査報告書 2006、野沢館跡Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ、岩村田遺跡群西一本柳遺跡Ⅳ、周防畑遺跡群大豆田遺跡Ⅰ・Ⅱ、寄塚遺跡群寄塚遺跡、岩村田遺跡群北一本柳遺跡Ⅳ、市道遺跡Ⅳ、佐久市文化財年報 16
松本市教育委員会	史跡松本城二の丸土塀跡発掘調査報告書、中山古墳群 14・15・カニホリ東・西遺跡、下出口遺跡、高畑遺跡第 2・3・4・5 次、松本城下町跡東町、岡の宮遺跡、平田本郷遺跡、北起し遺跡
茅野市尖石縄文考古館	荒玉社周辺遺跡、阿弥陀堂遺跡Ⅶ、下島・下ツ原遺跡、大悦南遺跡Ⅱ、荒玉社周辺遺跡Ⅱ、大久保遺跡、柏木遺跡、中ツルネ遺跡、下尾根遺跡、高部遺跡Ⅱ、鹿尾根遺跡・鹿垣遺跡、新井下遺跡、小堂見遺跡、永明寺遺跡
井戸尻考古館	大花北遺跡・小母沢遺跡、坪平遺跡・森平遺跡・御射山遺跡、徳久利遺跡、御射山遺跡発掘調査報告書、御所平遺跡、山下沢遺跡
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.55 ～ vol.58、よみがえる氷河時代の狩人
岐阜県	
各務原市埋蔵文化財調査センター	かかみがはらの埋文第 17 号、広畑野口遺跡 B 地区発掘調査報告書
（財）岐阜市教育文化振興事業団	平成 17・18・19 年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書、鷺山市場遺跡

（財）岐阜県教育文化財団	平成19年度年報、きずな第52号～第54号、野内遺跡B地区、有坂薬師堂遺跡
静岡県	
（財）静岡県埋蔵文化財調査研究所	発掘物語しずおか No.122 ～ No.126、静岡県埋蔵文化財調査研究所年報24、研究紀要第15号、大門西遺跡･大平遺跡、原分古墳、駿河山遺跡Ⅰ（図版編）、大屋敷A古墳群、裾野市富沢・桃園の遺跡群、梅ノ木沢遺跡Ⅰ、老平遺跡、棚返遺跡・今里遺跡、宮裏遺跡Ⅳ、宗光寺横穴群・横山段横穴群、法明寺古墳、綱掛山古墳群・片瀬遺跡、矢上川C遺跡
磐田市埋蔵文化財センター	特別史跡遠江国分寺跡 - 平成19年度発掘調査のあらまし -、梵天南遺跡発掘調査報告書 - 市道改良工事に伴う調査 -、御殿・二之宮遺跡発掘調査報告書、八幡神社南古墳発掘調査報告書
袋井市教育委員会	鶴田Ⅰ遺跡、平成19年度掛之上遺跡 - 写真図版編 -
浜松市埋蔵文化財調査事務所	都田町本村遺跡、堤花遺跡、東原遺跡33次、東若林遺跡、東前遺跡Ⅱ
愛知県	
安城市埋蔵文化財センター	野辺遺跡、鹿乗川流域遺跡群Ⅴ、平成19年度弥生時代「ものづくり」体験事業報告書
愛知県教育委員会	内田町遺跡、詳細遺跡分布調査報告書
一宮市博物館	元屋敷遺跡発掘調査報告書Ⅰ
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第26号～第27号
名古屋市見晴台考古資料館	平手町遺跡第4次発掘調査報告書、平手町遺跡第5次発掘調査報告書、名古屋市見晴台考古資料館年報25、名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第10号、埋蔵文化財調査報告書57 ～ 58、尾張元興寺跡第12次発掘調査概要報告書、下寺林古墳（寺林2号墳）、正木町遺跡第20次発掘調査報告書、旗屋遺跡、竪三蔵通遺跡発掘調査報告書
豊田市郷土資料館	豊田市郷土資料館だより No.63 ～ No.66、平成18年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書、来姓古窯跡群、挙母城（桜城）跡、井上1号墳、丸根遺跡･丸根城跡
名古屋大学考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集161
三重県	
三重県埋蔵文化財センター	平成18年度三重県埋蔵文化財年報、平成19年度三重県埋蔵文化財年報、古代の火葬墓を発見！、大内山の考古学 No.1、一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報19、東庄内A遺跡（第2次）、丁長遺跡（第2次）発掘調査報告、甘チ遺跡、霧生城跡・中道遺跡、一般国道23号中勢道路（10工区）建設事業に伴う蔵田遺跡（第4次）発掘調査報告、森庵遺跡発掘調査報告、三正田遺跡発掘調査報告、岸本遺跡（第2・3次）発掘調査報告、平林東遺跡発掘調査報告、志知南浦遺跡発掘調査報告、立花堂遺跡発掘調査報告、西肥留遺跡発掘調査報告（第1・2・3・5次）、大原堀遺跡発掘調査報告 - 第2・3次調査 -、大木ノ輪遺跡発掘調査報告、一般国道23号中勢道路（10工区）建設事業に伴う替田遺跡（第1･2次）発掘調査報告、研究紀要第17-1号、南勢の考古資料1、一般国道23号中勢道路　埋蔵文化財発掘調査概報20、久居城下町遺跡・東鷹跡古墳、上箕田遺跡（第7次）発掘調査報告、奥城寺遺跡発掘調査報告、九條遺跡発掘調査報告、大見遺跡発掘調査報告、一般国道1号関バイパス埋蔵文化財発掘調査概報、広山A遺跡・広山B遺跡発掘調査報告、旅籠江戸屋敷・近世熊野街道跡発掘調査報告、師子焼遺跡発掘調査報告、下茅原（第1次・第2次）、東沖遺跡発掘調査報告、中林・中道遺跡発掘調査報告、向山遺跡（第4次）発掘調査報告、里前遺跡（第5次）発掘調査報告、東庄内A遺跡（第2次）発掘調査報告、村竹コノ遺跡、流谷遺跡
津市埋蔵文化財センター	津市文化財年報1- 平成17年度 -、津市文化財年報2- 平成18年度 -、平成18年度市内遺跡試掘・確認調査報告、多気北畠氏遺跡第29次発掘調査報告、殿村1号墳・殿村遺跡発掘調査報告、渋見城跡発掘調査報告、蔵田遺跡発掘調査報告、長遺跡発掘調査報告、川北遺跡・川北城跡発掘調査報告、松山遺跡発掘調査報告、雲林院青木遺跡発掘調査報告、津市の指定文化財、小野口遺跡（第2次）発

	掘調査報告、川方城跡発掘調査報告、まいぶん津第3号～第4号
松阪市教育委員会	上村遺跡、平成19年度松阪市文化財センター年報
伊賀市教育委員会	川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ、伊賀市文化財年報4
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第10号
滋賀県	
滋賀県埋蔵文化財センター	滋賀埋文ニュースNo.336号～No.340号
(財) 滋賀県文化財保護協会	滋賀文化財だよりNo.305～No.308、金剛寺野古墳群 - 渡来系集団とその墓地 -、長浜御坊大通寺、桑実寺縁起絵巻、近江八幡の水郷、遺跡散歩マップ大津市南部地域編
(財) 栗東市文化体育振興事業団	霊仙寺遺跡発掘調査報告書、出庭古墳群発掘調査報告書、日川遺跡発掘調査報告書、坊袋遺跡発掘調査報告書、霊仙寺遺跡発掘調査報告書、狐塚古墳群発掘調査報告書、忘れられた霊場をさぐる3、笠山城遺跡発掘調査報告書、1988年度栗東町埋蔵文化財発掘調査資料集
東近江市埋蔵文化財センター	能登川石田遺跡（24・25・27次）中沢遺跡（15-2・17次）斗西遺跡（22次）
多賀町立文化財センター	敏満寺遺跡、大岡高塚古墳
滋賀県教育委員会	烏丸崎遺跡・津田江湖底遺跡、琵琶湖西南部の湖底・湖岸遺跡、小御門古墳群、弘前遺跡Ⅱ、安土城下町遺跡、関津遺跡Ⅱ、野村遺跡、野村北遺跡・小山遺跡・陣屋遺跡
大津市教育委員会	近江国府跡関連遺跡発掘調査報告書、下仰木地区団体営土地改良総合整備事業（一般区画整理）に係わる発掘調査報告書
米原市教育委員会	佐加太第28号～第29号
竜王町教育委員会	竜王町内遺跡散策マップ（3）、竜王町遺跡リーフレット11～15、鏡神社本殿、勝手神社本殿、苗村神社西本殿、須恵器ってなぁーに？、まちの文化財探訪鏡山窯址群と須恵器、鏡山窯址群分布調査報告書
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第63号～第66号
大津市歴史博物館	大津歴博だよりNo.73
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化第23号～第24号
京都府	
(財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第105号～第107号
(財) 京都市埋蔵文化財研究所	平安京左京六条四坊二町跡・西京極遺跡、白河街区跡・岡崎遺跡、平安京左京八条二坊三町跡、平安京左京四条二坊十四町跡、平安京右京北辺三坊八町（宇陀院）跡、長岡京左京一条四坊十二町跡、羽束師志水町遺跡・長岡京跡、平安京跡・御土居跡、平安京跡・史跡西寺跡、特別史跡・特別名勝 鹿苑寺（金閣寺）庭園、鳥羽離宮跡、平安京左京三条三坊九町跡、長岡京右京二条三坊一・八町跡、上里遺跡、平安京右京六条二坊三・六町跡、平安京右京七条一坊二町跡、史跡賀茂御祖神社境内、長岡京跡・淀城跡、福西古墳群、平安京右京五条三坊十四町跡、平安京左京四条一坊十三町跡、平安京右京六条四坊八町跡・西京極遺跡、大藪遺跡、平安京左京四条一坊十二・十三町跡、平安京左京四条二坊十五町跡・本能寺城跡、伏見城跡、平安京左京二条二坊十町（高陽院）跡、中臣遺跡、中久世遺跡・大藪遺跡、長岡京跡・淀城跡跡、平安京左京四条四坊三町跡、史跡大覚寺御所跡、植物園北遺跡、史跡本願寺境内・平安京左京七条二坊十町跡、平安京左京五条三坊十一町跡、伏見城跡、史跡・名勝 嵐山、長岡京左京三条四坊十三町跡、平安京右京一条二坊七町跡、平安京左京三条三坊十町（押小路殿・二条殿）跡、法勝寺跡、史跡 慈照寺（銀閣寺）旧境内、平安京右京五条四坊六町跡・西京極遺跡、平成17年度財団法人京都市埋蔵文化財調査年報、平安京左京四条三坊十二町跡、史跡本願寺境内・平安京左京七条二坊六町（東町）跡、史跡賀茂御祖神社境内、平安京右京六条二坊六町跡、常磐仲之町遺跡・広隆寺旧境内、平安京左京五条一坊十四町跡、小倉町別当町遺跡、史跡本願寺境内・平安京左京七条二坊七町跡、平安京左京七条四坊四町跡、平安京右京六条一坊三町跡、平安京右京八条二坊十・十五町跡、衣田町遺跡、平安京左京五条三坊五町跡・烏

	丸綾小路遺跡、史跡慈照寺（銀閣寺）旧境内、平安京左京四条四坊二町跡、京都国立博物館構内発掘調査報告書、史跡・名勝嵐山
（財）向日市埋蔵文化財センター	長岡京跡ほか、年報都城20、向日市の遺跡
京都市文化芸術都市推進室	京都市内遺跡試掘調査報告平成19年度
南丹市立文化博物館	南丹市立文化博物館だより第3号～第4号、妖怪大集合!!、園部藩のあゆみ
京都市考古資料館	京都市考古資料館年報平成17・18年度、京町家の境 - 尚徳校以前の姿 -、絵高麗 - 尚徳校跡から出土した鉢 -、白河街区の調査、「楊梅室町西南頬之倉」 - 室町時代の酒倉跡を発見 -、本能寺の変遷、本能寺 - 町名の変遷 -、聚楽第跡 - 天下人の象徴 -、聚楽第を歩く、山科本願寺のお宝、坂本龍馬の「いろは丸」 - 第4次調査から -、特別展示都のうつわ、発掘成果をふりかえって2006、硯の裏側 - 遺物整理から -、推定画を描く、弥生時代の墓地 - 西京極遺跡 -、平安の赤い色、室町時代の伏見、柱跡に土器を納める - 竪穴住居のマツリ -、三条界隈のゴミ穴、一条通を歩く、金閣寺出土の防火砂弾、遊山の器、種子の同定、発掘成果をふりかえって2008
京都橘大学	文化財調査報告2007
大阪府	
（財）八尾市文化財調査研究会	財団法人八尾市文化財調査研究会報告115、八尾南遺跡（第28次調査）、植松遺跡第10次調査（UM2006-10）、財団法人八尾市文化財調査研究会報告112、財団法人八尾市文化財調査研究会報告109、久宝寺遺跡、平成19年度（財）八尾市文化財調査研究会事業報告、大竹西遺跡
（財）枚方市文化財研究調査会	30年のあゆみ、百済の歴史と文化、漢城百済の歴史と文化、枚方市文化財年報27・28（2005・2006年度分）、枚方市文化財年報29（2007年度分）
高槻市立埋蔵文化財調査センター	史跡・今城塚古墳 - 平成18年度・第10次規模確認調査 -、古代の匠に挑戦！石棺復元体験への手引き - 二上山白石編 -、古代の匠に挑戦 平成18・19年度石棺復元体験事業の記録、嶋上遺跡群32、高槻市文化財年報　平成17・18年度
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市遺跡群発掘調査報告書ＸＸＶ、海南寺のあゆみ、古代史博物館平成18年度館報
（財）大阪府文化財センター	茄子作遺跡、津田遺跡、池島・福万寺遺跡５、寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条理遺跡・砂遺跡、堺環濠都市遺跡Ⅰ、堺環濠都市遺跡Ⅱ、山賀遺跡の最新調査成果、大阪文化財研究第33号、船橋遺跡Ⅳ、吹田操車場遺跡Ⅲ、玉櫛遺跡Ⅲ、池島・福万寺遺跡６～７、讃良郡条里遺跡Ⅶ、巣本遺跡Ⅱ
堺市教育委員会	史跡旧堺燈台保存修理工事報告書、平成19年度国庫補助事業発掘調査報告書、百舌鳥古墳群の調査１、堺環濠都市遺跡（SKT929）発掘調査概要報告、平成18年度市内遺跡立会調査概要報告、丹上遺跡（TNJ-1）発掘調査概要報告、大保遺跡（DIH-3）発掘調査概要報告、余部日置荘遺跡（HKS-24）発掘調査概要報告、野々井西遺跡（NNIN-1）・陶邑窯跡群（ON231）発掘調査概要報告
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成19（2007）年度 -、春日大社南郷目代今西氏屋敷 - 今にいきづく中世荘官屋敷 -、大阪府指定史蹟春日大社南郷目代今西氏屋敷総合調査報告書、豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成20（2008）年度 -
枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要2007
東大阪市教育委員会	若江遺跡第85次発掘調査概要、鬼虎川遺跡第62・63次発掘調査報告、東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告 - 平成19年度 -、東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 - 平成19年度 -
富田林市教育委員会	平成19年度富田林市内遺跡群発掘調査報告書、甲田遺跡・貴志南遺跡発掘調査報告書、太郎池遺跡、甘南備遺跡
貝塚市教育委員会	貝塚市遺跡群発掘調査概要30
泉佐野市教育委員会	日根荘地域の文化的景観調査報告書（大木・土丸地区）、夫婦池西遺跡、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 - 平成19年度 -、泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第56号～第57号
交野市教育委員会	平成19年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要

池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2007 年度
吹田市教育委員会	平成 19 年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報、吹田操車場遺跡確認調査報告書、吹田南遺跡発掘調査報告書Ⅰ
茨木市教育委員会	平成 19 年度発掘調査概報
河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書ＸＸⅥ～ＸＸⅦ
大阪府立弥生文化博物館	鉄道発掘物語、弥生文化博物館要覧 - 平成 19 年度 -、弥生倶楽部 vol.34、倭人がみた龍
大阪府立近つ飛鳥博物館	博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.29、考古学からみた古代の女性、百舌鳥・古市大古墳群展
吹田市立博物館	博物館だより No.32・No.34 ～ No.36、わかりやすい吹田の歴史別冊吹田の歴史年表、吹田市立博物館館報 8、千里の竹、ビールが村にやってきた！
大阪府立狭山池博物館	大阪府立狭山池博物館研究報告 5
大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報平成 13 年度～平成 18 年度、学芸員さまざまな仕事 - 大阪歴史博物館紹介 -、なにわ歴博探検 大阪歴史博物館の利用の手引き（中学生版）
高槻市立しろあと歴史館	継体天皇の時代、摂津三島の遺宝 - 考古資料精選 -、摂津三島の古代に挑む
八尾市立歴史民俗資料館	研究紀要第 19 号、八尾市立歴史民俗資料館報（平成十九年度）、八尾市立歴史民俗資料館開館 20 周年記念誌
大阪大学考古学研究室	長尾山古墳
大阪大谷大学	志学台考古第 8 号、文化財研究第 8 号
兵庫県	
たつの市埋蔵文化財センター	古代人の造形
神戸市教育委員会	神戸市埋蔵文化財分布図、兵庫津遺跡第 42 次発掘調査概要報告書、兵庫津遺跡第 45 次発掘調査概要報告書、二葉町遺跡発掘調査報告書第 14 ～ 21 次調査、郡家遺跡発掘調査報告書 第 83 次調査、平成 17 年度神戸市埋蔵文化財年報、ひがしなだ・なだの木と森、白水瓢塚古墳、塩田北山東古墳、五番町遺跡発掘調査報告書 - 第 12 次調査 -、御影郷古酒蔵群第 4 次発掘調査報告書、神戸臨港線南本町架道橋範囲確認調査報告書、大橋町遺跡第 2 次発掘調査報告書、楠・荒田町遺跡第 40・41 次発掘調査報告書
伊丹市教育委員会	伊丹市埋蔵文化財調査報告書、御願塚古墳発掘調査報告書、伊丹市埋蔵文化財調査報告書
芦屋市教育委員会	八十塚古墳群･岩ヶ平石切場、月若遺跡発掘調査報告書第 89 地点、前田遺跡（第 26 地点）発掘調査報告書、芦屋川水車場跡発掘調査報告書、平成 13 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、平成 18 年度国庫補助事業芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書、芦屋市山手幹線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要
加西市教育委員会	在田南部地区遺跡群、三口稲所遺跡（第 2 次）、平成 17 年度埋蔵文化財立会・発掘調査報告、平成 18 年度埋蔵文化財立会調査報告、日吉東地区遺跡群、三口市場遺跡（第 4 次）、中条垣内遺跡、女鹿山古墳群・寺山古墳群、村前遺跡・女鹿山遺跡、南上山遺跡（第 3・4 次）、殿垣内遺跡（第 4 次）、山枝遺跡
赤穂市教育委員会	赤穂の石仏、名勝旧赤穂城庭園二之丸庭園整備概要報告書、有年原・クルミ遺跡発掘調査報告書
尼崎市教育委員会	尼崎市埋蔵文化財遺跡分布地図及び手引き、尼崎市埋蔵文化財調査年報平成 10 年度（2）・11・12・13・14 年度、尼崎市内遺跡発掘調査等概要報告書
姫路市立城郭研究室	特別史跡姫路城跡石垣総合調査報告書、城郭研究室年報 vol.18
加古川市教育委員会	文化財ニュース No.50 ～ No.51、溝之口遺跡発掘調査報告書Ⅱ、加古川市埋蔵文化財調査集報Ⅲ
たつの市教育委員会	竹万遺跡
川西市教育委員会	平成 18 年度川西市発掘調査報告
上郡町教育委員会	史跡山陽道野磨駅家跡保存管理計画策定報告書
佐用町教育委員会	平成 18 年度埋蔵文化財調査年報、平成 2 年度埋蔵文化財調査年報

多可町教育委員会	田野口・篦町遺跡Ⅲ、坂本・土井の内遺跡・坂本・クゴ田遺跡・糀屋・土井の後遺跡Ⅱ、森本・上鳥原遺跡Ⅱ、田野口・宮ノ下遺跡、坂本・坂ノ下遺跡・糀屋・北縄手遺跡・糀屋・チガキ遺跡・糀屋・稲荷遺跡
神河町教育委員会	福本遺跡調査報告書Ⅱ
神戸市立博物館	研究紀要第24号、神戸市立博物館年報No.23
赤穂市立歴史博物館	まいど！ご贔屓に - 引札に見る忠臣蔵の世界 -
兵庫陶芸美術館	兵庫陶芸美術館研究紀要第2号～第3号、丹波立杭の里ミュゼレター Vol.3、平成17年度兵庫陶芸美術館年報、平成18年度兵庫陶芸美術館年報
兵庫県立考古博物館	ひょうごの遺跡第67号～第70号、和賀向山1号墳 芝ヶ端古墳・芝ヶ端遺跡 芝花古墳群、柿坪遺跡、今宿遺跡Ⅰ、筒江大垣遺跡、野脇・場市・広瀬遺跡、平瀬遺跡、サルガク遺跡・沢構、今宿遺跡Ⅱ・山吹遺跡、赤穂城下町跡、芝花弥生墓群・古墳群、石守廃寺、戸牧1号窯・マムシ谷1号墳、方谷遺跡、楠・荒田町遺跡（Ⅲ）、方谷古墳群、梶原遺跡・梅ヶ作遺跡・北山遺跡・大月北山古墳群、野田窯跡、土師Ⅰ・Ⅱ遺跡、土井遺跡、北条遺跡、楠・荒田町遺跡Ⅱ、兵庫県立考古博物館ＮＥＷＳ vol.1 ～ vol.3
播磨町郷土資料館	播磨町郷土資料館　館報19
西近畿文化財調査研究所	平安京右京四条三坊十四町跡・山ノ内遺跡、伶人町遺跡発掘調査報告書
大手前大学史学研究所	龍子三ツ塚古墳の発掘調査、兵庫津の総合的研究
奈良県	
奈良市埋蔵文化財調査センター	県営圃場整備事業田原東地区における埋蔵文化財発掘調概要報告書
桜井市立埋蔵文化財センター	葬送の風景 - 考古学と文献からみる古墳時代の葬送儀礼 -、平成18年度国庫補助による発掘調査報告書、50㎝下の桜井、色から見た考古学～考古学を楽しむための5色のｷｰﾜｰﾄﾞ～、赤尾熊ヶ谷古墳群
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.130 ～ No.133、「日本各地・各時代の焼失竪穴建物跡」
橿原市教育委員会	平成18年度橿原市文化財調査年報、名勝指定 大和三山（香久山・畝傍山・耳成山）
宇陀市教育委員会	宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書2006年度、宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書2007年度
田原本町教育委員会	弥生デザイン～原始・古代の文様～、瓦に込めた願い、田原本町文化財調査年報16
（財）元興寺文化財研究所	平城京左京三条五坊三坪、日系塔式墓標の展開と変容に関する物質文化史的研究、元興寺文化財研究所研究報告2007、発掘された木の記憶 - 見る眼と伝える技術 -
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告Ｘ、天武・持統朝の寺院造営 - 東日本 -、帝塚山大学考古学研究所研究報告ＸＩ
天理大学考古学研究室	古事第12冊
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第21号
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報第二十六集
和歌山県	
（財）和歌山県文化財センター	公開シンポジウム岩陰と古墳 - 海辺に葬られた人々 - 発表要旨集、太田・黒田遺跡（県1次調査）、田屋遺跡発掘調査報告書、紀の国の歩み - 財団法人和歌山県文化財センター発掘20年の記録 -、田井・西川遺跡、和歌山城跡、粉河寺遺跡、（財）和歌山県文化財センター年報2006、（財）和歌山県文化財センター年報2007
有田川町教育委員会	平成19年度有田川町埋蔵文化財調査年報、旧吉備中学校校庭遺跡
鳥取県	
（財）米子市教育文化事業団	埋蔵文化財調査室年報9、諏訪東チンゴ原遺跡・諏訪西土取場遺跡第1・2次調査・坂長米子道端ノ中遺跡、目久美遺跡（第14次調査）、米子市内遺跡発掘調査報告書
（財）鳥取市文化財団	秋里遺跡、谷2号墳、横枕前田遺跡、三谷国ヶ谷遺跡・三谷9号墳、横枕古墳群Ⅲ

鳥取県埋蔵文化財センター	梅田萱峯遺跡Ⅳ、南原千軒遺跡Ⅲ・梅田東前谷中峯遺跡・梅田六ツ塚遺跡、古墳時代Ⅰ古墳、調査研究紀要2、青谷上寺地遺跡9、青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告3建築部材（資料編）、青谷上寺地遺跡出土建築部材データベース、青谷上寺地遺跡フォーラム弥生の至宝～花弁高坏とその背景～、弥生時代「最長の垂木」の発見と復元、梅田萱峯遺跡Ⅴ
倉吉市教育委員会	伯耆国府跡国庁跡発掘調査報告書（第8～11次）、鳥越山窯跡群発掘調査報告書、下古川上通り遺跡第2次発掘調査報告書
鳥取県教育委員会	史跡妻木晩田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書、妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2007
鳥取県立博物館	因幡・伯耆の王者たち
島根県	
島根県埋蔵文化財調査センター	ドキ土器まいぶんNo.41～No.44、埋蔵文化財調査センター年報16、里方本郷遺跡・山持遺跡4、原田遺跡（4）、南外2号墳・勝負遺跡、恵谷古墳群・岩鼻古墳群・上講武殿山城跡・砥石遺跡・沢下遺跡・元宮遺跡、九景川遺跡、石見銀山遺跡ニュースNo.13、古代文化の郷出雲No.8、西川津遺跡・苅捨古墳、林原遺跡、沖手遺跡・専光寺脇遺跡、余小路遺跡（2）、中祖遺跡・ナメラ迫遺跡、石見路の言伝、オロチのいぶき 総集編、水海のほとり、玉泉寺裏遺跡・浜井場4号墳・間谷東古墳、史跡出雲国府跡-5-
島根県古代文化センター	大垣大塚古墳群（附編スクモ塚古墳）、平塚運一古代瓦コレクション資料集（1）- 武蔵国分寺関連資料・鐙瓦編 -
（財）松江市教育文化振興事業団	大坪遺跡発掘調査報告書Ⅱ、埋蔵文化財課年報Ⅹ平成17年度、小原遺跡、田中谷Ⅱ遺跡発掘調査報告書、鵜灘山遺跡他発掘調査報告書、戸崎遺跡発掘調査報告書、大勝間山城跡発掘調査報告書
松江市教育委員会	史跡田和山遺跡整備事業報告書、安田深田遺跡発掘調査報告書、扇山1号墳
安来市教育委員会	宇山遺跡、永昌寺の谷遺跡・高倉遺跡、青垣神社横遺跡
益田市教育委員会	丸山遺跡、第8次石ヶ坪遺跡調査報告書、家下遺跡・中小路遺跡
浜田市教育委員会	蔵地宅後古墳、浜田城跡（庭園跡の調査2）、史跡周布古墳・蔵地宅後古墳・市史跡金田1号墳
出雲市役所	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡発掘調査報告書、余小路遺跡、壱丁他遺跡（2次調査）、平成19年度出雲市文化財調査報告書
津和野町教育委員会	西谷地区発掘調査報告書、山陰道（野坂峠越・徳城峠越）発掘調査報告書、木部地区発掘調査報告書、陶晴賢本陣跡Ⅱ、津和野町内遺跡発掘調査報告書4
島根県立古代出雲歴史博物館	古代出雲博物館NEWS vol.6～vol.8
岡山県	
岡山県古代吉備文化財センター	大河内遺跡・稲穂遺跡・下坂遺跡、百間川原尾嶋遺跡7・百間川二の荒手遺跡、南溝手遺跡・窪木遺跡、八幡山遺跡・八幡山南遺跡・八幡山円明寺南遺跡・尾崎遺跡・中町B遺跡・穴が迩遺跡・穴が迩古墳、所報吉備第44号～第45号、発掘／高島のむかしⅣ、岡山県赤磐市八塚古墳群　、発掘美作国府跡、百間川今谷遺跡4
津山弥生の里文化財センター	津山城だよりNo.12、津山弥生の里第15号、津山市の文化財
岡山市埋蔵文化財センター	岡山市埋蔵文化財センター年報7、岡山城三之外曲輪跡・旧岡山藩藩学跡、彦崎貝塚3、備中高松城水攻め築堤跡、醫王谷古墳・醫王谷遺跡、金蔵山古墳
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告38
備前市教育委員会	国指定史跡伊部南大窯跡発掘調査報告書、備前の徳利、海の道をゆく、江戸時代の暮らしと備前焼
総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報17
赤磐市教育委員会	史跡両宮山古墳中堤保存工事報告書、備前国分寺跡
真庭市教育委員会	篠向城、史跡・大谷・定古墳群
浅口市教育委員会	森山遺跡
勝央町教育委員会	勝央町内遺跡試掘確認調査報告書（平成15年度～17年度）

津山郷土博物館	博物館だより No.57 ～ No.59、平成 18 年度津山郷土博物館年報、西東三鬼資料目録、山北村資料目録 出家資料目録 鈴木家資料目録、津山松平藩町奉行日記十六、庄野ヒカルの世界
倉敷市立自然史博物館	倉敷市立自然史博物館秘蔵のお宝、倉敷市立自然史博物館研究報告第 23 号、倉敷市立自然史博物館報 17
岡山県立美術館	美術館ニュース No.82 ～ No.83
岡山市デジタルミュージアム	岡山びと第 3 号
岡山大学文学部考古学研究室	井後草里遺跡第 2 次発掘調査報告書、未盗掘古墳の発掘調査、岡山市造山古墳測量調査概報
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第 38 号～第 41 号、津島岡大遺跡 18- 第 28 次調査 -、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2006、岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの 20 年、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要 2007、津島岡大遺跡 19- 第 30 次調査 -
岡山理科大学　図書館	岡山理科大学紀要第 43 号 A 自然科学、岡山理科大学紀要第 43 号 B 人文・社会科学、自然科学研究所研究報告第 33 号
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要 22
倉敷市文書館（アーカイブス）研究会	倉敷の歴史 - 倉敷市史紀要 - 第 18 号
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース第 31 号～第 32 号
高梁川流域連盟	高梁川 66
広島県	
（財）東広島市教育文化振興事業団	阿岐のまほろば vol.37 ～ vol.38、史跡三ッ城古墳発掘調査報告書、大地面遺跡発掘調査報告書、高屋東 2 号・3 号遺跡発掘調査報告書
（財）広島市文化財団	研究連絡誌Ⅴ、広島城跡司法書士会館新築地点発掘調査報告書、広島城跡国保会館地点、幾志山城跡発掘調査報告書、研究連絡誌Ⅳ、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（7）～（8）、城平山城跡
広島県教育委員会	平成 18 年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
福山市教育委員会	福山城跡、福山市内遺跡発掘調査概要Ⅱ、加茂倉田遺跡発掘調査報告書、加茂丁遺跡、千田平ノ前古墳、駅家加茂地区内陸型複合団地造成事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
庄原市教育委員会	庄原市文化財年報 1 ～ 2、大仙 2 号遺跡、庄原市上野総合公園遺跡群Ⅱ
尾道市教育委員会	尾道市内遺跡 2006 年度、尾道の歴史と遺跡 原始～古代編
広島県立歴史博物館	広島県立歴史博物館ニュース第 75 号・第 77 号～第 78 号
福山市しんいち歴史民俗博物館	尾市第 1 号古墳発掘調査報告
広島県立歴史民俗資料館	優美なる百花繚乱の世界 - 表現された植物を見る -、年報 第 28 号 - 平成 19(2007) 年度 -、広島県立歴史民俗資料館研究紀要第 7 集、乱世に願う - 県北の戦国文化 -
広島大学文学部考古学研究室	古代山陽道と神辺平野の文化財、帝釈峡遺跡群発掘調査室年報ＸＸⅡ、弥生時代における初期鉄器の舶載時期とその流通構造
広島大学環境保全委員会埋蔵文化財調査室	広島大学東広島キャンパス埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ、広島大学埋蔵文化財調査室調査研究紀要第 1 号
山口県	
山口県埋蔵文化財センター	陶けん第 21 号、上り熊遺跡Ⅰ、道祖ノ本遺跡、真尾猪の山遺跡Ⅱ、吉毛遺跡
下関市立考古博物館	あやらぎ No.19、研究紀要第 12 号、下関市立考古博物館年報 13、動物とのかかわり - 先史時代の動物利用 -
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	MUAEUM LETTER 2008、MUAEUM LETTER 2008 No.2、研究紀要第 2 号～第 3 号、「近世の人と近世墓」～江戸時代の墓制を探る～
山口大学埋蔵文化財資料館	平成 17 年度山口大学埋蔵文化財資料館年報、てらこや埋文 2007 年夏～ 2008 年春、やまぐち 古代の七不思議、山口大学 学宝展
萩市歴史まちづくり部	史跡萩城跡 (外堀)
徳島県	
（財）徳島県埋蔵文化財センター	遺跡にみる国際交流、徳島県埋蔵文化財センター年報 vol.18、真朱第 7 号～第 8

	号、敷地遺跡（Ⅱ）、田井遺跡、トノ町遺跡、寺山遺跡、敷地遺跡（Ⅰ）、観音寺遺跡（Ⅳ）
徳島市教育委員会	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要 18
香川県	
香川県埋蔵文化財センター	いにしえの讃岐 No.58 ～ No.61、研究紀要Ⅳ、平成 19 年度香川県埋蔵文化財センター年報、東坂元三ノ池遺跡、旧練兵場遺跡Ⅰ、木太中村遺跡・文京町二丁目西遺跡、大灘遺跡、鹿伏・中所遺跡Ⅱ、本郷遺跡・川原遺跡、庄八尺遺跡
高松市教育委員会	西下遺跡、高松城跡（江戸長屋跡Ⅰ）、横岡山古墳・城所山古墳群、光専寺山遺跡・竹元遺跡・高野廃寺・本村遺跡、高松市内遺跡発掘調査概報、屋嶋城跡Ⅱ、玉藻廟解体・記録保存調査報告書
丸亀市教育委員会	丸亀市内遺跡発掘調査報告書、中の池遺跡・平池東遺跡、第 2 次丸亀城大手町地区埋蔵文化財発掘調査報告書
さぬき市教育委員会	さぬき市内遺跡発掘調査報告書、森広遺跡
綾川町教育委員会	井出上遺跡
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアムニュース vol.1 ～ vol.4、第 55 回日本伝統工芸展 出品目録
愛媛県	
（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター	矢田大坪遺跡、矢田大出口遺跡 2 次、愛比売 - 平成 19 年度年報 -、郷桜井堀遺跡 3 次、紀要愛媛第 8 号、永納山東Ⅰ遺跡・永納山東Ⅱ遺跡、番町遺跡 2 次、猿川西ノ森遺跡、別名一本松古墳・矢田長尾 1 号墳・矢田長尾Ⅰ遺跡・高橋佐夜ノ谷遺跡・高橋向谷遺跡、世田山 4 号墳・成福寺Ⅷ遺跡・成福寺 3・4 号墳・松木池遺跡・長網Ⅰ遺跡 2 次、大久保遺跡（大久保・竹成地区・E 地区）・大開遺跡・松ノ丁遺跡（1 次・2 次）
（財）松山市生涯学習振興財団	発掘へんろ、鳥取・弥生の王国 - 琴の音が響く -、久米高畑遺跡 -26 次調査 -、道後湯月町遺跡・道後湯之町遺跡、北条片町遺跡、鶴が峠遺跡Ⅱ、平井遺跡 2 次調査・水泥遺跡 -1 次・2 次・3 次調査 -・高井遺跡 1 次調査・南高井遺跡 -2 次・3 次調査 - 松枝遺跡 -7 次・8 次・9 次・10 次調査 -、松山市埋蔵文化財調査年報 19、善応寺大庭遺跡、時松遺跡 -11 次調査 -、松山市埋蔵文化財調査年報 20
今治市教育委員会	市内遺跡試掘確認調査報告書ＸＸＶ～ＸＸⅥ、旦西荒神山 1・2 号墳、史跡能島城跡 - 平成 18 年度能島東部海岸調査報告書 -、史跡能島城跡 - 平成 18 年度船だまり整備工事報告書 -、妙見山 1 号墳
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2006 年度 -、愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 -2007 年度 -
高知県	
（財）高知県文化財団	高知県埋蔵文化財センター年報第 17 号、西山城跡、北ノ丸遺跡、介良野遺跡、ミトロ遺跡、坂本遺跡、西野々遺跡Ⅰ、口槇ヶ谷遺跡、坪ノ内遺跡Ⅱ
南国市教育委員会	土佐国衙跡発掘調査報告書第 13 集、田村城跡、土佐国分寺跡 - 第 4 次発掘調査報告書 -
香美市教育委員会	上岡北遺跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第 64 号～第 67 号、高知県立歴史民俗資料館年報 No.17
高知大学人文学部考古学研究室	大元神社古墳発掘調査報告書 - 総括編 -
福岡県	
小郡市埋蔵文化財調査センター	三沢北中尾遺跡 11 B 地点、津古東宮原遺跡Ⅵ、小郡遺跡 11・12・13、力武前畑遺跡 8・9・10、福童町遺跡 7 ～ 8、小郡向築地遺跡 2、寺福童遺跡銅戈埋納遺構、三沢寺小路遺跡 4、寺福童遺跡 5、旧松崎旅籠油屋
（財）北九州市芸術文化振興財団	埋蔵文化財調査室年報 24、研究紀要 - 第 22 号 -、小倉城代米御蔵跡・御普請所跡（第 2 次調査）、大手町遺跡第 7 地点、中島遺跡 3（第 4 次調査）、小倉城御花畠跡（第 2 地点 2 区）、蜑住上組遺跡・山口ヶ浦遺跡、蜑住古立遺跡 2（3・4 区）、緑遺跡 2（3 区）、長浜遺跡第 2 地点、大門遺跡第 4 地点（1 区）、黒崎城跡 6、黒崎城跡 7（8・11・13・19・20 区）、黒崎城跡 8（16・17・24 区）、穴生森下遺跡、古川西遺跡 3・4・5 区、古川西遺跡・伊崎遺跡、長野尾登遺跡第 2 地点（L 区）、掘田遺跡（2 次調査）、

	小倉城御花畠跡3(第2地点3区)、小倉城三ノ丸跡第4地点、米町遺跡(第3地点)、祇園町遺跡（第5地点)、大手町遺跡第8地点、蒲生大畔遺跡9区、室町遺跡第10地点、備後守屋鋪南側土塁跡
福岡県教育委員会	藤の尾垣添遺跡Ⅰ、玉田遺跡・船越高原A遺跡Ⅳ・西隈上中川原遺跡、松田掛畑遺跡・岩本下内遺跡、観音山古墳群瀬戸Ⅳ群・観音山古墳群中原Ⅲ群・内河遺跡第1次、小川柳ノ内遺跡Ⅱ、五ヶ山・小川内
福岡市教育委員会	徳永古墳群4、箱崎26、羽根戸古墳群6、藤崎遺跡17、原遺跡12、有田・小田部43～44、飯倉A遺跡2、飯氏遺跡群4、今宿五郎江6、入部XⅡ、香椎地区遺跡確認調査報告書、金武4、上広瀬遺跡2、警弥郷B遺跡3、コノリ遺跡群3、山王遺跡3、下月隈C遺跡Ⅶ、席田青木遺跡6、高畑遺跡、那珂45～50、名島城跡2、西新町遺跡9、博多110～123、箱崎27～35、原東遺跡2、比恵45～54、東那珂遺跡5、福岡城跡、福重稲木遺跡、元岡・桑原遺跡群8～13、吉武遺跡群XⅨ、吉塚9～10、鴻臚館跡17、福岡城跡、麦野C遺跡5、有田・小田部45、飯倉F遺跡2、井尻B遺跡15～18、井相田C遺跡6、蒲田部木原遺跡8、蒲田部木原遺跡9、五十川遺跡4、重留村下遺跡4、戸切遺跡1、西新町遺跡10、西新町遺跡11、野多目遺跡2、野芥遺跡5、福岡城跡15、福重稲木遺跡2、南八幡遺跡群8、三宅B遺跡1、今宿五郎江7、女原遺跡3、弥永原6、中南部9、金武5、吉武遺跡群21、吉武遺跡群XX、五十川遺跡5、徳永古墳群5、那珂遺跡群51、福岡市埋蔵文化財年報vol.21
北九州市教育委員会	千防遺跡第1・2地点、志井雀木遺跡第3地点、金山遺跡第2地点・北方遺跡第9次調査、一升水遺跡第2地点
大野城市教育委員会	森園・ヒケシマ遺跡、牛頸本堂遺跡群Ⅳ～Ⅸ、牛頸窯跡群 - 総括報告書Ⅰ -、川原遺跡Ⅰ、御笠の森遺跡Ⅲ、大野城市の文化財第40集大野城市の民具③、牛頸梅頭・本堂遺跡群～自然科学分析編～、牛頸梅頭遺跡群Ⅱ～Ⅳ
春日市教育委員会	春日市埋蔵文化財年報15、須玖尾花町遺跡、下の原遺跡、須玖岡本遺跡2、ウトグチC遺跡
豊前市教育委員会	中村山柿遺跡、大村石畑遺跡
飯塚市教育委員会	上ノ原遺跡・寺ノ前遺跡（第1次）・前田遺跡・平塚三角遺跡、三郡山遺跡・登尾遺跡・悪所遺跡・赤松尾遺跡
うきは市教育委員会	若宮外屋敷遺跡、国指定史跡屋形古墳群、吉井中町遺跡、吉井池添遺跡、屋次郎丸古墳
大刀洗町教育委員会	史跡下高橋官衙遺跡周辺遺跡5、大刀洗町内確認・試掘調査報告書
筑前町教育委員会	下タテ野遺跡Ⅰ～Ⅱ、千畳町遺跡、薬師堂遺跡
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告B類歴史第5号
九州歴史資料館	九州歴史資料館研究論集33、九歴だより No.27～No.28、九州歴史資料館年報 - 平成19年度 -
粕屋町立歴史資料館	丸山城跡
九州大学埋蔵文化財調査室	奴国の南 - 九大筑紫地区の埋蔵文化財 -
福岡大学人文学部考古学研究室	福岡大学考古資料集成2、七隈史学第10号、日韓集落の研究、九州の中世学 - 交易・開発・信仰 - 予稿集
佐賀県	
佐賀県教育委員会	中原遺跡Ⅱ、東名遺跡
佐賀市教育委員会	藤木四本杉遺跡Ⅱ、西渕遺跡Ⅰ、西中野遺跡Ⅲ、藤木四本杉遺跡Ⅰ、築山遺跡Ⅲ、神野二本松遺跡2、東高木遺跡Ⅲ、埋蔵文化財確認調査報告書 -2005年度 -、中原遺跡、佐賀城跡
唐津市教育委員会	唐津市内遺跡確認調査（24)、大谷窯跡、竹の下古墳群、半田大園遺跡、五反田松本遺跡
神埼市教育委員会	右原祇園町遺跡、八子六本黒木遺跡13・16・19区、八子一本黒木遺跡3区・八子六本黒木遺跡18D・E区、八子六本黒木遺跡11区、志波屋六本末松古墳群、神埼宿遺跡、浜戸立樋門、熊谷遺跡5・6区・八子六本黒木遺跡15・17区八子

	一本黒木遺跡Ⅰ・Ⅱ区
長崎県	
長崎県教育委員会	九州文化学園構内遺跡、武辺城跡・末永遺跡、竹辺C遺跡・竹辺D遺跡、門前遺跡Ⅱ
佐世保市教育委員会	武辺城跡発掘調査報告書（第1次）、市内遺跡発掘調査報告書
松浦市教育委員会	松浦市鷹島海底遺跡
熊本県	
宇土市教育委員会	轟貝塚
大分県	
日田市埋蔵文化財センター	平成18年度日田市埋蔵文化財年報、平成19年度日田市埋蔵文化財年報、郷四郎遺跡Ⅱ、一丁田遺跡Ⅱ、慈眼山遺跡Ⅱ、上井手遺跡3次、祇園原遺跡Ⅱ
大分市教育委員会	大分市市内遺跡確認調査概報 -2007年度 -、大分市埋蔵文化財調査年報 vol.18、下郡遺跡群Ⅵ、横尾遺跡群、大道遺跡群1、府内城跡・城下町跡5、玉沢地区条理跡第10～14・16・18・19次調査報告、大友府内3、大友府内12、横尾貝塚、宮苑井ノ口遺跡
中津市教育委員会	犬丸川流域遺跡縫原地区・平田地区・長善寺地区、沖代地区条理跡長畑地区・橋爪地区・桜木地区・加来加来地区 田尻新貝地区 長者屋敷遺
九重町教育委員会	九重町歴史資料館年報、修験道資料
大分県立歴史博物館	おおいた歴博 No.24 ～ No.25
宮崎県	
宮崎県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財通信みやざき第9号～第10号、大島畠田遺跡、前ノ田村上第2遺跡、南中原第1遺跡（一次）、牧内第1遺跡（一次～三次調査）、明野遺跡、赤木遺跡第8地点（第三次調査）、筆無遺跡、中ノ迫第2遺跡、諸麦遺跡、尾立第2遺跡、市納上第2遺跡、山之城跡、野首第2遺跡、堀川運河、板平遺跡、曽井第2遺跡、林遺跡Ⅱ、宮ノ東遺跡、黒仁田遺跡、赤木遺跡第8地点（第一次調査）、住吉B遺跡･赤石遺跡、旭2丁目遺跡、楠牟礼1号地下式横穴墓、高鍋城三ノ丸跡、尾花A遺跡Ⅰ、南中原第1遺跡（二次）
日南市教育委員会	平成17年度日南市内遺跡発掘調査概報、平成18年度日南市内遺跡発掘調査概報
宮崎市教育委員会	檍第2遺跡、史跡穆佐城跡、下北方5号墳周辺遺跡、山崎上ノ原第2遺跡Ⅲ、片瀬原遺跡、下北方1号墳周辺遺跡、橋山第2遺跡
都城市教育委員会	鍋前第5遺跡、梅北北原遺跡
鹿児島県	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第47号～第49号
沖縄県	
宜野湾市教育委員会	宇地泊西原丘陵古墓群、嘉数トゥンヤマ遺跡Ⅰ、基地内埋蔵文化財調査報告書Ⅳ、キャンプ瑞慶覧内の遺跡
その他	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第41号～第42号
全国埋蔵文化財法人連絡協議会	全国埋文協会報 No.75
（株）郷土出版社	図説倉敷・総社の歴史
（株）イビソク	平安京左京北辺三坊三町跡・内膳町遺跡
加藤建設（株） 埋蔵文化財調査部	中里峡上遺跡
テイケイトレード株式会社	神奈川県平塚市坪ノ内遺跡
（財）日本博物館協会	博物館の評価基準に関する研究、博物館の評価機関等に関するモデル調査研究報告書

印刷仕様

紙　　質	表紙：サンマット160kg（PP張り）
	本文：ニューエイジ70kg
	折込：上質紙70kg
D　T　P	Mac OS 10.5.8　Adobe InDesign CS3　Adobe Photoshop CS3
使用フォント	モリサワ OpenType フォント （リュウミン L-KL・中ゴシック BBB・太ミン A101・太ゴシック B101・見出ゴシック MB31・じゅん101）
製　　本	無線綴じ

倉敷埋蔵文化財センター年報12
－平成19・20年度－

平成22年3月31日印刷発行

発 行　倉敷市教育委員会

編 集　倉敷埋蔵文化財センター

〒712-8046　倉敷市福田町古新田940番地
TEL 086-454-0600

The Annual Report
Of
Kurashiki Archaeological Center

Volume11 2007・2008

Kurashiki
Archaeological Center

March 2010